

2015 - 2024

Miyazaki City
Sports Promotion Plan



Miyazaki City

宮崎市スポーツ推進計画

2015 - 2024

平成27年 3月

宮 崎 市

Miyazaki City

Sports Promotion Plan





「宮崎市スポーツ推進計画」の策定にあたって

スポーツは、世界共通の文化であり、次代を担う青少年の健全育成や地域社会の再生、心身の健やかな社会づくりの促進など、私たちの生活にとって「好循環」をもたらしてくれます。

私自身、現在も野球を続け、チームのメンバーとともに汗を流しており、公務前には職員とともにラジオ体操を行い、健康・体力づくりに繋げているところでございます。

また、本市では、これまで温暖な気候や恵まれた自然環境、充実したスポーツ施設等を生かし、各種スポーツ大会の開催やキャンプ、合宿の誘致に取り組んでおり、このような実績をもとに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの調整合宿等の誘致に関係機関とともに積極的に取り組んでおります。

さて、国においては、昭和36年に制定されたスポーツ振興法が50年ぶりに改正され、平成23年8月に、「スポーツ基本法」が新たに制定されております。基本法においては、スポーツの価値や意義などが示され、新たな時代に対応したスポーツ施策の推進が強く求められています。

このような中、この度、平成24年3月に策定された国の「スポーツ基本計画」を踏まえ、「第四次宮崎市総合計画」を上位計画とする、「宮崎市スポーツ推進計画」を策定いたしました。本計画は、今後10年間の本市の運動・スポーツに関する施策を示しており、地区体育会や総合型地域スポーツクラブ等が連携した地域スポーツの活性化や市民が生涯にわたりスポーツライフを楽しむための環境づくり、大学の「知」を生かしたスポーツメディカル体制の充実などの特徴的な施策を掲げています。

今後は、本計画の基本理念である「豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやぎの推進」のもと、本市のスポーツの魅力を十分に生かした施策を具体的に展開し、「総合スポーツ戦略都市みやぎ」を基本的な方向性として目指してまいりますので、ご協力賜りますようお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、アンケートにご協力を通じて貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様や計画素案の作成にご尽力を賜りました宮崎市スポーツ推進審議会委員の皆様、またワーキンググループに参加いただきました関係各位に対しまして、心からお礼申し上げます。

平成27年3月

宮崎市長 戸 敷 正

目 次

第1章 宮崎市スポーツ推進計画策定の趣旨

1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の性格	2
3. 計画期間と区域	2
4. 策定方針	3

第2章 宮崎市のスポーツを取り巻く環境

1. 社会的な環境の変化	6
2. 本市の運動・スポーツの現状と課題	7
(1) 市民スポーツの状況	
1) 市民の健康や体力に対する意識	8
2) 市民の運動・スポーツ実施率とその理由	10
3) 運動・スポーツの実施種目・今後の実施希望種目	12
4) スポーツクラブへの加入状況	13
5) スポーツ施設及び利用者のニーズ	16
6) 高齢者の運動・スポーツの実施状況とニーズ	18
7) スポーツイベント等についてのニーズ	20
(2) 障がい者の運動・スポーツの状況	
1) 障がい者の運動・スポーツの実施状況	24
2) 障がい者の運動・スポーツ活動施設の状況	24
(3) 児童生徒の運動・スポーツの状況	
1) 児童生徒の生活環境や体力に対する意識及び状況	25
2) 児童生徒の運動・スポーツの実施状況	28
3) 児童生徒のスポーツ少年団、運動部活動の加入状況	32
(4) スポーツ指導者の状況	
1) スポーツ推進委員	33
2) スポーツボランティアの状況	34
3) スポーツの医療体制	36
(5) 運動・スポーツに関する情報収集の状況	37

第3章 施策の展開

宮崎市スポーツ推進計画の体系図	40・41
1. 計画の基本理念	42
2. 施策と具体的取組	43
(1) ライフステージに応じた市民スポーツの推進	
1) 地域スポーツの推進	44
1)－1 地域スポーツの活性化	
1)－2 スポーツライフの定着	

2) 障がい者スポーツの推進	46
2)－1 障がい者スポーツ活動の普及・拡大	
3) 子どものスポーツの育成・強化	47
3)－1 子どもの体力向上	
3)－2 スポーツ少年団、運動部活動の充実	
3)－3 児童生徒の競技力向上	
4) 高齢者スポーツの推進	50
4)－1 高齢者スポーツの普及・拡大	
(2) 支えるスポーツの環境の整備	51
1) 運動・スポーツ指導者等の育成	52
1)－1 スポーツ推進委員等の充実	
1)－2 スポーツボランティアの充実	
2) スポーツメディカル体制の整備	53
2)－1 スポーツメディカル体制の充実	
3) スポーツ施設の整備	54
3)－1 スポーツ施設の充実	
3)－2 スポーツ施設の利便性の向上	
4) ネットワークの整備	56
4)－1 スポーツ関連情報提供の充実	
(3) 特色を生かしたスポーツツーリズムの推進	57
1) スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致	58
1)－1 宮崎らしさを生かした大会等の誘致	
1)－2 スポーツ選手との交流推進	
宮崎市・県スポーツ施設一覧	60

第4章 計画の推進に向けて

1. スポーツ推進体制の整備	74
2. 計画の推進体制	75
3. 計画のチェックとローリング	75

市民意識調査の概要～参考資料～

市民意識調査の概要	78
(1) 18歳以上の市民への調査	79
(2) 小中学生への調査	99

宮崎市スポーツ推進計画の策定体制	105
宮崎市スポーツ推進計画策定関係者一覧	106
宮崎市スポーツ推進計画の審議経過	107
宮崎市スポーツ推進審議会条例	108
宮崎市スポーツ施策推進会議設置要綱	109
宮崎市スポーツ推進計画策定ワーキンググループ設置要綱	111

第1章

宮崎市スポーツ推進計画策定の趣旨



1. 計画策定の趣旨

私たちを取り巻く環境は、少子化による人口減少や高齢化が一層進み、社会環境や価値観など急激に変化しています。そのような背景の中、人々の健康志向が高まり、健康で豊かな暮らしをする上で欠かすことのできない運動・スポーツ注1)の果たす役割が見直されています。

本市は、平成18年1月に佐土原町、田野町、高岡町と、平成22年3月に清武町と合併し、自然や歴史、文化など多様な資源のほか、新たなスポーツ環境に恵まれた40万人を超える都市となり、新たな街づくりに取り組んでいます。

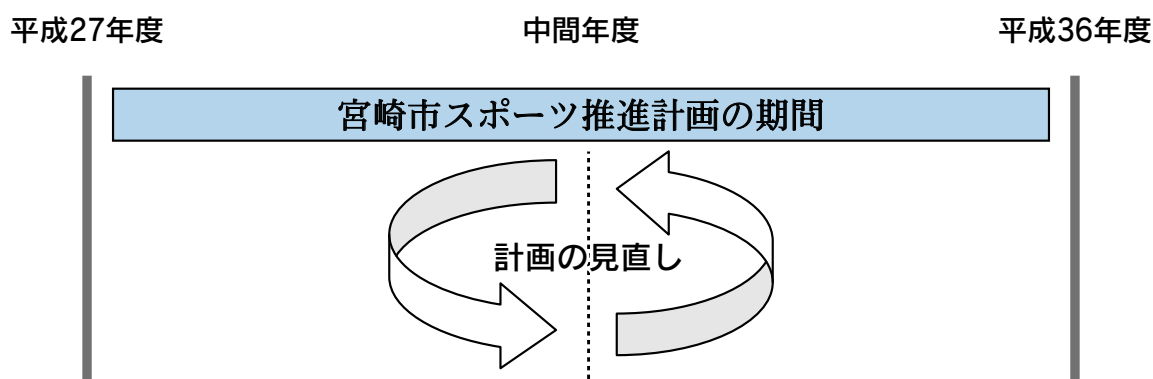
このようなことから、市民一人ひとりが自分の体力や能力に応じて、生涯にわたり、気軽に運動・スポーツを楽しめるスポーツライフを実現するため、時代の変化や市民ニーズに即した新たな計画を策定するものです。

2. 計画の性格

本計画は平成24年3月に策定された国の「スポーツ基本計画」等の趣旨を踏まえ、市の上位計画となる「第四次宮崎市総合計画」や関連計画等と整合性を図りながら、今後の本市のスポーツに関する基本方針や施策を定め、本市の特色を生かした計画とします。

3. 計画期間と区域

本計画は、平成27年度を初年度とし、平成36年度を目標年度とする10年計画とします。対象区域は現市域としますが、社会・経済の情勢等も考慮しながら、柔軟かつ弾力的に計画を推進し、中間年度において必要な見直しや対応をとることとします。



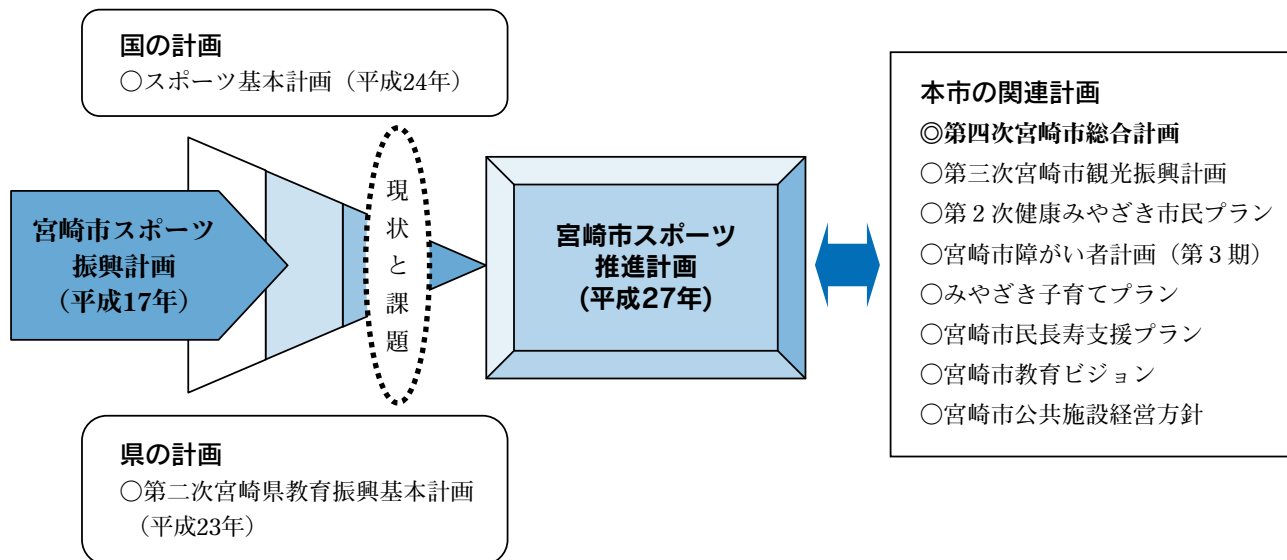
注1)本計画における「運動・スポーツ」の考え方

運動…健康づくりなどを目的として体を動かすこと。(例:散歩・ジョギング・体操、レクリエーション等)
スポーツ…あるルールに則り行われる、道具などを使用した身体活動のこと。

4. 策定方針

本計画の策定にあたっては、現計画に基づいて実施してきた施策の現状や課題を踏まえながら、本市の関連計画との整合性を図り、運動・スポーツを取り巻く背景や新たな視点を組み込んだ内容とします。

◆本プランの位置づけ



第2章

宮崎市のスポーツを取り巻く環境



1. 社会的な環境の変化

近年、我が国の社会環境は、少子高齢化の進行や情報化の進展、税や社会保障における負担の増大などめまぐるしく変化しています。少子化の一因として、女性の「晩婚化」や「未婚率」が上昇傾向にあり、全国的にその傾向が見受けられます。また、高齢化率においては、本市の全人口に対し、65歳以上の高齢者が23.8%（平成26年度時点）に上り、「超高齢社会」注2)となっています。

そのような中、子どもたちのスポーツ離れや高齢者の体力づくり、健康志向の高まりなど、スポーツを取り巻く環境も社会情勢の変化とともに大きく変化してきています。

平成17年3月の「宮崎市スポーツ振興計画」策定時から、本市の社会情勢、運動・スポーツ環境が変化する中、個々のライフスタイルやニーズに応じて対策を講じながら、「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる」生涯スポーツ社会の実現に取り組むことは、本市全体の活性化にもつながっていくものと考えます。



▲全日本グランドベテランソフトテニス大会
(男性60歳以上、女性45歳以上を対象にした大会)



▲市民サイクリング大会

注2) 超高齢社会

65歳以上の人口が総人口に対し、21%を超えている社会のこと。

2. 本市の運動・スポーツの現状と課題

本市における運動・スポーツの現状と課題を平成25年10月に実施した「宮崎市民の運動・スポーツに関する調査」（以降「市民意識調査」と表記）に基づき、多方面から分析します。

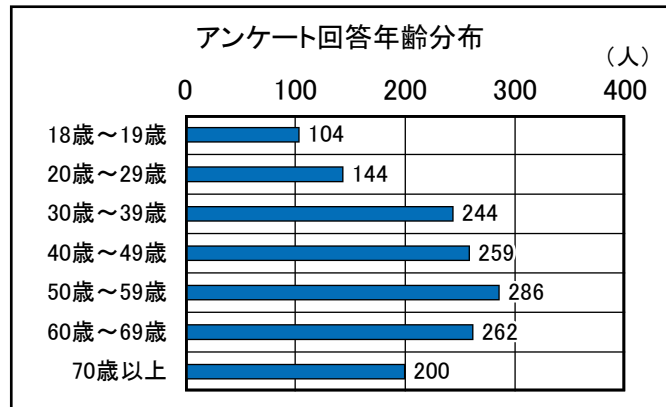
「宮崎市民の運動・スポーツに関する調査」の実施

「本市の運動・スポーツの現状と課題」で使用しているデータは、本計画策定のために実施した市民意識調査をもとにしています。

市民意識調査は、平成25年10月1日～平成25年10月31日の期間において、18歳以上の市民と市内小中学生を対象に実施しました。調査概要は次のとおりです。

(1) 18歳以上の市民への意識調査

- ・配布方法:住民基本台帳より無作為に抽出した18歳以上の男女に郵送
- ・回収方法:郵送による回収
- ・配布数 4,000
- ・回収数 1,519
- ・有効 1,499
- ・無効 20
- ・回収率 37.5%



(2) 市内小中学生への意識調査

- ・配布方法:市域バランス、児童・生徒数を考慮した小中学校の小学5年生、中学2年生を対象に学校において配布
- ・回収方法:後日、各校にて回収
- ・配布数 606
- ・回収数 606
- ・有効 606
- ・無効 0
- ・回収率 100%

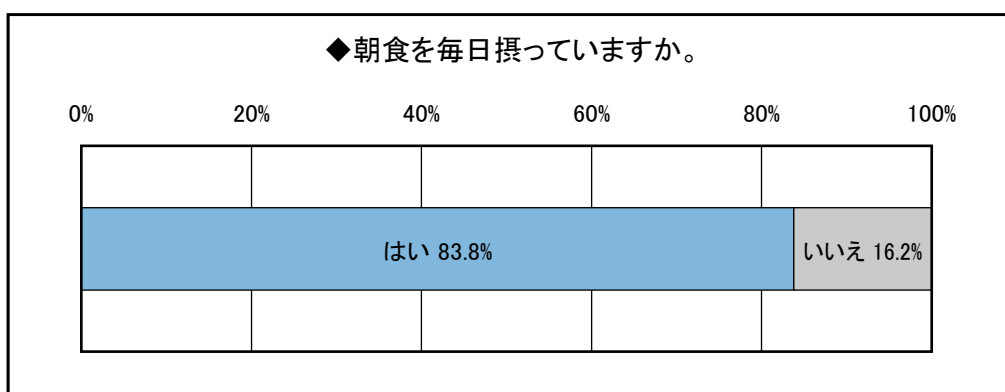
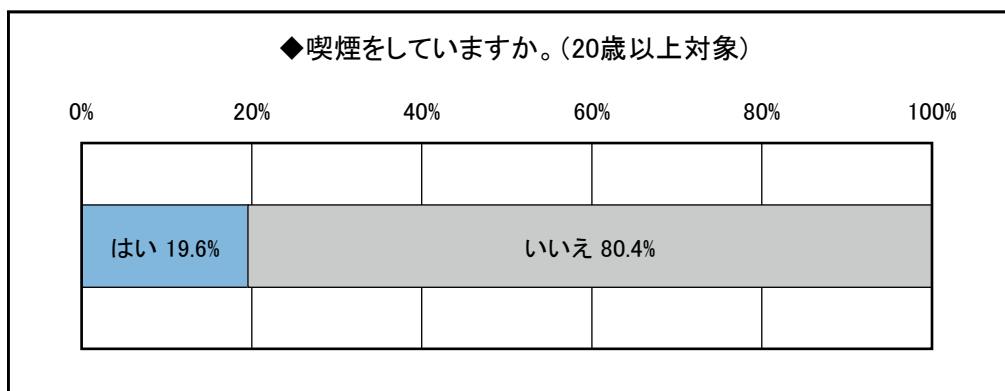
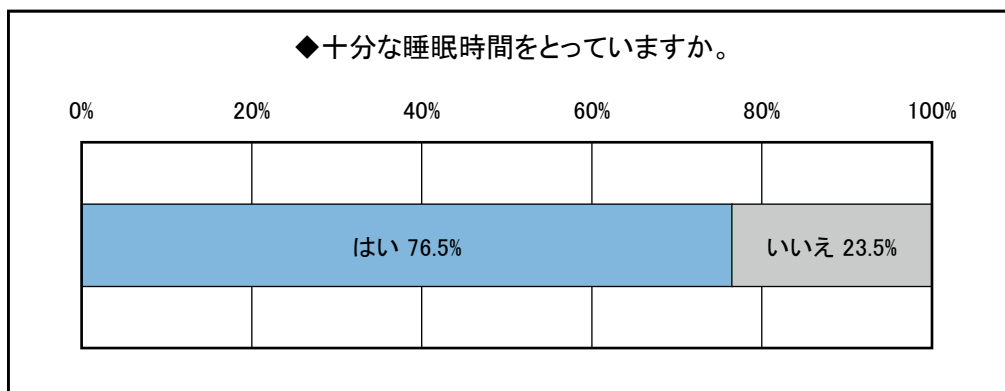
(1) 市民スポーツの状況

1) 市民の健康や体力に対する意識

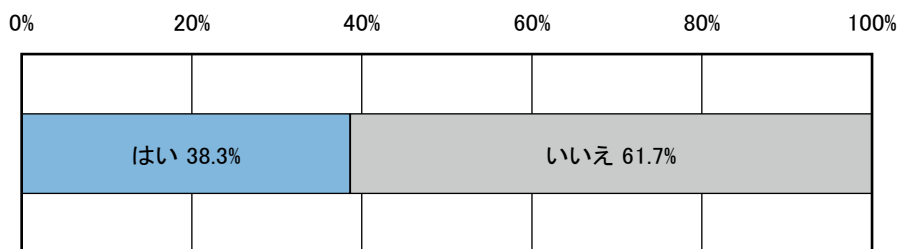
健康や体力に対する状況では、適正な睡眠をとり、喫煙をせず、朝食を毎日摂る人が多く見られます。

また、定期的な運動（週1回ペース、またはそれ以上のペース）をしている人は、18～19歳と70歳以上の年齢層では半数以上となっています。

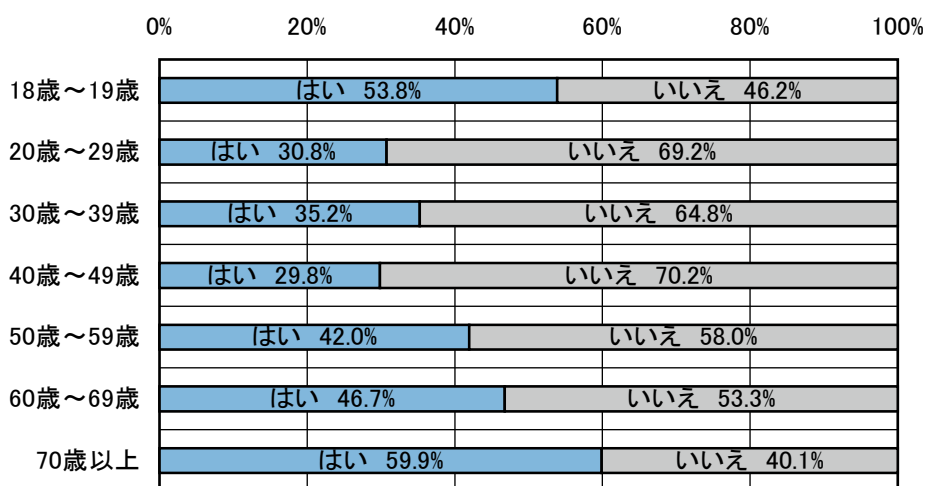
しかし、定期的な運動をしている人は、20歳台から60歳台では、半数以下となっています。



◆ 飲酒をする習慣がありますか。(20歳以上対象、週3回以上)

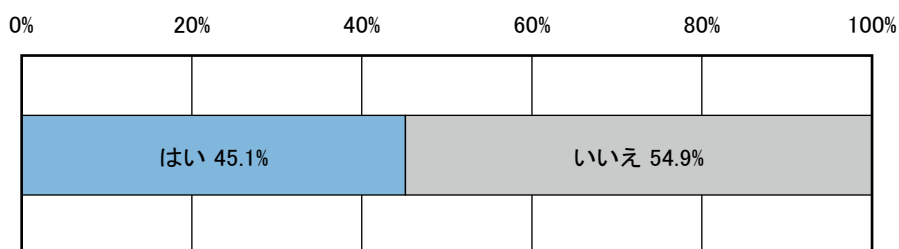


◆ 「定期的な運動をしていますか」という問いに対する年齢別の状況



※定期的な運動・スポーツとは、週1回ペース、またはそれ以上のペース

◆ 適正体重を維持していますか。



※適正体重は、身長(m)×身長(m)×22で算出された体重を指す。



▲ワンコインスポーツ教室

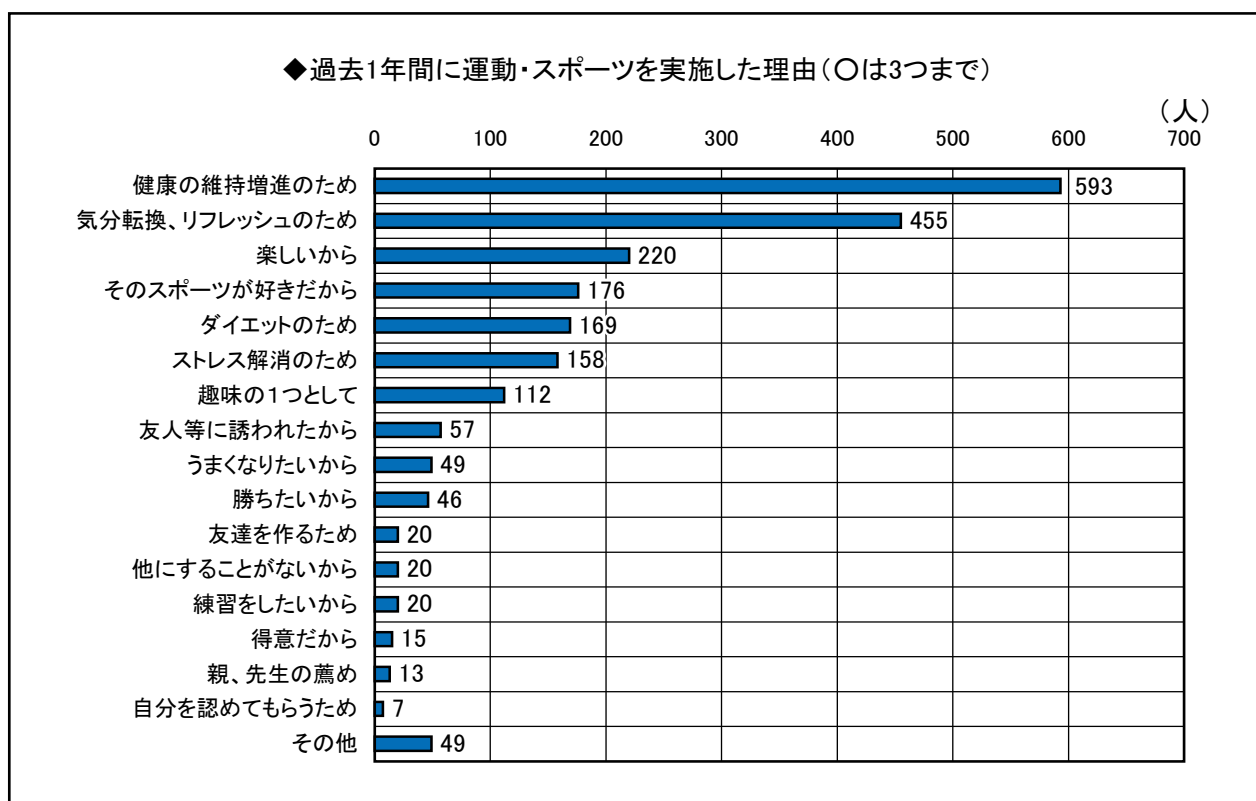
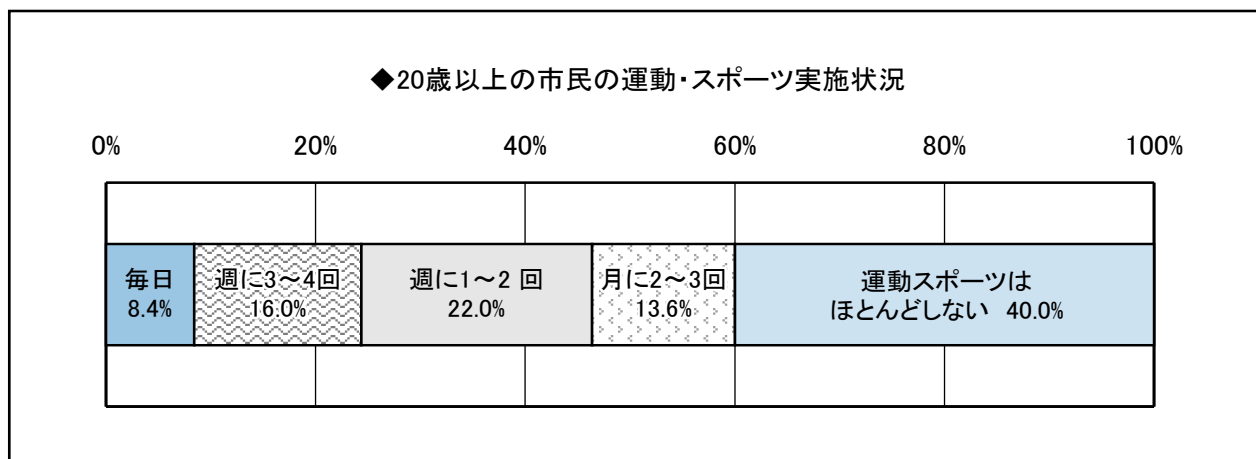
2) 市民の運動・スポーツ実施率とその理由

市民のスポーツの実施状況をみると、20歳以上の市民の60%が過去1年間に何らかの運動・スポーツを実施しています。

県では「1130（いちいちさんまる）」県民運動を実施しており、多忙な年代においても、1週間に1回以上、30分以上は運動・スポーツをしようという啓発活動を行っています。本市においても第四次宮崎市総合計画における成果指標として、平成29年度までに成人の週1回以上のスポーツ実施率50%を目指していますが、平成25年10月時点で46.4%です。（※平成16年の調査時の実施率44.9%）

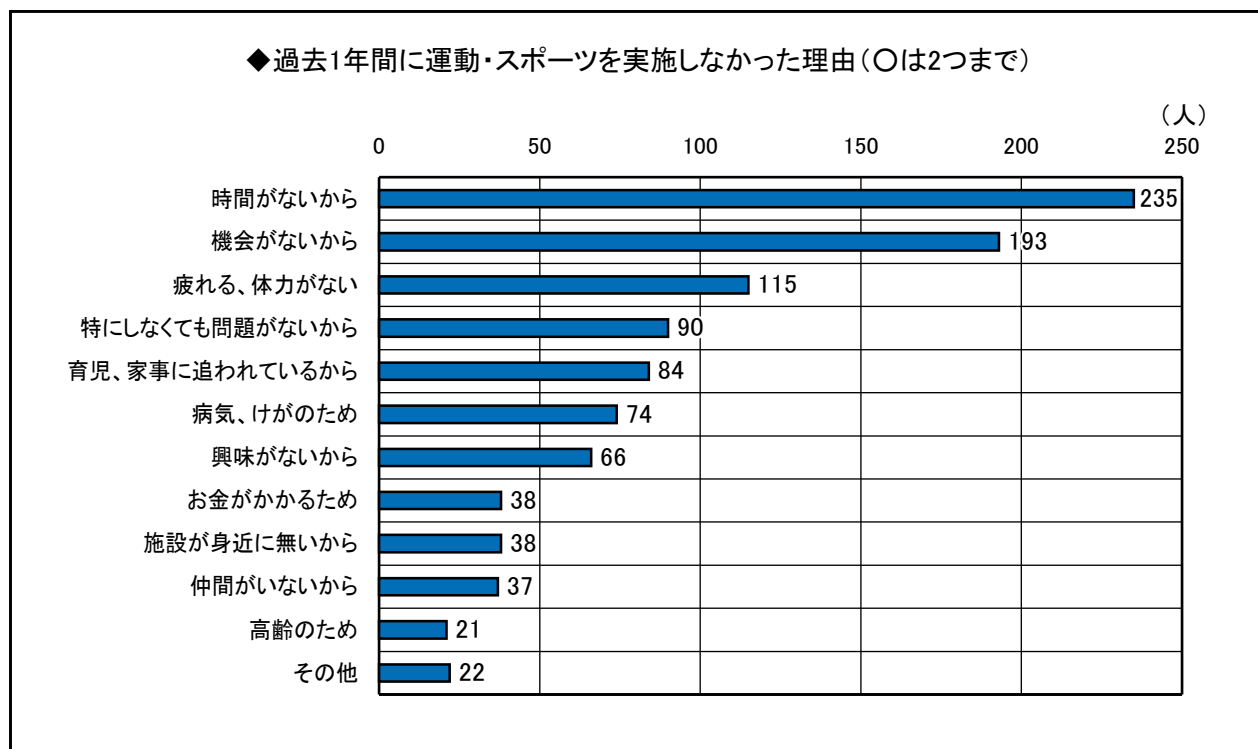
なお、国の計画では、できるだけ早期に成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%程度）となることを目標としています。

運動・スポーツの主な実施理由については、「健康の維持増進のため」、「気分転換、リフレッシュのため」が上位を占め、平成25年1月に実施された文部科学省の「体力・スポーツに関する世論調査」（以降「国の調査」と表記）と同様の傾向がうかがえます。



運動・スポーツを実施しなかった理由は、国の調査と同様「時間がないから」が多数を占めています。次いで、「機会がないから」、「疲れる、体力がない」、「特にしなくても問題ないから」の順になっています。このことから、生活スタイルや年代に応じた運動・スポーツの機会づくりの創出、市民の体力、ニーズに応じた運動・スポーツの教室やイベント等を構築していく必要があります。

また、運動・スポーツの実施により、心身両面の健康保持増進につながることへの認識の場の創出も必要と考えます。



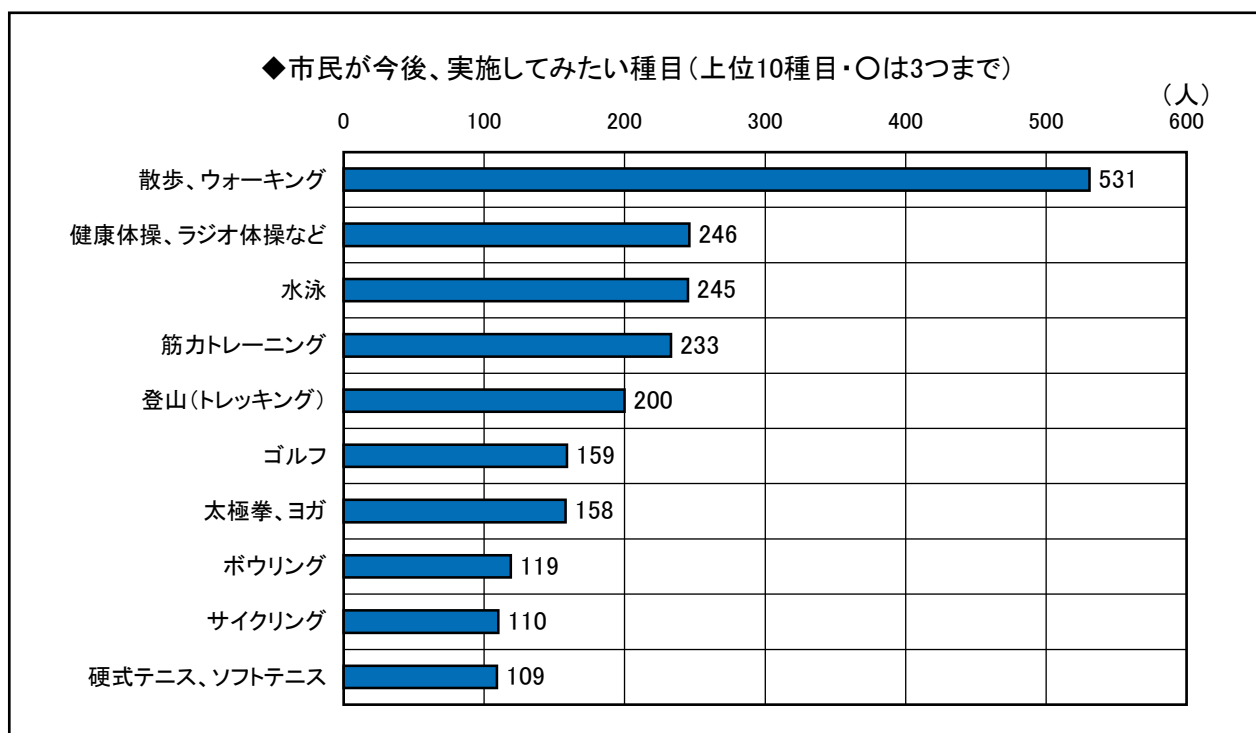
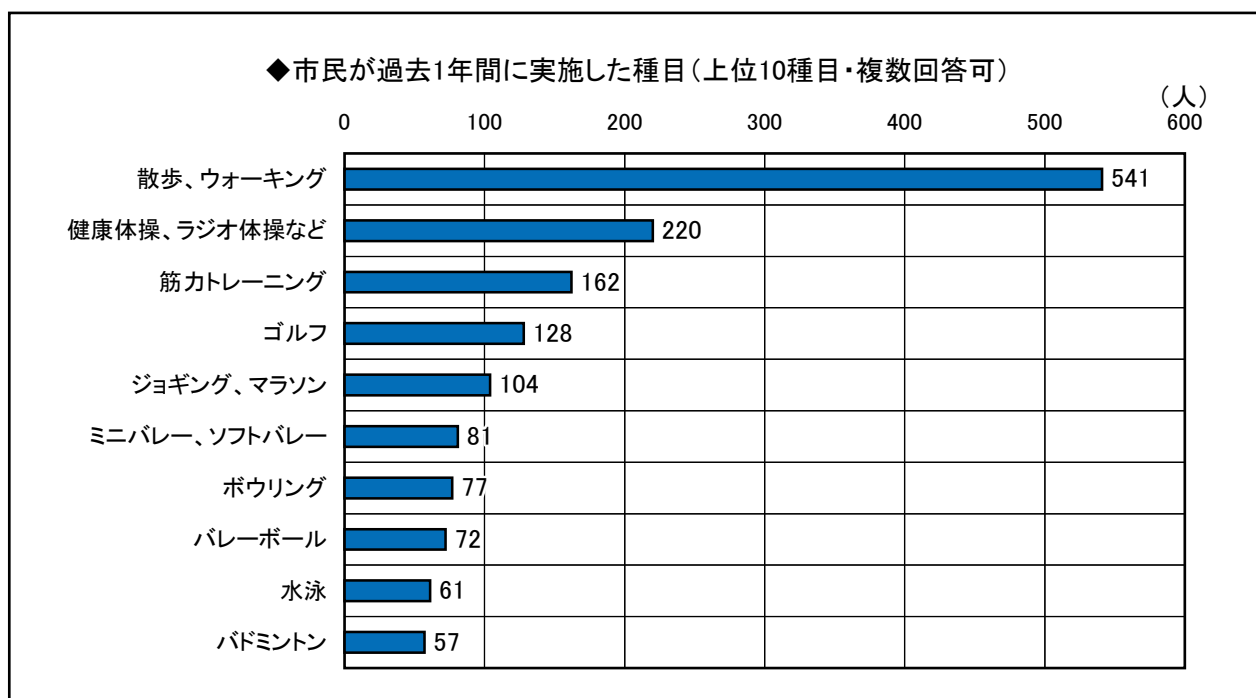
▲宮崎ふれあいトレッキング

3) 運動・スポーツの実施種目・今後の実施希望種目

過去1年間に実施した運動・スポーツ種目は、「散歩、ウォーキング」が最も多く、次いで「健康体操、ラジオ体操など」、「筋力トレーニング」となっており、前回の市民意識調査においても、同様の傾向を示しています。国の調査においても、「散歩、ウォーキング」、「体操」が多数を占めています。

また、今後実施したい種目では、「散歩、ウォーキング」、「健康体操、ラジオ体操など」に対する希望が多く、次いで「水泳」、「筋力トレーニング」の順となっています。

結果として、個々の余暇時間等を利用し、気軽にできる種目へのニーズが高いことが示されています。

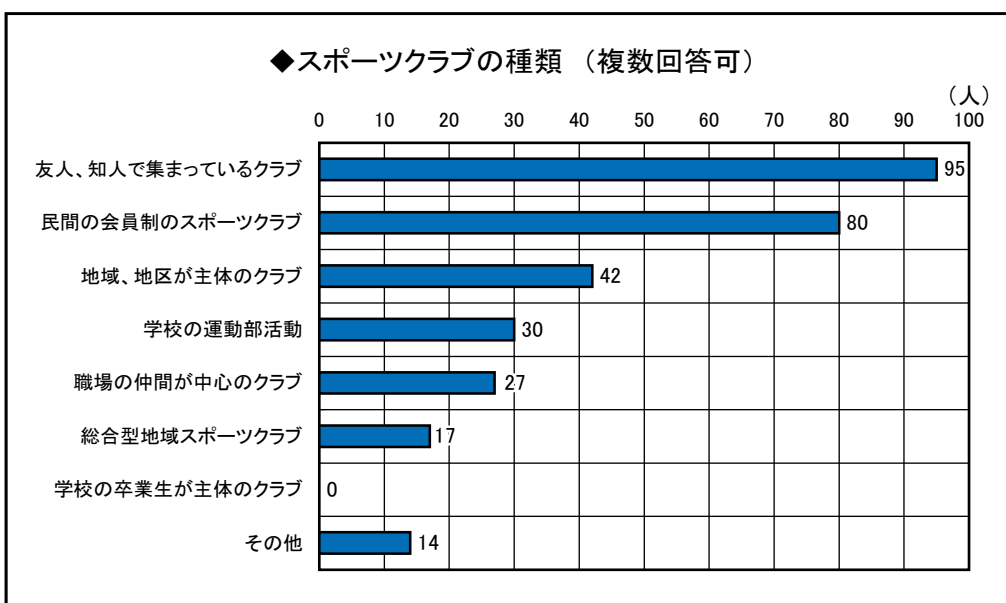
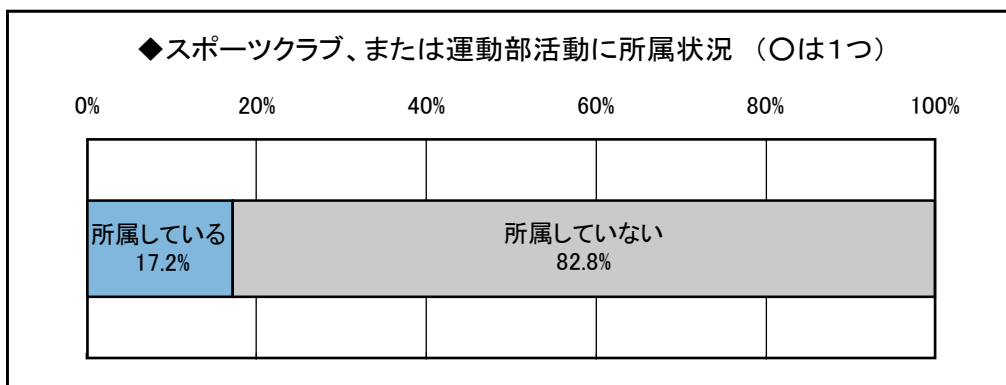


4) スポーツクラブへの加入状況

スポーツクラブ等（社会人のクラブチームやサークル、民間フィットネスクラブ、総合型地域スポーツクラブ等）への加入状況については、17.2%が「所属している」、82.8%が「所属していない」という結果になっています。

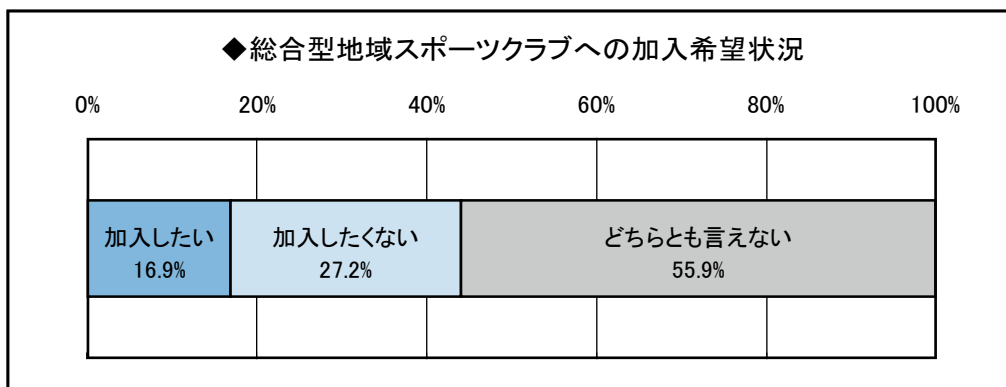
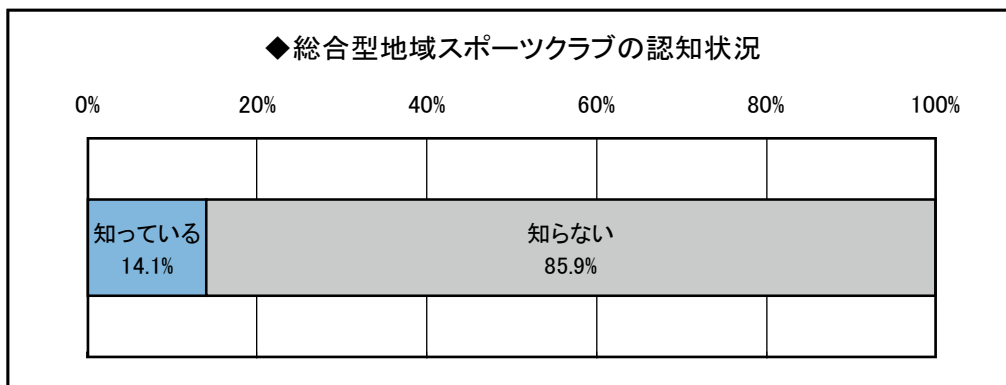
所属しているスポーツクラブの種類については、主に「友人、知人で集まっているクラブ」や「民間の会員制のスポーツクラブ」が、前回の市民意識調査と同様に多数を占めています。

スポーツクラブに加入することによって交友関係が広がり、クラブ員同士のコミュニケーションの充実にもつながっていくと考えます。



総合型地域スポーツクラブの認知状況をみると、「知っている」と答えた人は14.1%と、前回の市民意識調査に比べ1.7ポイント高くなっています。しかしながら、本市における総合型地域スポーツクラブの認知度はまだ高いものではなく、継続的な周知活動が必要といえます。

また、「加入したい」と16.9%の人が答えていることや判断のつかない人も半数以上いることから、加入への動機づけも今後の課題といえます。



▲総合型地域スポーツクラブ（卓球・健康体操教室）

◆総合型地域スポーツクラブ

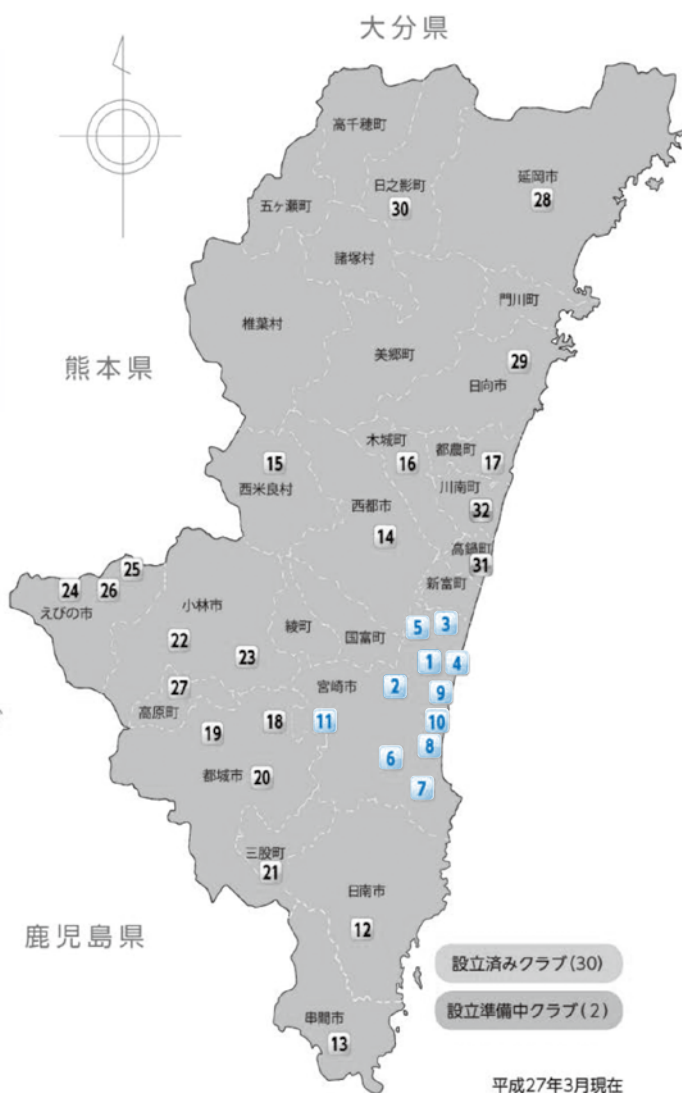
平成7年度から文部科学省が取り組むスポーツ振興策の一つ。スポーツを通じて「新しい公共」を担い、コミュニティの核となれるよう各市町村に少なくとも一つはクラブが育成されることを目指している。

地域住民に年齢・興味・関心、技術・技能レベル等に応じた様々な運動・スポーツの機会を提供する多種目、多世代、多志向のスポーツクラブである。



宮崎県の総合型地域スポーツクラブ

- 1 NPO法人 東大宮スポーツクラブ
- 2 みやざき中央スポーツクラブ
- 3 NPO法人 佐土原スポーツクラブ
- 4 住吉スポーツクラブ
- 5 NPO法人 MIYAZAKIうづらaiクラブ
- 6 半九レインボーSC
- 7 青島スポーツクラブ
- 8 木の花スポーツクラブ
- 9 穂フェニックス総合型スポーツクラブ
- 10 潮見スポーツクラブ
- 11 NPO法人 FC roby
- 12 東郷スポーツクラブ
- 13 一般社団法人 串間スポーツクラブ
- 14 西都スポーツクラブ
- 15 メラスポチャレンジクラブ
- 16 木城ドリームス
- 17 NPO法人 都農enjoyスポーツクラブ
- 18 NPO法人 高城スポーツクラブ
- 19 都城西スポーツクラブ
- 20 コスモクラブ都城
- 21 NPO法人 みまたチャレンジ総合クラブ
- 22 小林元気クラブ
- 23 クラブのじり
- 24 NPO法人 真幸ホットほとクラブ
- 25 NPO法人 いいの夢クラブ
- 26 NPO法人 いい汗加久藤クラブ
- 27 神武くんスポーツクラブ“きらり”
- 28 南方ワイワイススポーツクラブ
- 29 ひむかYOUゆうクラブ
- 30 ひのかげきらめきクラブ
- 31 高鍋スポーツクラブ設立準備委員会
- 32 川南スポーツ倶楽部設立準備委員会



(出典) 宮崎県の総合型地域スポーツクラブ周知リーフレット (みやざき広域スポーツセンター作成)

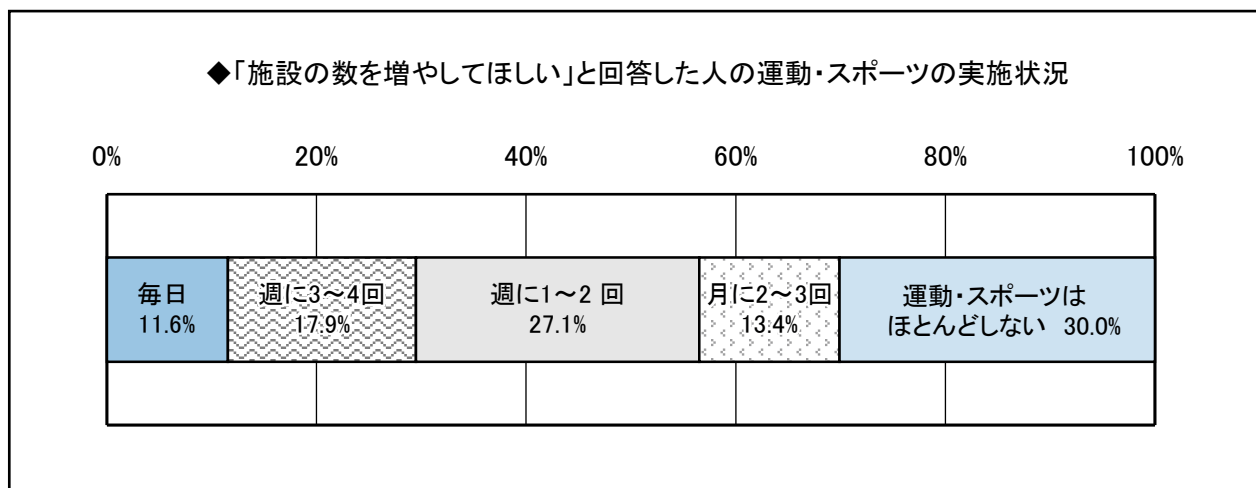
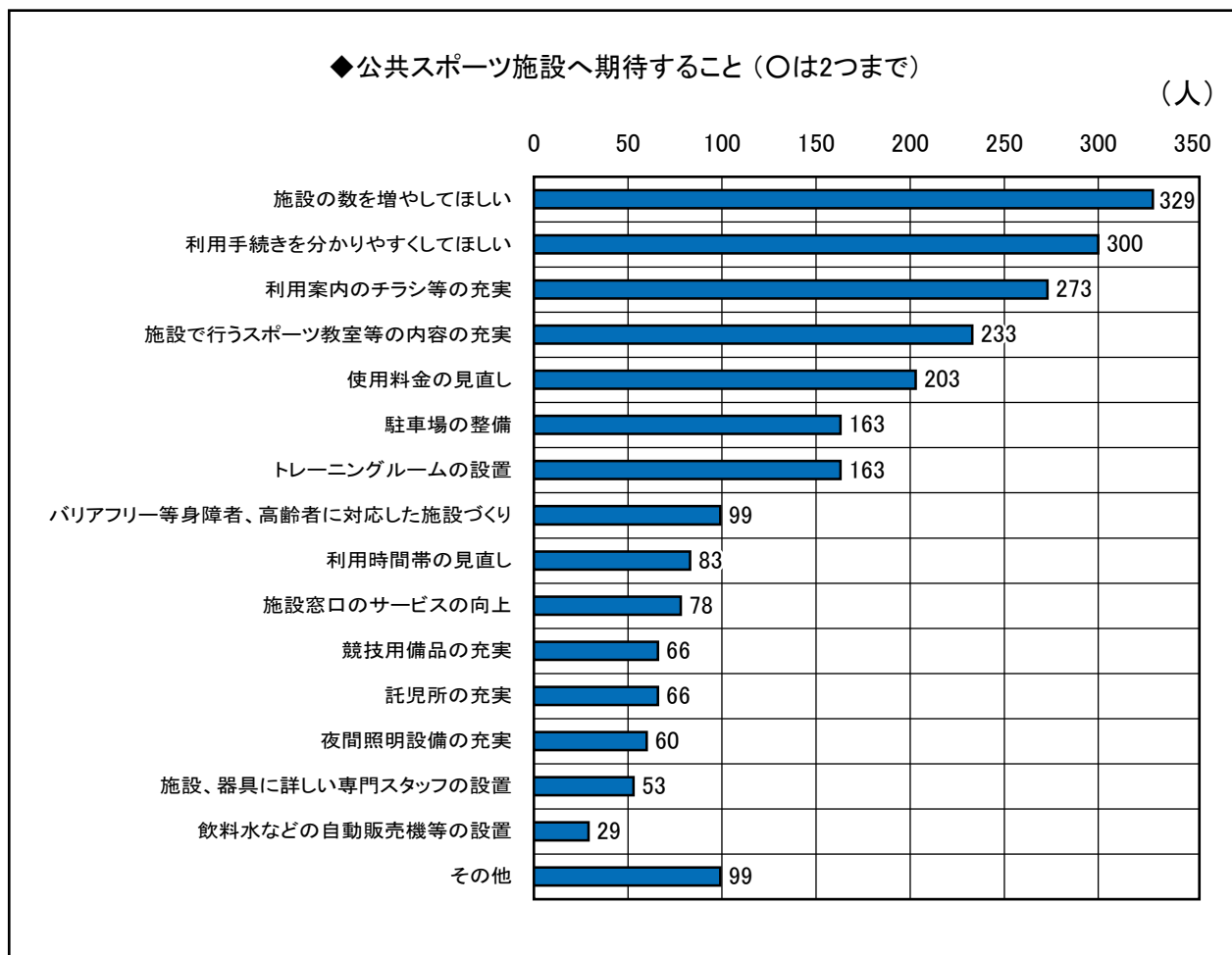
宮崎市には、11のスポーツクラブが設立されています。それぞれのクラブで、地域の住民のニーズを踏まえ、ミニバレーボールやミニテニス、健康体操、また英会話などの多種多様な教室や大会を展開している。(1～11が宮崎市の総合型地域スポーツクラブ)

5) スポーツ施設及び利用者のニーズ

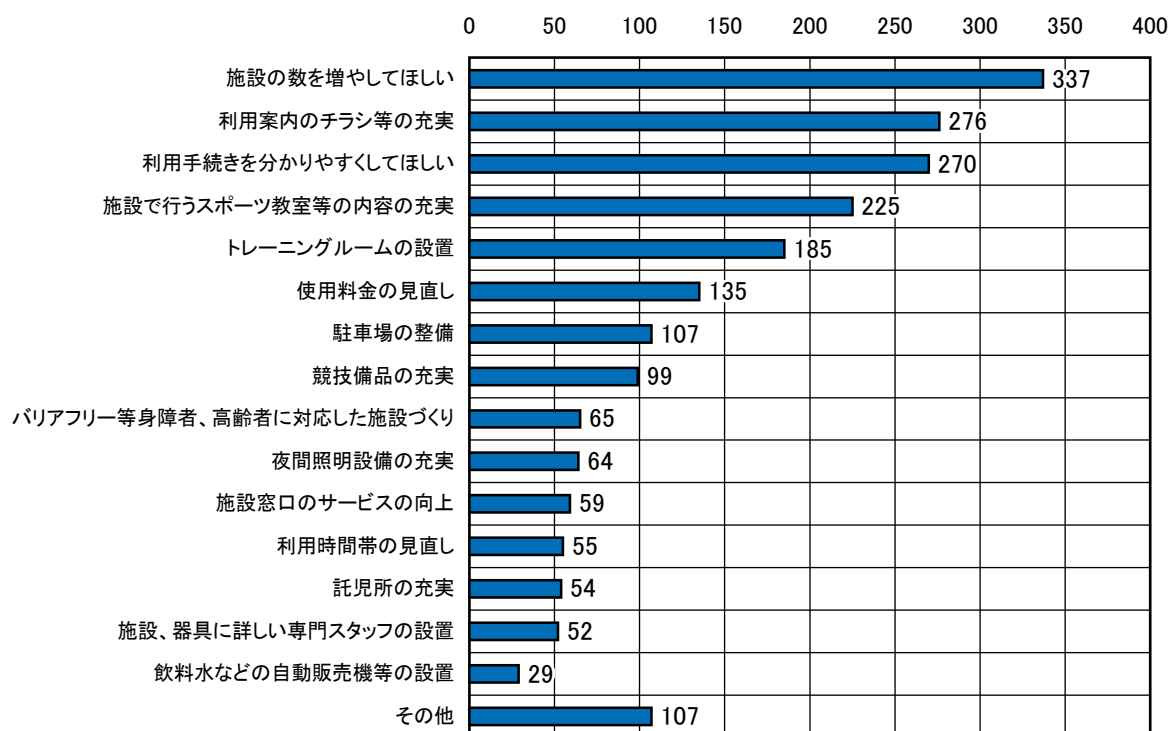
市民が現在の公共スポーツ施設に期待することは、「施設の数を増やしてほしい」、「利用手続きを分かりやすくしてほしい」、「利用案内のチラシ等の充実」、「施設で行うスポーツ教室等の内容の充実」が多く挙げられています。

住んでいる地域、地区においても、公共スポーツ施設に期待することは、上記の公共スポーツ施設に期待することと同様な回答となっています。

「施設の数を増やしてほしい」と回答している市民の運動実施状況を調べてみると、「運動・スポーツをほとんどしない」と回答している人が最も多いという傾向も出ています。



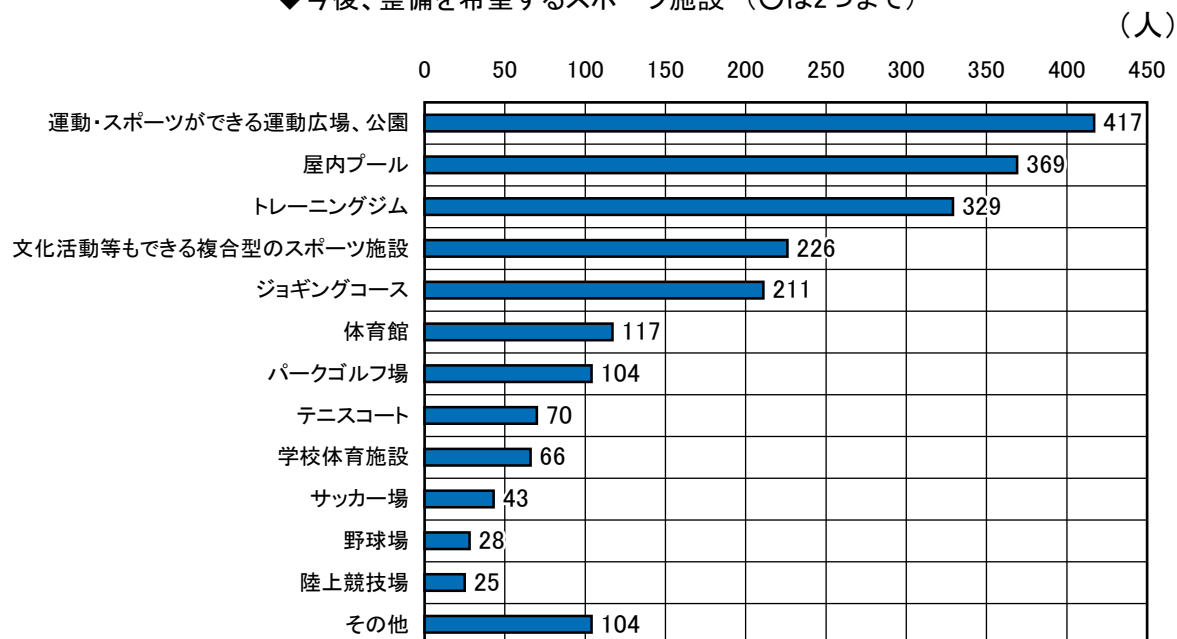
◆自分の住んでいる地域、地区において、スポーツ施設に希望すること(○は2つまで) (人)



また、今後、整備を希望する公共スポーツ施設については、「運動・スポーツができる運動広場、公園」、「屋内プール」、「トレーニングジム」が上位に挙がっています。

利用者が、身近に利用しやすい公共スポーツ施設として、既存施設の機能維持を図り、また施設の管理運営を行う指定管理者と連携しながら、市民が利用しやすい施設づくりやサービスの向上を図っていく必要があります。

◆今後、整備を希望するスポーツ施設 (○は2つまで)

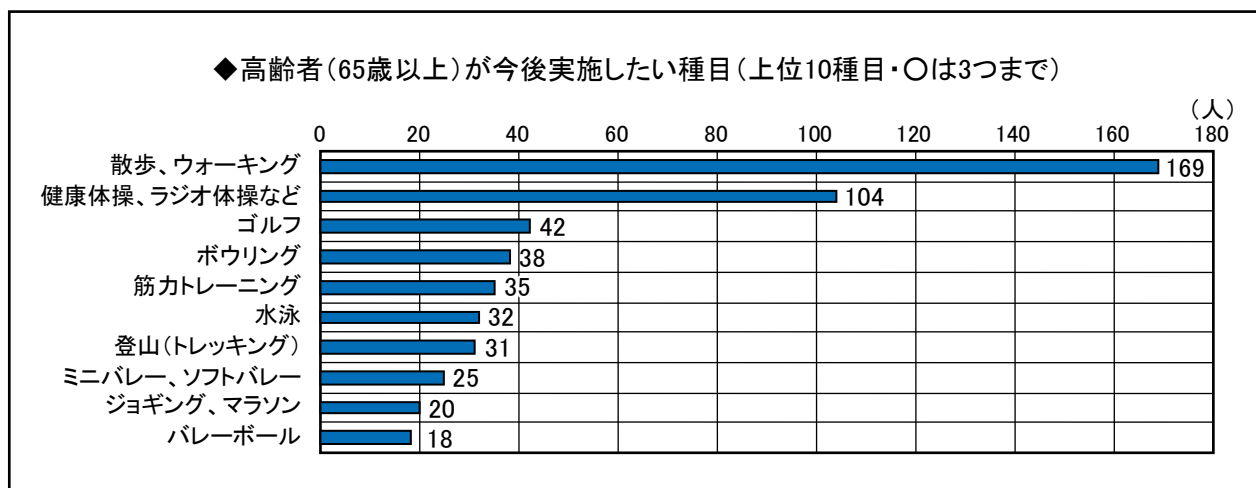
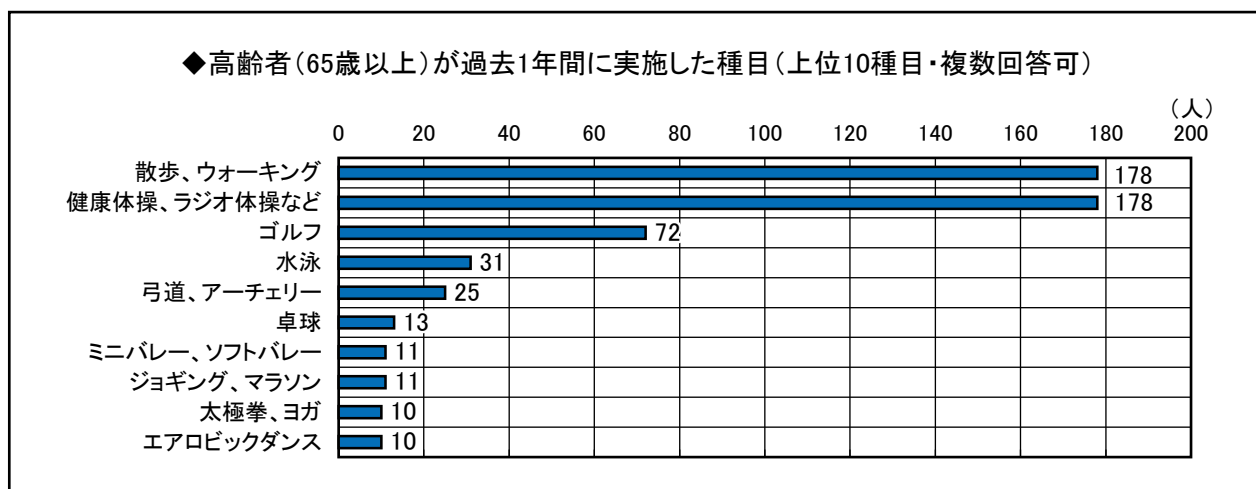
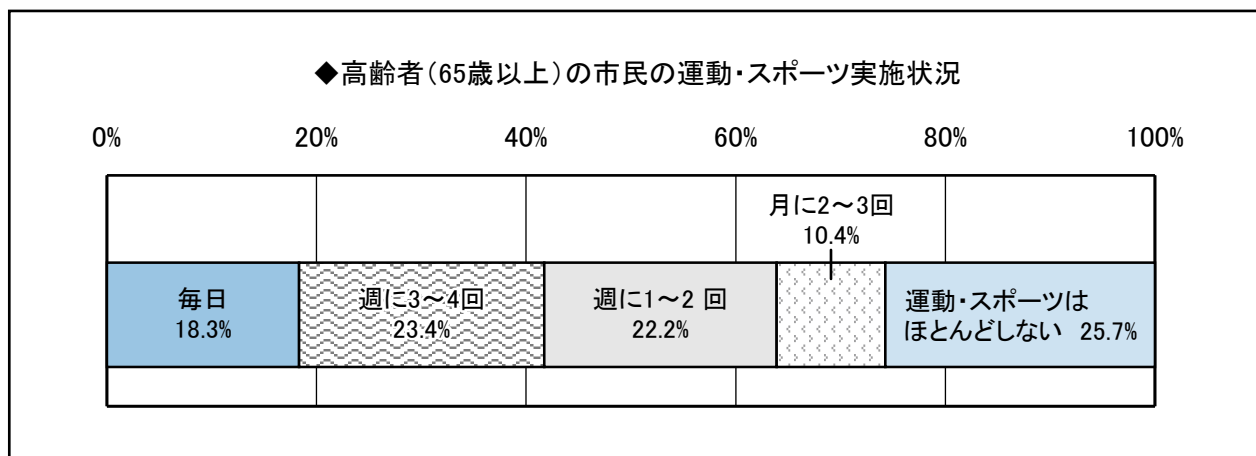


6) 高齢者の運動・スポーツの実施状況とニーズ

本市では、平成26年度に総人口の23.8%が65歳以上の高齢者を占めており、超高齢社会を迎えています。65歳以上の高齢者の週1回以上の運動・スポーツ実施率は、63.9%で、前回の市民意識調査時の54.8%から9.1ポイント高くなっています。

過去1年間に実施した運動・スポーツ種目は「散歩、ウォーキング」、「健康体操、ラジオ体操など」、「ゴルフ」が上位を占め、前回の調査と同様な傾向となっています。

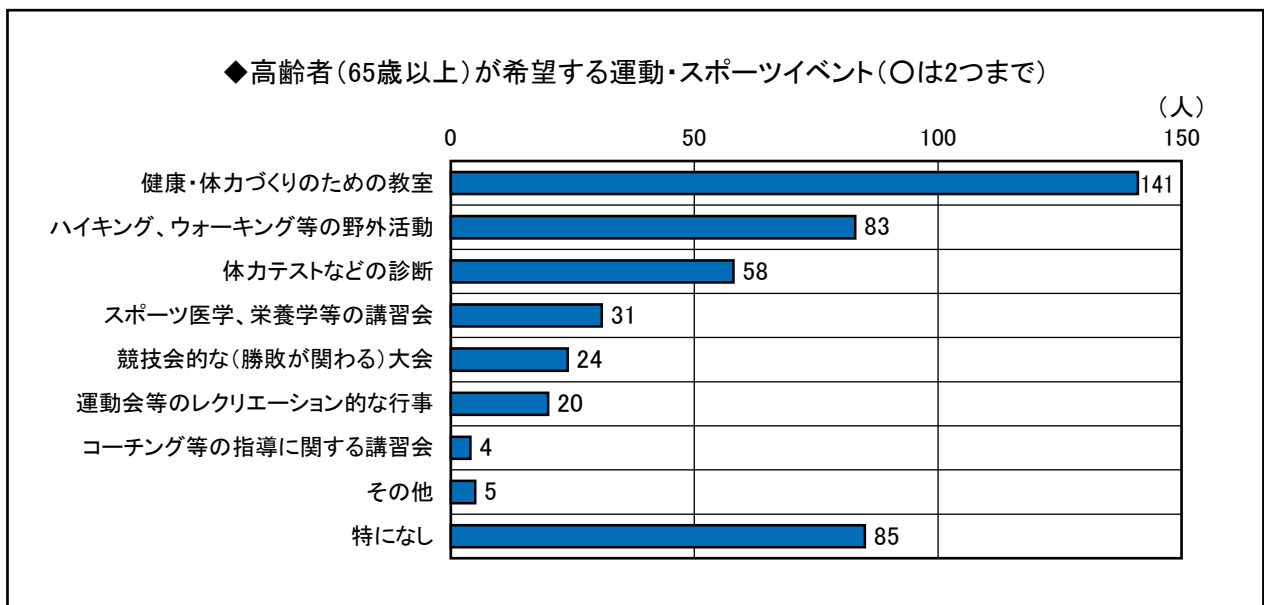
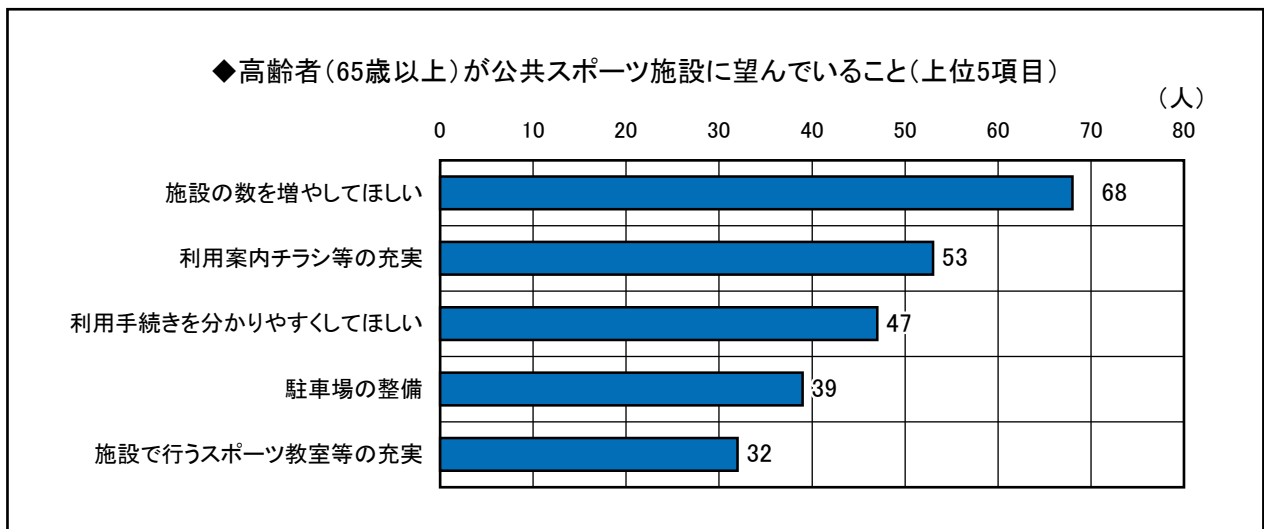
今後、実施したい種目の上位は過去1年間に実施した種目と同様な傾向ですが、個人で余暇時間等を利用してできる運動・スポーツへのニーズが高いことが挙げられます。



高齢者が公共スポーツ施設に望んでいることは、「施設の数を増やしてほしい」、「利用案内のチラシ等の充実」、「利用手続きを分かりやすくしてほしい」が多数を占め、市民意識調査と同様の傾向となっています。

また、高齢者が希望する運動・スポーツイベントは「健康・体力づくりのための教室」、「ハイキング、ウォーキング等の野外活動」、「体力テストなどの診断」が上位を占めておりますが、「特になし」と回答している高齢者も多い結果となっております。

今後、本市においても、超高齢社会を迎えていることを念頭に、高齢者のニーズに対応した運動・スポーツ施設の改善や健康・体力づくりのための運動・スポーツ教室の周知や実施が必要になると考えます。



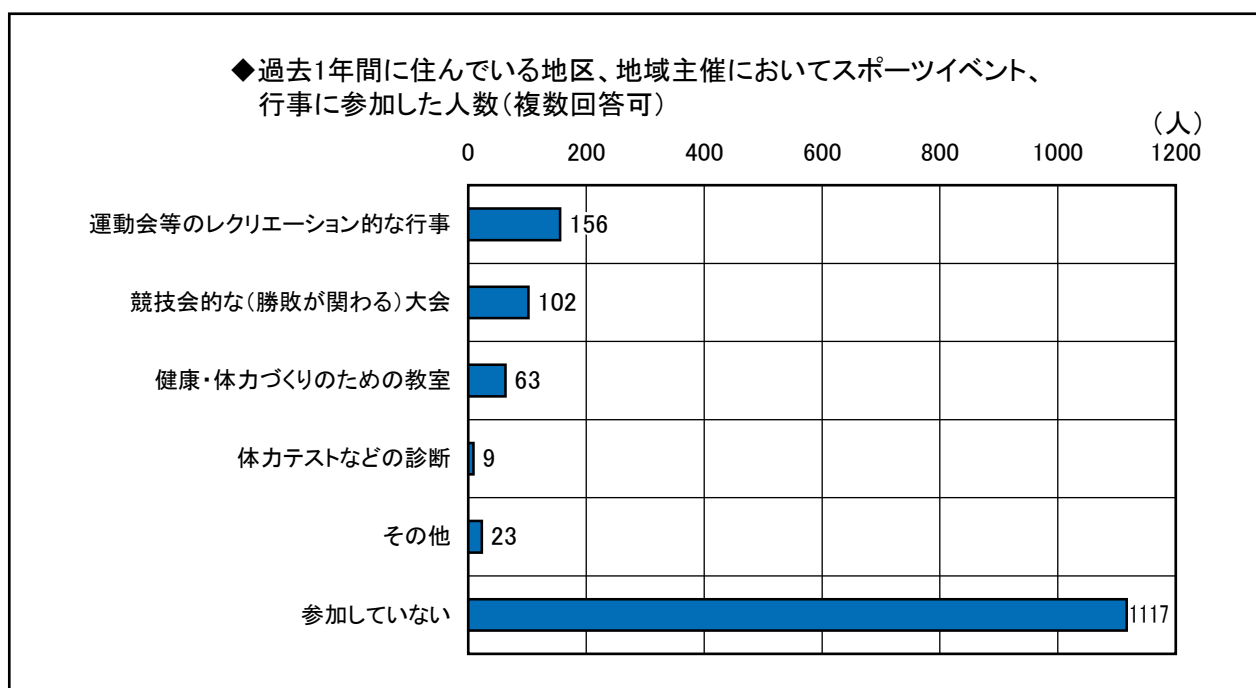
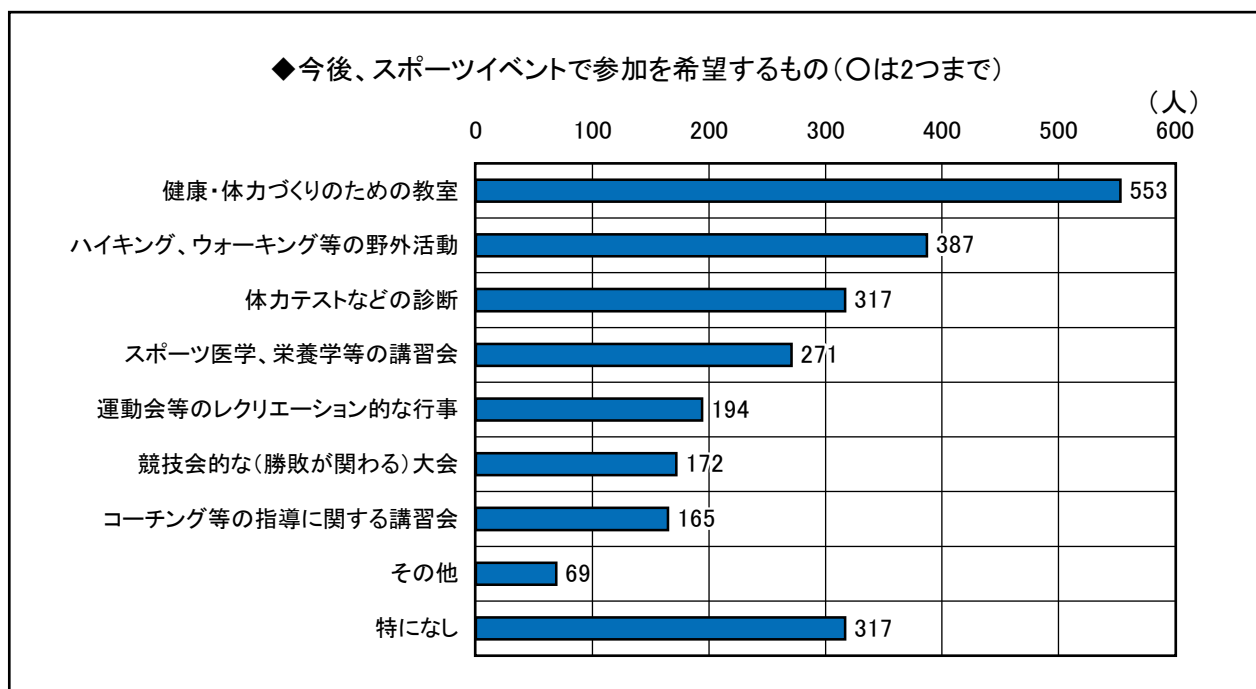
7) スポーツイベント等についてのニーズ

今後、開催を希望するスポーツイベントにおいては、「健康・体力づくりのための教室」が多数を占めており、前回の市民意識調査と同様の傾向となっています。

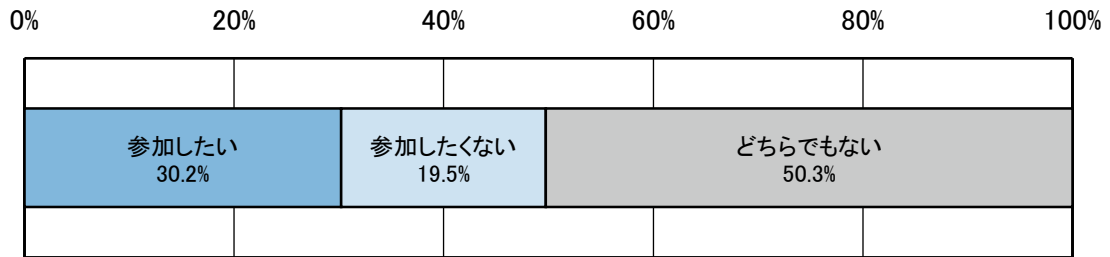
また、居住する地域、地区主催の運動・スポーツイベントへの参加については、多数の市民が「参加していない」と回答しています。この結果は、自治会加入率の低下や地域住民同士の交流の希薄化なども背景にあると考えられます。

(本市の自治会加入率：平成16年度68.6%→平成26年度56.9%)

地域再生や地域のきずなづくりの一つの手段として、子どもから大人までが参加でき、交流することのできるスポーツ大会やイベント等の情報発信や、参加したいと思えるような運動・スポーツ教室、野外活動などの開催が今後、必要となってくると考えます。



◆今後の地域、地区主催のスポーツイベント、行事に参加への意向(○は1つ)

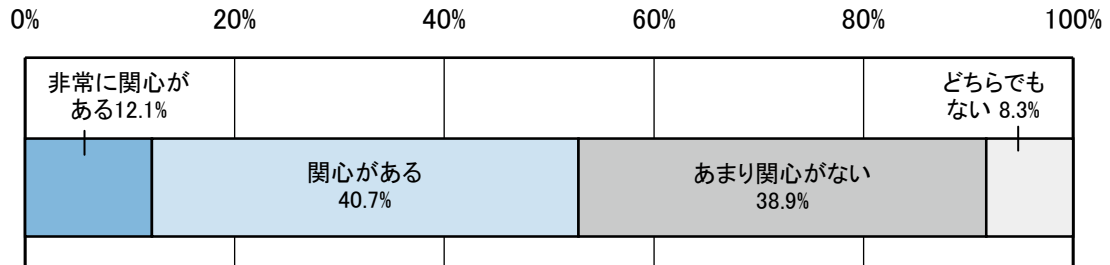


本市では、毎年プロ野球やJリーグなどのキャンプが行われ、賑わいをみせています。市民意識調査によると、52.8%の市民がキャンプへの関心を持っているという状況が見られます。

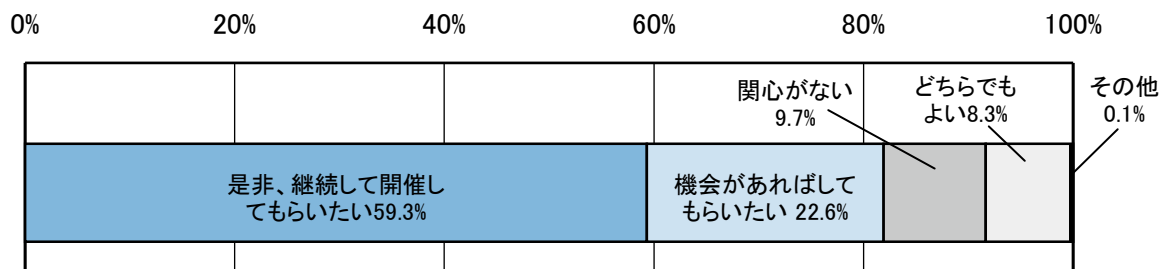
また、子どもたちとプロスポーツ選手との交流会（スポーツ教室等）の開催については、81.9%の市民が望んでいます。

県内外から毎年多くの人を訪れるスポーツキャンプについては、地域経済への波及効果が大きく、観光浮揚が図られ、またプロスポーツ選手との交流会については、子どもたちに憧れや夢を与えることにつながるため、継続して開催することが必要と考えます。

◆プロ野球やサッカーチーム等のキャンプへの関心度(○は1つ)



◆プロスポーツ選手を迎えての子ども達への野球教室やサッカー教室の指導等を行なう交流会開催希望(○は1つ)



◆平成26年度のプロ野球・プロサッカー等のキャンプ・試合状況

日 程	チーム・試合名	利用施設	種目(目的)
10/4	プロ野球ファーム日本選手権	KIRISHIMA サンマリスタジアム宮崎	野球(試合)
10/6～27	みやぎフェニックス・リーグ	アイビースタジアム 他	野球(試合)
11/1～11/22	福岡ソフトバンクホークス	生目の杜運動公園	野球(キャンプ)
11/20～23	ダンロップフェニックス トーナメント	フェニックスカントリークラブ	ゴルフ(試合)
11/27～30	LPGA ツアーチャンピオンシップ リコーカップ	宮崎カントリークラブ	ゴルフ(試合)
1/16～26	浦和レッズ	国際海浜エントランスプラザ	サッカー(キャンプ)
1/23～2/4	鹿島アントラーズ	KIRISHIMA ヤマザクラ 県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2/1～28	読売巨人軍	KIRISHIMA ヤマザクラ 県総合運動公園	野球(キャンプ)
2/1～28	福岡ソフトバンクホークス	生目の杜運動公園	野球(キャンプ)
2/1～26	オリックス・バファローズ	清武総合運動公園	野球(キャンプ)
2/2～14	アビスパ福岡	生目の杜運動公園	サッカー(キャンプ)
2/3～14	横浜F・マリノス	シーガイアスクエア1	サッカー(キャンプ)
2/9～21	徳島ヴォルティス	清武総合運動公園 KIRISHIMA ヤマザクラ 県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2/9～21	セレッソ大阪	国際海浜エントランスプラザ	サッカー(キャンプ)
2/10～16	大宮アルディージャ	KIRISHIMA ヤマザクラ 県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2/10～15	ジェフユナイテッド市原・千葉	清武総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2/12～23	サンフレッチェ広島	シーガイアスクエア1	サッカー(キャンプ)
2/14～22	ファジアーノ岡山	生目の杜運動公園	サッカー(キャンプ)
2/15～3/1	ベガルタ仙台	清武総合運動公園 KIRISHIMA ヤマザクラ 県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2/21・22	オープン戦 福岡ソフトバンクホークス対 オリックス・バファローズ(21日) 福岡ソフトバンクホークス対 埼玉西武ライオンズ(22日)	アイビースタジアム	野球(試合)
2/24～26	球春みやぎきベースボールゲームズ	アイビースタジアム 他	野球(試合)
2/28～3/3	斗山ベアーズ	清武総合運動公園	野球(キャンプ)
3/27～29	アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI	UMK カントリークラブ	ゴルフ(試合)



▲読売巨人軍キャンプ



▲Jリーグキャンプ



▲福岡ソフトバンクホークスキャンプ



▲オリックス・バファローズキャンプ

(2) 障がい者の運動・スポーツの状況

1) 障がい者の運動・スポーツの実施状況

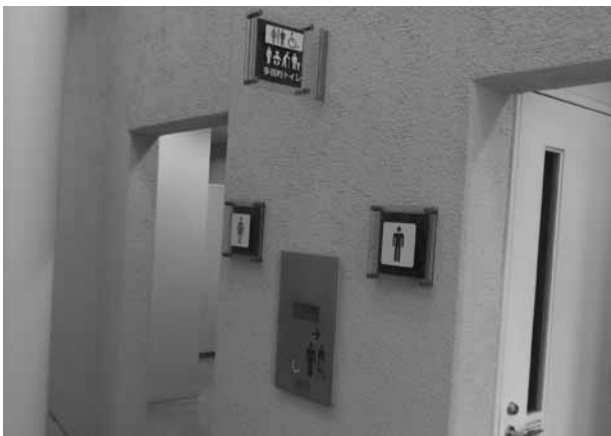
平成24年1月～3月に実施された「宮崎市障がい者計画（第3期）」のためのアンケート調査によると、「スポーツや文化活動等の社会活動の参加を希望する」という人は、83.8%という結果となっています。

また、国の委託調査を受け、笹川スポーツ財団が実施している「平成25年度地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究」によると、7歳以上の障がい児・者の44.4%が過去1年間に何らかのスポーツ・レクリエーションを実施したと回答しており、同調査によるスポーツ・レクリエーションを実施する主な目的として、「健康の維持・増進のため」、「気分転換・ストレス解消のため」、「楽しみのため」、「友人や家族との交流のため」が上位を占めています。しかし、同調査結果において、半数以上の障がい児・者は、過去1年間に、何も運動・スポーツを行っていない現状もあります。

運動・スポーツ活動は健康の維持増進、仲間づくり、楽しみや生きがいなど様々な意味を持っています。本市においても、障がい者の運動・スポーツ活動の機会の創出や支援体制の検討が必要と考えます。

2) 障がい者の運動・スポーツ活動施設の状況

本市の公共スポーツ施設においても、平成12年に制定された「宮崎市福祉のまちづくり条例」注3)の基本理念をもとに、障がい者や高齢者等が安全かつ円滑に利用できるように、バリアフリー化やユニバーサルデザイン注4)を踏まえた整備を進めています。出入口付近のスロープ設置や車いす使用者や高齢者など、多様な人が利用できる多目的トイレ等の設置がその一例として挙げられます。



▲石崎の杜「鯨鯨館」の多目的トイレ

注3)宮崎市福祉のまちづくり条例

福祉のまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、すべての市民が幸せを実感できる福祉社会の実現に資することを目的に、施設の整備基準等を定めた条例。

注4)ユニバーサルデザイン

健常者と障がい者、高齢者等を区別せず、全ての人が公平に使えるような製品や建築物、生活環境を実現しようという設計思想、指針、デザインのこと。

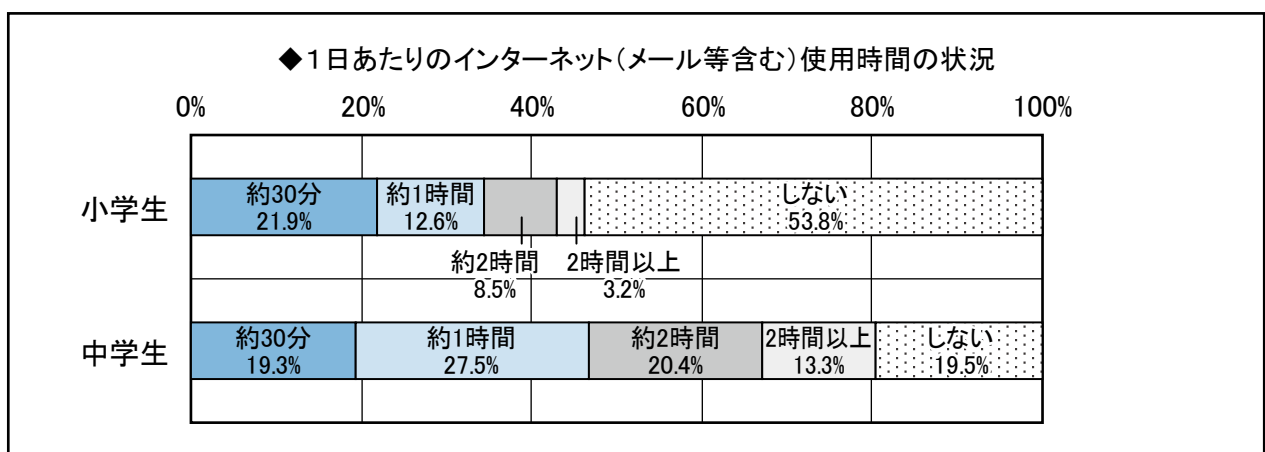
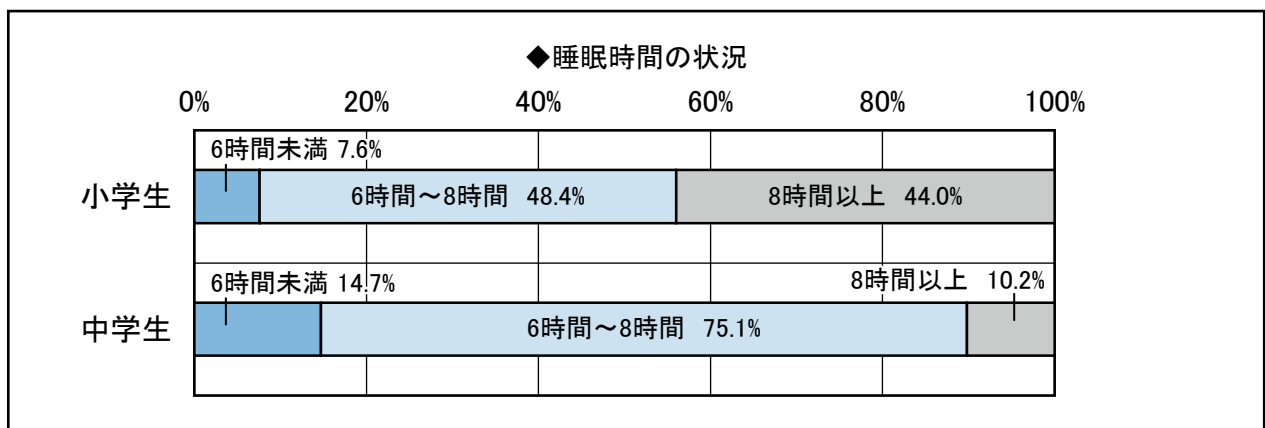
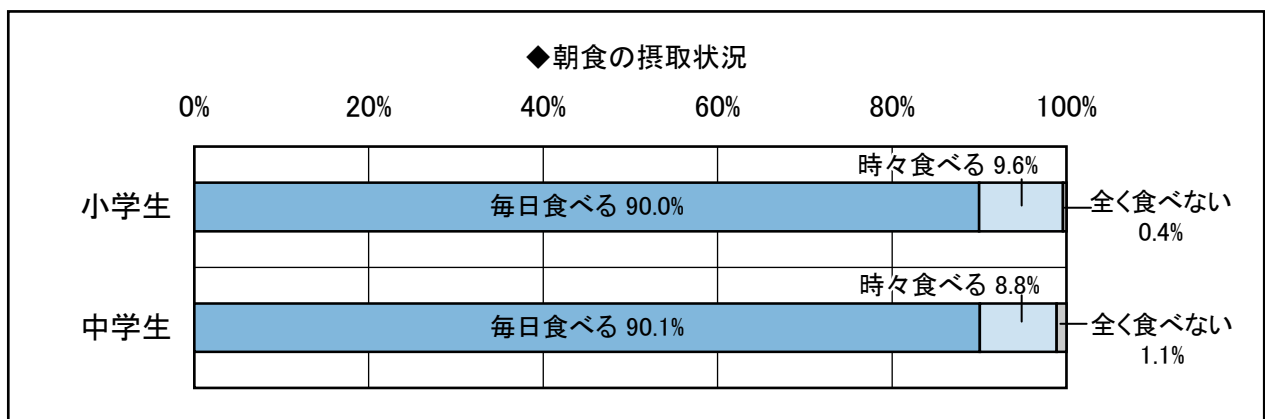
(3) 児童生徒の運動・スポーツの状況

1) 児童生徒の生活環境や体力に対する意識及び状況

児童生徒の健康や体力に対する状況として、90%の小中学生が朝食を摂っています。睡眠時間については、6時間以上から8時間未満が小中学生ともに最も多く、前回の小中学生の意識調査と同様の結果となっています。

今回の意識調査では、インターネット環境の普及の背景から、小中学生のインターネットの使用時間について調査を行いました。使用している時間については、小学生は約30分が最も多く、中学生になると約1時間が最も多いという結果になっています。

また、児童生徒の体力の状況として、県内の体力・運動能力調査結果と新体力テストの国と県の種目別平均値を挙げておりますが、全国平均と比較しても県の平均が上回る種目が多いことがうかがえます。



◆参考 宮崎県内の児童生徒の体力・運動能力調査結果

2 調査結果

(1) 本県平均値と前年度の比較

※ 有意差検定による比較

【26年度】

〈参考〉【25年度】

年度			平成26年度本県平均値と 平成25年度本県平均値との比較									平成25年度本県平均値と 平成24年度本県平均値との比較								
性別	学校 学年	項目 年齢	握力	上 体起 こし	長 座 体 前 屈	反 復 横 と び	シ ャ ト ル ラ ン	持 久 走	5 0 m 走	立 ち 幅 と び	ボ ー ル 投 げ	握力	上 体起 こし	長 座 体 前 屈	反 復 横 と び	シ ャ ト ル ラ ン	持 久 走	5 0 m 走	立 ち 幅 と び	ボ ー ル 投 げ
	小2	7	—	—	—	◎	—	—	◎	—	—	—	—	—	◎	—	▲	—	—	—
	小3	8	—	—	—	◎	—	—	◎	—	—	▲	—	—	—	—	▲	▲	—	—
	小4	9	—	—	—	◎	—	—	◎	—	▲	—	—	—	◎	—	▲	—	—	—
	小5	10	—	—	—	◎	—	—	◎	—	—	◎	—	—	—	—	▲	▲	▲	▲
	小6	11	▲	—	▲	—	—	—	◎	—	▲	—	—	—	—	—	▲	—	▲	▲
	中1	12	—	—	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—	—	◎	▲	▲	▲	▲	—
	中2	13	—	◎	—	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	▲	—	▲	▲	▲	▲	▲	—
	中3	14	—	▲	—	◎	—	◎	◎	—	—	—	◎	—	▲	▲	▲	—	▲	▲
	高1	15	◎	◎	—	◎	◎	—	◎	◎	—	▲	◎	—	—	—	▲	—	—	◎
	高2	16	▲	—	—	◎	—	◎	◎	◎	—	—	◎	—	—	▲	—	—	—	—
	高3	17	—	—	—	◎	—	◎	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—
女子	小1	6	—	◎	◎	◎	▲	—	—	◎	—	▲	—	—	◎	—	—	▲	▲	▲
	小2	7	—	—	—	◎	—	—	◎	—	▲	—	—	◎	—	—	▲	—	—	—
	小3	8	—	◎	▲	◎	—	—	◎	—	▲	—	—	◎	—	—	▲	—	◎	◎
	小4	9	▲	—	—	◎	—	—	◎	—	▲	—	—	◎	—	—	—	—	—	◎
	小5	10	—	—	◎	◎	—	—	—	—	▲	—	—	◎	—	—	—	—	—	—
	小6	11	▲	—	—	—	—	—	◎	—	▲	—	—	◎	—	—	—	—	—	—
	中1	12	—	◎	▲	—	—	◎	◎	◎	—	—	—	◎	—	—	▲	▲	—	—
	中2	13	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	▲	—	—	◎	▲	▲	▲	▲	—	—
	中3	14	—	—	—	◎	—	◎	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高1	15	—	▲	▲	◎	—	◎	—	—	▲	—	—	◎	—	—	—	—	—	—
	高2	16	—	◎	—	◎	—	◎	◎	◎	—	—	◎	◎	—	—	—	—	—	—
	高3	17	◎	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—

◎ : 5%水準で、過去の県平均を上回っている ▲ : 5%水準で、過去の県平均を下回っている
 — : 有意差がない / : 実施していない

【26年度】

【25年度】

		◎上回っている			有意差なし		▲下回っている					◎上回っている			有意差なし		▲下回っている				
小学校	男子	15	31.3%	27	56.3%	6	12.5%	48	男子	4	8.3%	28	58.3%	16	33.3%	48					
中学校		12	44.4%	14	51.9%	1	3.7%	27	2	7.4%	11	40.7%	14	51.9%	27						
高校		14	51.9%	12	44.4%	1	3.7%	27	4	14.8%	19	70.4%	4	14.8%	27						
男子計		41	40.2%	53	52.0%	8	7.8%	102	10	9.8%	58	56.9%	34	33.3%	102						
小学校	女子	14	29.2%	25	52.1%	9	18.8%	48	女子	10	20.8%	30	62.5%	8	16.7%	48					
中学校		14	51.9%	10	37.0%	3	11.1%	27	2	7.4%	15	55.6%	10	37.0%	27						
高校		12	44.4%	12	44.4%	3	11.1%	27	7	25.9%	19	70.4%	1	3.7%	27						
女子計		40	39.2%	47	46.1%	15	14.7%	102	19	18.6%	64	62.7%	19	18.6%	102						
小学校		29	30.2%	52	54.2%	15	15.6%	96	小学校	14	14.6%	58	60.4%	24	25.0%	96					
中学校		26	48.1%	24	44.4%	4	7.4%	54	中学校	4	7.4%	26	48.1%	24	44.4%	54					
高校		26	48.1%	24	44.4%	4	7.4%	54	高校	11	20.4%	38	70.4%	5	9.3%	54					
総計		81	39.7%	100	49.0%	23	11.3%	204	合計	29	14.2%	122	59.8%	53	26.0%	204					

(出典) 平成26年度宮崎県内の児童生徒の体力・運動能力調査報告書 (宮崎県教育委員会)

・平成26年度平均値と平成25年度平均値の比較

全 体 傾 向…全体的に昨年度(25年度)よりやや上回っている。

項目ごとの傾向…「反復横跳び」、「持久走」、「50m走」等向上

「握力」、「ボール投げ」等低下

◆参考 平成26年度 新体力テストの国と宮崎県の種目別平均の比較

※調査対象:小学校第5学年、中学校第2学年(特別支援学校含む)

※中学生は、持久走か20mシャトルランどちらかを選択して実施

※小学生は、ソフトボール投げ、中学生はハンドボール投げを実施

平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

小学校5年生男子

		児童数	握力 kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	シャトルラン 回	持久走	50m走 秒	立ち幅とび cm	ソフトボール 投げ m	体力 合計点	全国 順位	九州 順位
H26	全国	556,756	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67		9.38	151.71	22.89	53.91	11	2
	本県	5,180	16.50	20.31	33.32	43.45	54.76		9.37	151.67	24.25	55.12		
	比較		▲	◎	◎	◎	◎		◎	▲	◎	◎		
H25	全国	550,004	16.63	19.54	32.73	41.41	51.41		9.38	152.07	23.19	53.87	12	1
	本県	5,168	16.62	20.28	32.51	43.10	54.31		9.35	151.30	24.28	54.90		
	比較		▲	◎	▲	◎	◎		◎	▲	◎	◎		

◎:全国平均以上、▲:全国平均未満

小学校5年生女子

		児童数	握力 kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	シャトルラン 回	持久走	50m走 秒	立ち幅とび cm	ソフトボール 投げ m	体力 合計点	全国 順位	九州 順位
H26	全国	533,376	16.09	18.26	37.22	39.37	40.30		9.63	144.79	13.89	55.01	11	1
	本県	4,964	16.06	18.88	36.86	41.37	43.00		9.62	144.62	14.86	56.26		
	比較		▲	◎	▲	◎	◎		◎	▲	◎	◎		
H25	全国	526,069	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66		9.64	144.55	13.94	54.70	13	1
	本県	4,942	16.21	18.69	36.07	40.94	42.56		9.57	144.35	14.86	55.96		
	比較		◎	◎	▲	◎	◎		◎	▲	◎	◎		

◎:全国平均以上、▲:全国平均未満

中学校2年生男子

		児童数	握力 kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	シャトルラン 回	持久走	50m走 秒	立ち幅とび cm	ソフトボール 投げ m	体力 合計点	全国 順位	九州 順位
H26	全国	540,750	29.00	27.36	42.87	51.31	85.02	393.74	8.03	193.44	20.81	41.63	9	1
	本県	4,565	29.46	27.41	44.69	52.85	89.77	394.06	7.99	196.39	21.99	43.73		
	比較		◎	◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎	◎	◎		
H25	全国	507,003	29.21	27.58	43.11	51.08	84.98	393.90	8.04	193.68	21.01	41.78	9	1
	本県	4,523	29.64	27.39	44.28	52.45	89.53	395.06	8.02	195.15	22.25	43.42		
	比較		◎	▲	◎	◎	◎	▲	◎	◎	◎	◎		

◎:全国平均以上、▲:全国平均未満

中学校2年生女子

		児童数	握力 kg	上体起こし 回	長座体前屈 cm	反復横とび 点	シャトルラン 回	持久走	50m走 秒	立ち幅とび cm	ソフトボール 投げ m	体力 合計点	全国 順位	九州 順位
H26	全国	514,404	23.68	22.99	45.25	45.64	57.50	291.18	8.87	166.47	12.81	48.55	12	1
	本県	4,478	24.12	22.70	45.28	46.45	62.71	291.68	8.81	168.05	13.43	50.00		
	比較		◎	▲	◎	◎	◎	▲	◎	◎	◎	◎		
H25	全国	481,835	23.76	23.03	45.12	45.27	57.20	292.71	8.88	166.18	12.97	48.42	12	1
	本県	4,373	24.07	22.52	44.99	46.39	61.26	299.72	8.83	168.31	13.65	49.76		
	比較		◎	▲	▲	◎	◎	▲	◎	◎	◎	◎		

◎:全国平均以上、▲:全国平均未満

*体力合計点は、8種目の調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点
(中学校2年生は、持久走とシャトルランの選択)

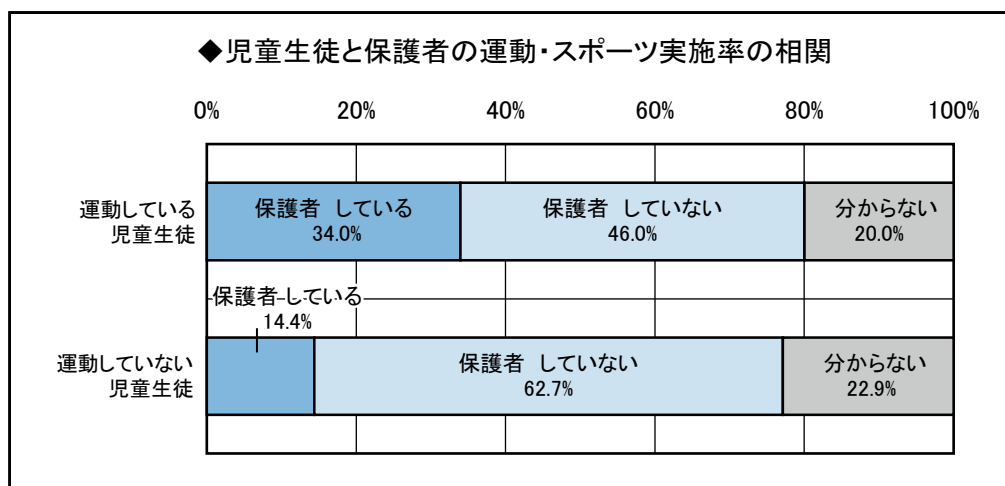
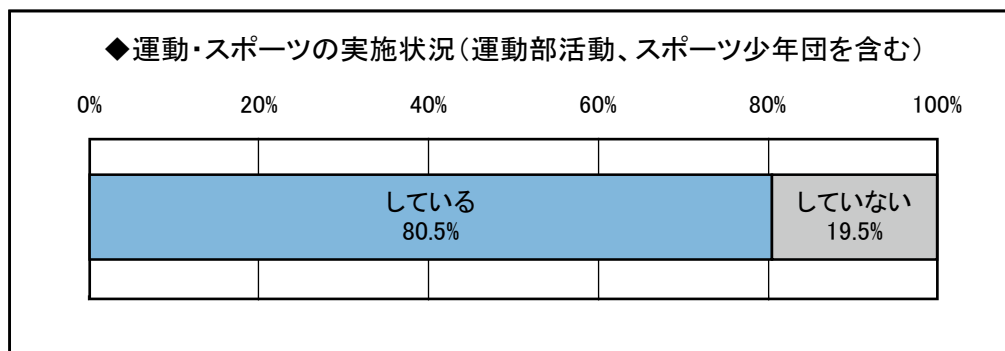
(出典) 平成26年度宮崎県内の児童生徒の体力・運動能力調査報告書(宮崎県教育委員会)

宮崎県の小中学生の体力傾向については、男女ともに全国平均と比較しても、上回る項目が多い。

2) 児童生徒の運動・スポーツの実施状況

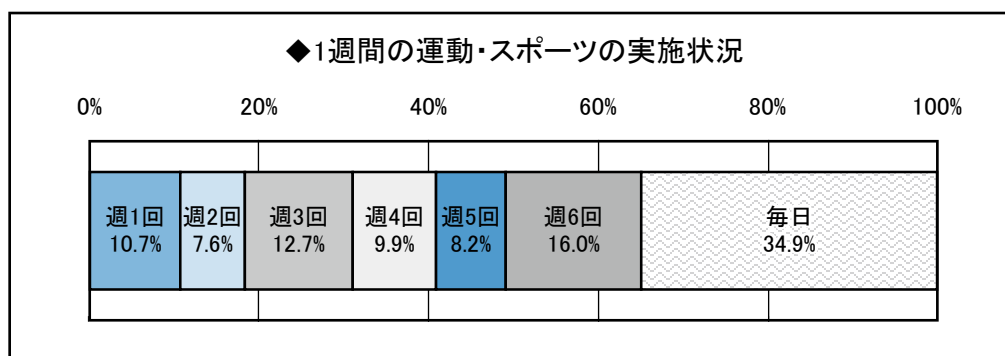
児童生徒の運動・スポーツの実施状況については、80.5%が運動部活動やスポーツ少年団等において、運動・スポーツを実施しており、そのうち34.9%が毎日実施しています。

児童生徒とその保護者との運動・スポーツの実施率の相関をグラフ化すると、保護者の運動・スポーツ実施率が、児童生徒の運動実施率に影響していることが傾向としてうかがえます。

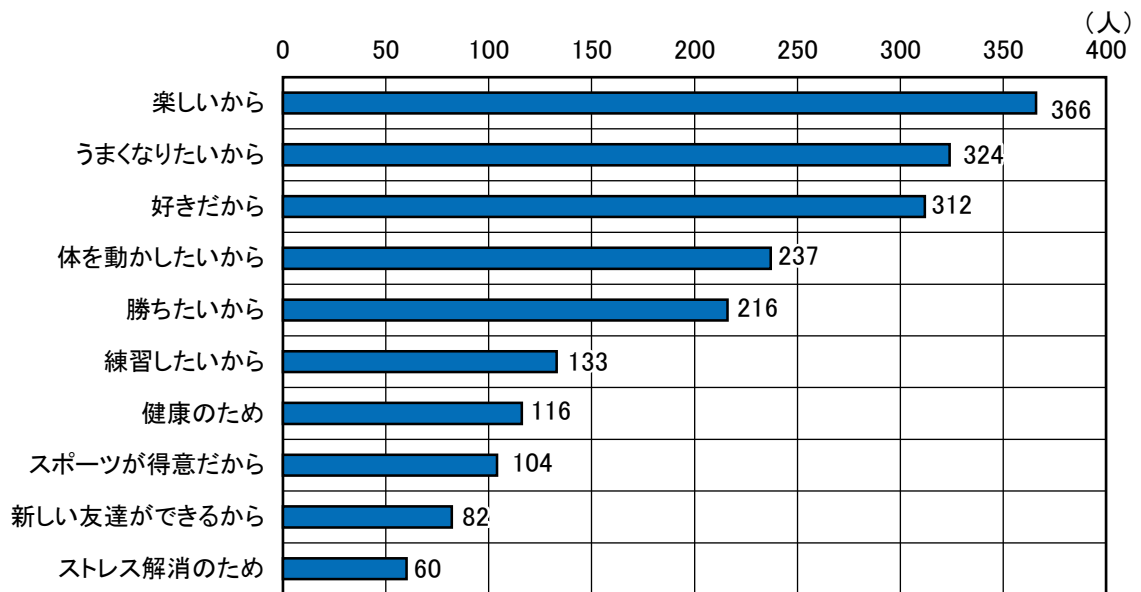


1週間あたりの運動・スポーツの実施の平均回数は4.9回で前回調査の4.5回に比べると増加傾向を示しています。運動・スポーツの実施理由としては「楽しいから」、「うまくなりたいたいから」、「好きだから」が多数を占めています。

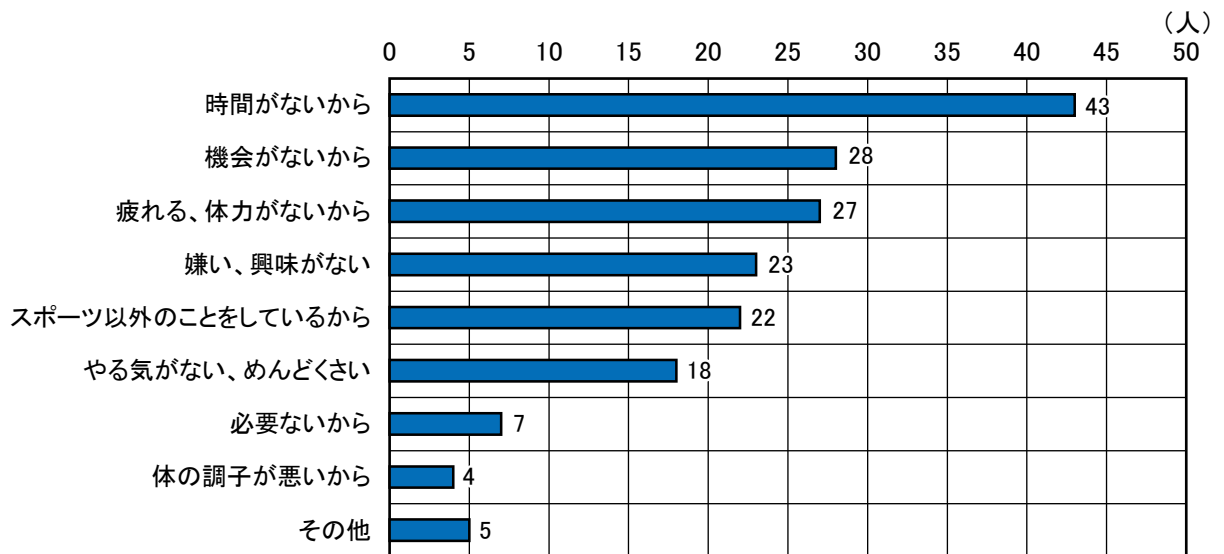
一方で、運動・スポーツをしない理由については「時間がないから」が多数を占め、次いで「機会がないから」、「疲れる、体力がないから」の順になっています。



◆運動、スポーツをする理由(上位10項目・複数回答可)



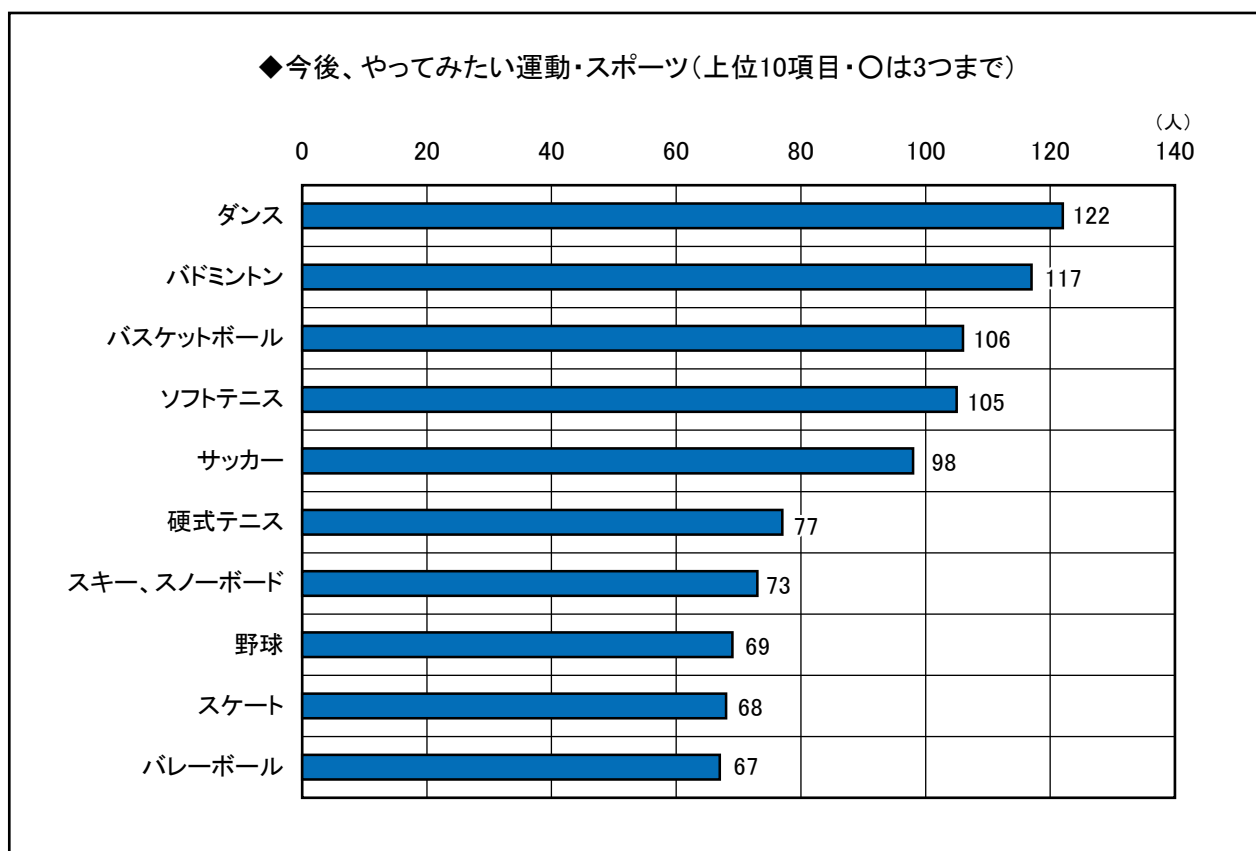
◆運動・スポーツをしない理由(○は2つまで)



今後、やってみたい運動・スポーツの上位5種目は「ダンス」、「バドミントン」、「バスケットボール」、「ソフトテニス」、「サッカー」となっています。前回の調査における上位5種目は、「水泳」、「ボウリング」、「硬式テニス、ソフトテニス」、「バレーボール」、「釣り」となっています。このような結果から、児童生徒の興味、関心を示す運動・スポーツ種目に変化が出てきていることがうかがえます。

今後は、児童生徒の主な運動・スポーツの活動の場となる学校体育やスポーツ少年団、部活動等において、児童生徒の恵まれた才能を伸ばしていける競技力向上を目的とした施策や事業展開も必要になってくるものと考えます。

また、運動・スポーツへの関心度が低い児童生徒に対しては、早い段階から運動・スポーツへの興味、関心を高める機会の創出が課題となってきます。



▲宮崎市小学校陸上競技大会 開会式

◆学校体育連盟

本市の学校体育連盟の組織は、平成26年度現在、宮崎市小学校体育連盟が48校、宮崎地区中学校体育連盟（宮崎市、東諸県郡含む）が37校で構成されており、次のような主要事業が実施されている。

◆学校体育連盟の平成26年度主要事業

主 要 事 業	備 考
第 46 回宮崎市小学校水泳競技大会	小学生を対象に、体育学習の成果を発表する場としてのスポーツ大会を実施し、生涯にわたって運動に親しむ習慣の育成や体力の向上を図る。
第 49 回宮崎市小学校陸上競技大会	
第 65 回宮崎地区中学校総合体育大会	宮崎地区のスポーツ活動の成果を発揮する大会として、年に2回、競技力向上とスポーツマンシップの精神を育てることを目的に開催。
第 38 回宮崎地区中学校秋季体育大会	

◆本市のスポーツ少年団の状況

昭和40年にスポーツ少年団本部が設置され、平成26年7月31日時点で、24種目、231団、4,170名、指導者824名となっており、日々の活動以外に総合スポーツ大会やブロック大会などの事業が実施されている。

宮崎市スポーツ少年団の専門部

1 剣道	2 柔道	3 全日本空手道	4 少林寺拳法
5 バレーボール	6 サッカー	7 軟式野球	8 バドミントン
9 ソフトボール	10 ミニバスケットボール	11 ドッジボール	12 馬術
13 陸上	14 テコンドー	15 水泳	16 ソフトテニス
17 少林寺流空手道	18 極真空手道	19 フルコンタクト空手道	20 フェンシング
21 なぎなた	22 テニス	23 体操	24 ハンドボール



▲宮崎市スポーツ少年団ブロック大会（バレーボール・軟式野球）

3) 児童生徒のスポーツ少年団、運動部活動の加入状況

本市のスポーツ少年団の過去5年間の加入率は、下表のとおり減少傾向にあり、宮崎地区（宮崎市、東諸県郡）の運動部活動の過去5年間の加入率についても、男女とも年々低下している状況です。

その一因として、スポーツ少年団や運動部活動以外のクラブチーム等に所属する児童生徒が増えていることや運動・スポーツ以外に時間を割いている現状もあります。女子の運動部活動の加入率については、文化系の部活動への加入も多いことから、男子の運動部活動の加入率と比較すると低い数値となっています。

国の計画においては、「子どもにとってスポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものである。」とされています。本市においても、スポーツ少年団や運動部活動の加入状況を基に、児童生徒が心身ともにたくましく育ち、スポーツ少年団活動や運動部活動を通じた人間形成や、運動・スポーツの楽しさを知ることにつながる環境づくりに努めることが必要と考えます。

◆過去5年間の宮崎市内のスポーツ少年団員数（人）

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
加入率	20.6 %	20.4%	20.6%	20.0%	18.6%
加入数 / 総児童数	4,751/23,101	4,656/22,830	4,649/22,613	4,504/22,482	4,170/22,407

（出典）宮崎市スポーツ少年団事務局データより作成

◆過去5年間の宮崎地区（宮崎市、東諸県郡）の中学校運動部活動加入率（%）

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
男子加入率	80.2%	77.2%	77.6%	77.2%	73.6%
加入数 / 総児童数	5,633/7,022	5,505/7,135	5,452/7,024	5,325/6,898	4,969/6,754
女子加入率	54.8%	53.9%	52.8%	50.9%	52.0%
加入数 / 総児童数	3,727/6,795	3,628/6,727	3,544/6,717	3,309/6,501	3,374/6,487

（出典）宮崎地区中学校体育連盟事務局データより作成



▲宮崎県中学校総合体育大会（ソフトボール・剣道・ソフトテニス・サッカー）

(4) スポーツ指導者の状況

1) スポーツ推進委員

本市のスポーツ推進委員は地区体育会の推薦を受け、平成26年4月現在、95名が本市のスポーツの推進者として、運動・スポーツの実技指導や地区対抗スポーツ大会等の運営、地域スポーツの連絡調整役など市民スポーツ、地域スポーツ推進の重要な担い手となっています。また現在、委員の資質向上を図るため、県内外への研究大会への参加や自主的な研修等を行っています。

今後は、地区体育会や地域まちづくり推進委員会等の組織との連携・協力を図るとともに、地域住民のニーズを踏まえながら、コーディネーターとしての役割を担う活動が求められています。

また、国のスポーツ基本法においても、スポーツ推進委員については、「熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。」とされていることから、委員一人ひとりの運動・スポーツの推進者としての意識や行動力が今後必要となってきます。

◆スポーツ推進委員

「スポーツ振興法」が、50年ぶりに全面改正され、平成23年8月に「スポーツ基本法」が制定された。第32条にスポーツ推進委員に関する条文が設けられている。

スポーツ基本法（第三十二条抜粋）

- 1 第三十二条 市町村の教育委員会（特定地方公共団体にあつては、その長）は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。
- 2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則（特定地方公共団体にあつては、地方公共団体の規則）の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行なうものとする。
- 3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。

◆地区体育会

スポーツやレクリエーション活動を通じて地区住民の親睦と健康づくりを推進するとともに、明るく住みよいまちづくりを目指す組織である。本市には、22の地区体育会があるが、各地区のスポーツ推進委員と互いに連携を図りながら、地域スポーツの普及に努めている。



▲宮崎市スポーツ推進委員自主研修会

2) スポーツボランティアの状況

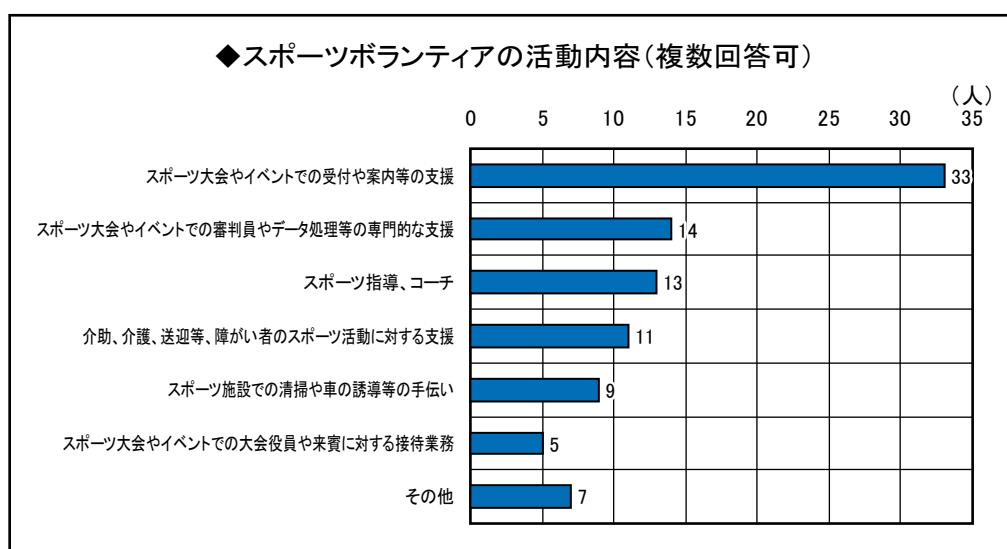
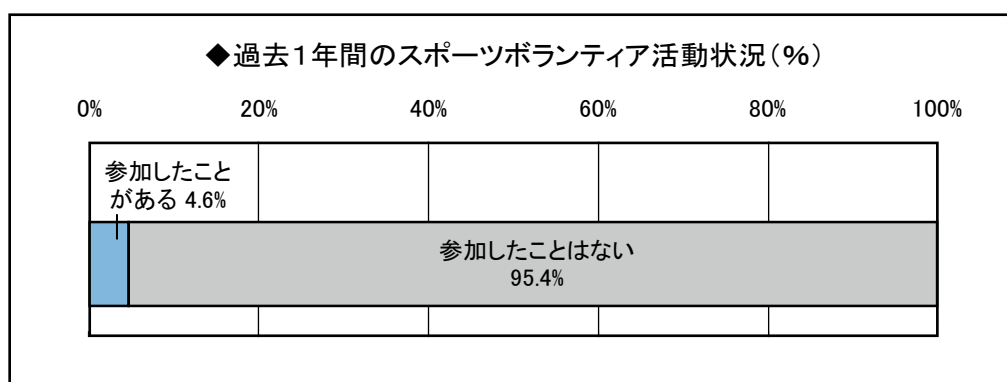
過去1年間にスポーツボランティア活動に参加した人は、4.6%と全体の20人に1人の状況となっています。

活動内容は「スポーツ大会やイベントでの受付や案内等の支援」が多数を占めており、次いで「審判員やデータ処理等の専門的な支援」となっています。

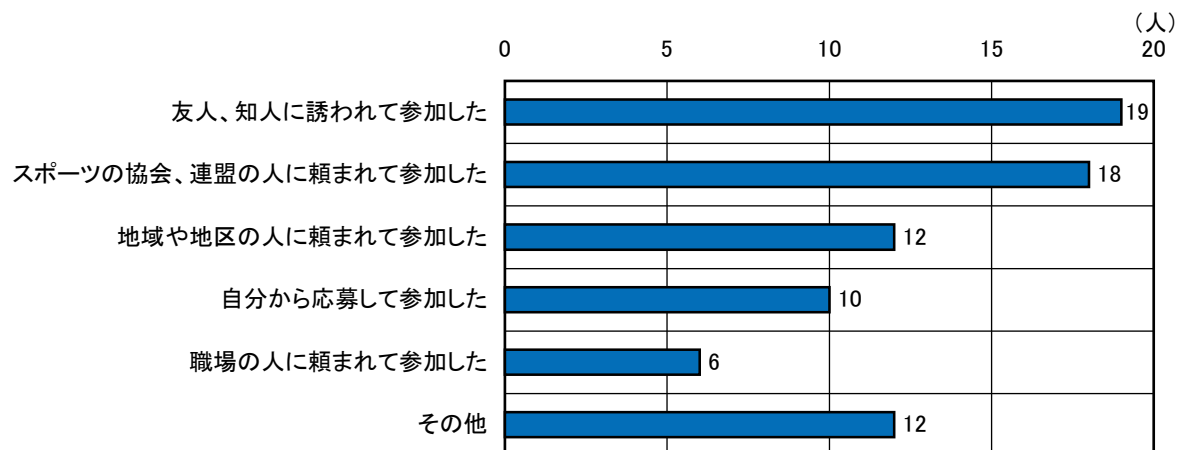
参加した経緯は「友人、知人に誘われて参加した」、「スポーツの協会、連盟の人に頼まれて参加した」、「地域や地区の人に頼まれて参加した」が主となっています。

国の計画においても、「スポーツを『支える人』の重要な要素であるスポーツボランティアは、地域スポーツクラブ等のスポーツ団体において、日常的に運営やスポーツ指導を支えたり、国際競技大会や地域スポーツ大会等の運営を支えるなどしており、スポーツ推進のために一層の活躍が期待されている。」とされています。

本市においては、スポーツボランティアの捉え方や活動がまだまだ浸透していない状況がありますが、青島太平洋マラソンは、約3,400人のスポーツボランティアの協力で、大会運営が支えられている状況もあります。今後は、地域スポーツから青島太平洋マラソンのような大規模なスポーツ大会まで、運営支援や障がい者に対する運動・スポーツへの活動支援を担う人材の育成に努める必要があります。



◆スポーツボランティアの活動経緯(○は1つ)



◆スポーツボランティアとは？

「スポーツ」という文化の発展のために金銭的報酬を期待することなく、自ら進んでスポーツ活動を支援する人のことである。

(出典「スポーツボランティアハンドブック」日本スポーツボランティア学会編)

◆スポーツボランティアのタイプ

クラブ・団体ボランティア (クラブ、スポーツ団体)	ボランティア指導者 (スポーツ指導者、指導アシスタントなど)
	運営ボランティア (クラブ役員、世話役、運転・運搬、競技団体役員など)
イベントボランティア (地域、国際、全国的大会)	専門ボランティア (審判員、通訳、医療・救護、データ処理など)
	一般ボランティア (受付・案内、給水・給食、記録・掲示、交通整理など)

(出典)「スポーツにおけるボランティア活動の実態等に関する調査研究報告書文部科学省2000年」



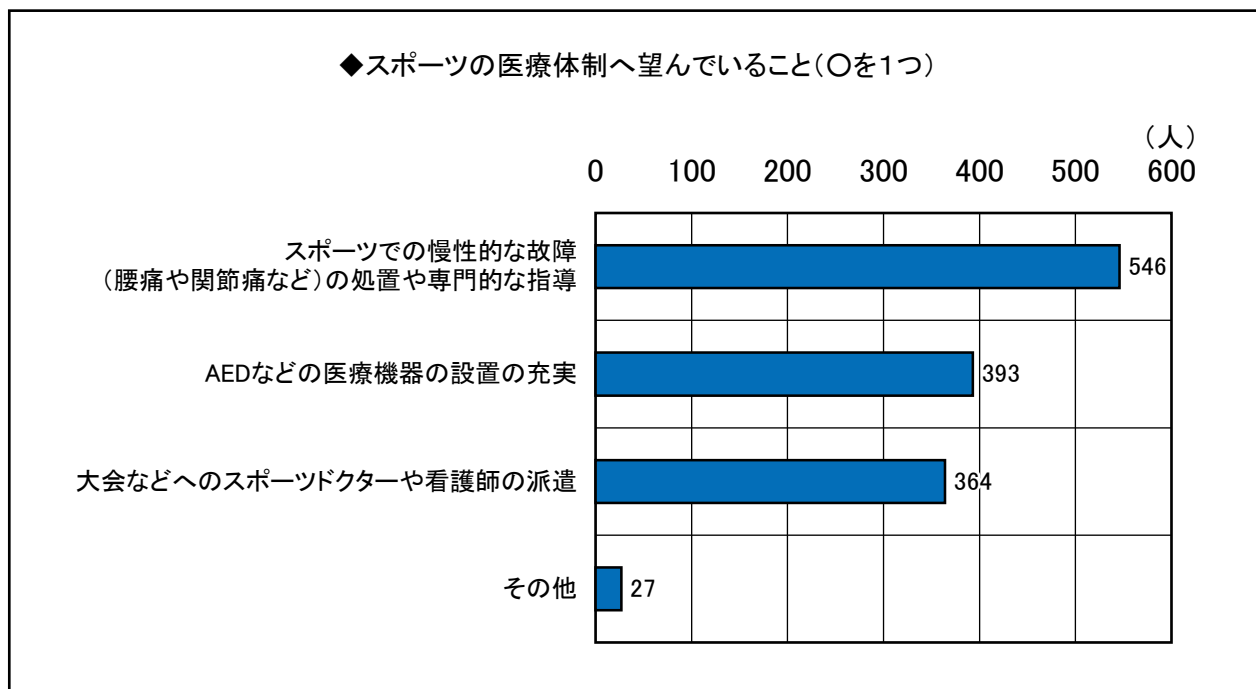
▲青島太平洋マラソン (高校生ボランティア、AED隊)

3) スポーツの医療体制

スポーツの医療体制に望んでいることは、「スポーツでの慢性的な故障（腰痛や関節痛など）の処置や専門的な指導」が多数を占め、次いで「AEDなどの医療機器の設置の充実」、「大会などへのスポーツドクターや看護師の派遣」の順になっています。

生涯にわたり充実したスポーツライフを送る上で、怪我や故障をしない体づくりや怪我への応急処置などの体制づくりは、必要不可欠となってきます。

市民の運動・スポーツへのニーズの高まりと並行して、運動・スポーツ活動に関する医療体制の充実も今後の課題となってきます。

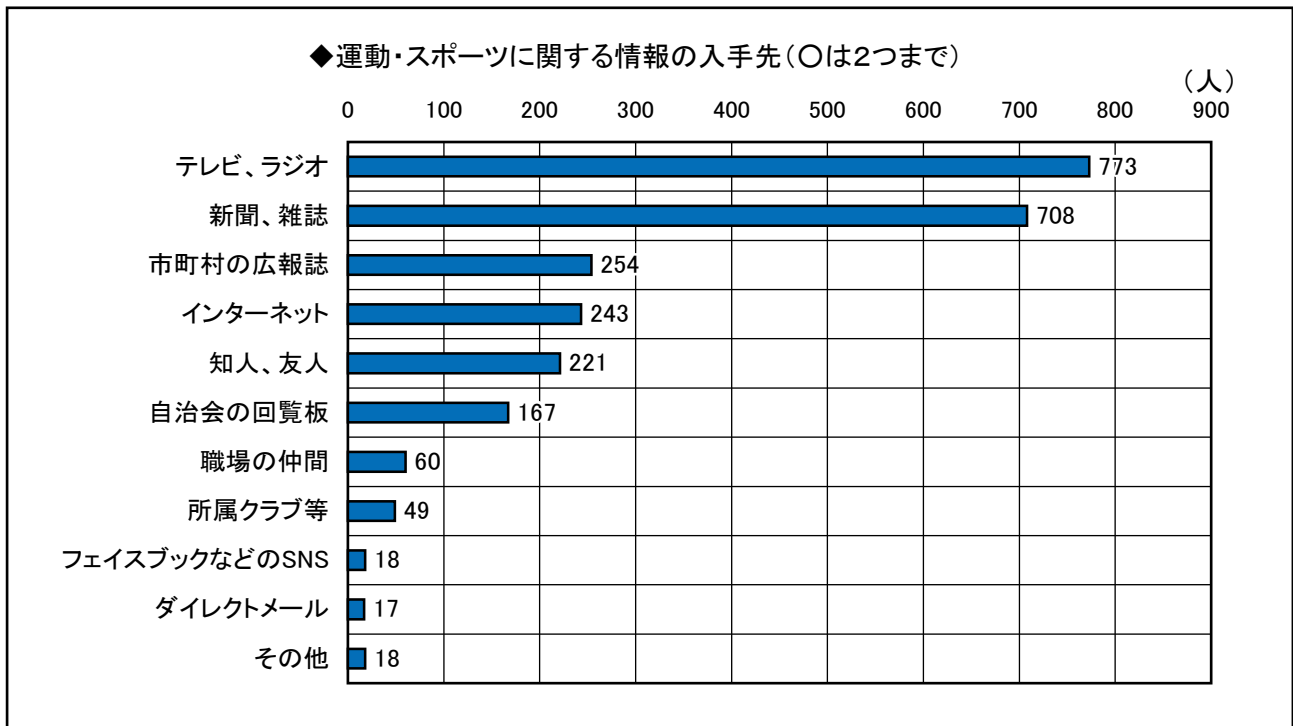


▲スポーツドクターによる中学生への講義

(5) 運動・スポーツに関する情報収集の状況

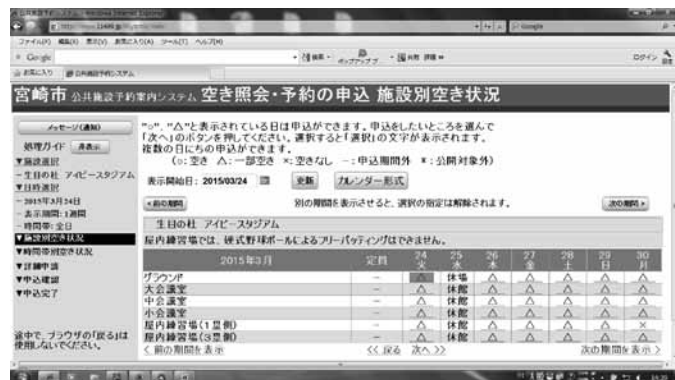
市民の運動・スポーツに関する情報の入手先として、「テレビ、ラジオ」、「新聞、雑誌」が多数を占めています。次いで、「市町村の広報誌」、「インターネット」の順となっています。前回の市民意識調査と比較すると、上位の情報入手先は変わっていませんが、「インターネット」の比率が高くなっている傾向があります。また、「フェイスブックなどのSNS」という回答も新たな情報の入手先として、今回の市民意識調査に挙がっています。

今後は、メディアや雑誌、広報誌などの従来の情報発信とともに、ネットワーク環境の充実を背景としたインターネット等を活用した情報提供も必要となってきます。



◆宮崎市公共施設予約案内システム

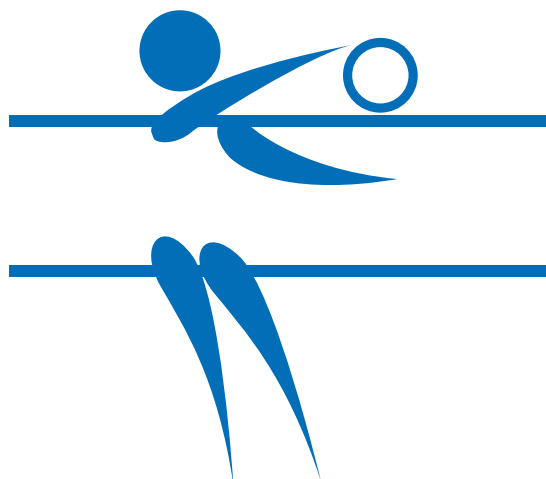
「宮崎市公共施設予約案内システム」は、公共のスポーツ施設や公民館等の施設について、インターネットや携帯電話等から施設の空き情報や使用の申込をすることができるシステムで、利用者登録を行うことにより、施設へ直接足を運ぶ手間を省くことができる。



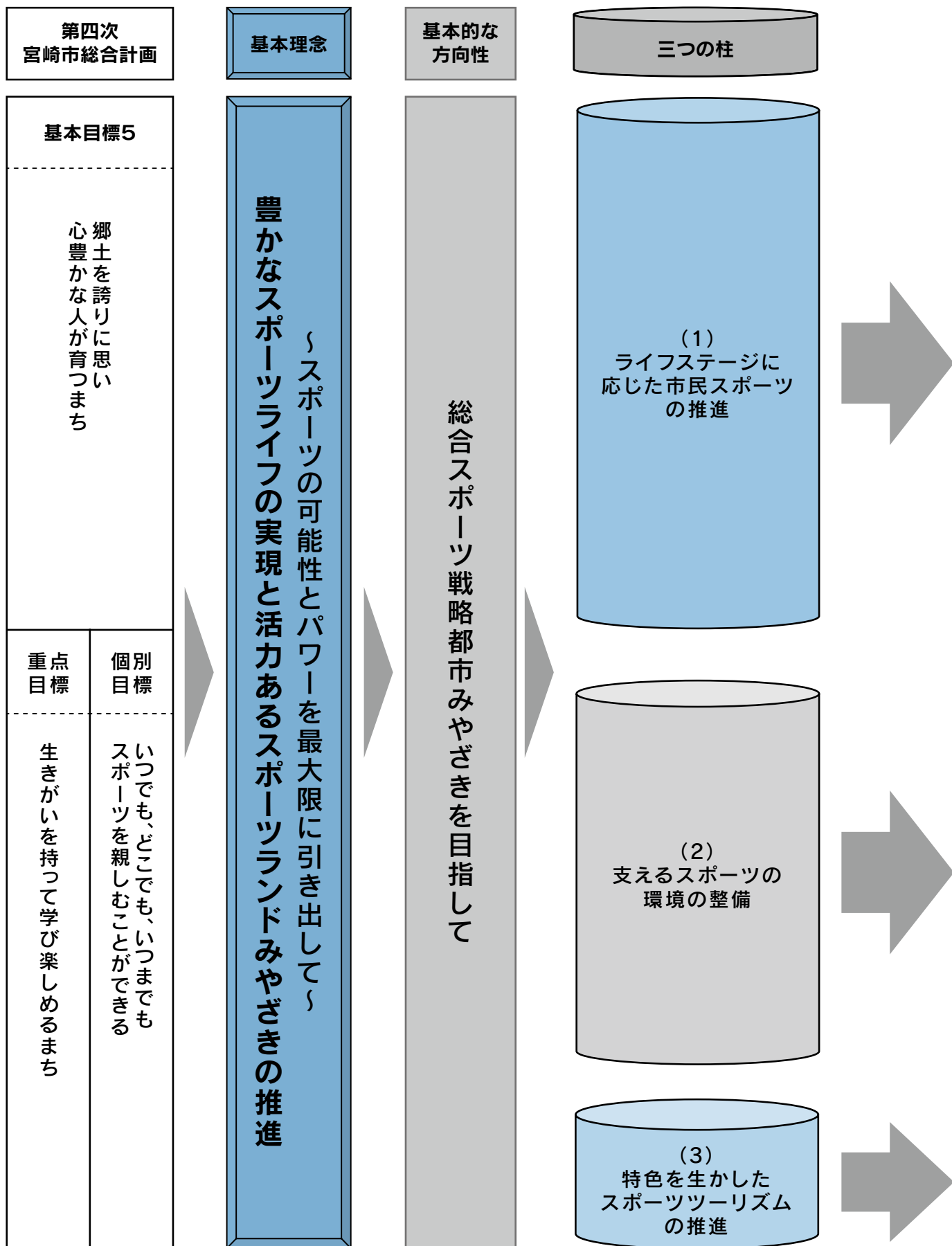
▲公共施設予約案内システム

第3章

施策の展開



◆宮崎市スポーツ推進計画の体系図 平成27年度～平成36年度



重点項目	施策	具体的取組
1) 地域スポーツの推進	1)-1 地域スポーツの活性化	① 地域主体の市民スポーツの推進 ② 総合型地域スポーツクラブの地域密着化
	1)-2 スポーツライフの定着化	① 各種スポーツ大会、スポーツ教室の充実 ② 市民の運動・スポーツの実施率の向上
2) 障がい者スポーツの推進	2)-1 障がい者スポーツの普及・拡大	① 障がい者のスポーツ活動・交流の推進 ② 障がい者にやさしいスポーツ環境の整備
3) 子どものスポーツの育成・強化	3)-1 子どもの体力向上	① 幼児期からの子どもの運動機会の充実 ② 学校体育の充実
	3)-2 スポーツ少年団、運動部活動の充実	① 小中学校と地域との連携強化
	3)-3 児童生徒の競技力向上	① ジュニアアスリートの発掘、育成 ② 指導者の育成と資質向上
4) 高齢者スポーツの推進	4)-1 高齢者スポーツの普及・拡大	① 高齢者が参加しやすいスポーツ教室等の推進 ② 高齢者にやさしいスポーツ環境の整備
1) 運動・スポーツ指導者等の育成	1)-1 スポーツ推進委員等の充実	① スポーツ推進委員の育成・資質の向上
	1)-2 スポーツボランティアの充実	① スポーツボランティアの育成・体制確立
2) スポーツメディカル体制の整備	2)-1 スポーツメディカル体制の充実	① スポーツメディカル体制の推進
3) スポーツ施設の整備	3)-1 スポーツ施設の充実	① 公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備 ② 公共スポーツ施設の長寿命化
	3)-2 スポーツ施設の利便性の向上	① 指定管理者制度におけるサービスの向上 ② 学校体育施設の活用
4) ネットワークの整備	4)-1 スポーツ関連情報提供の充実	① スポーツの広報・周知活動の推進 ② スポーツ関連情報の一元化
1) スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致	1)-1 宮崎らしさを生かした大会等の誘致	① 国際・全国大会、合宿の誘致・受入れ ② 2020年東京オリンピック・パラリンピックの調整合宿の誘致
	1)-2 スポーツ選手との交流推進	① トップレベル選手等との交流機会の充実

1. 計画の基本理念

本市では、「第四次宮崎市総合計画」において、将来像として「活力と緑あふれる太陽都市…みやざき…」とし、太陽と緑に象徴される本県の県都として、また、南九州の中核都市として発展をしてきました。その計画の5つの基本目標の1つとして、「郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち」とし、個別目標として、「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる」を掲げ、各施策を積極的に推進しています。

市民が健康で豊かな生活を営む上で必要不可欠なスポーツは、人と人の交流だけでなく、地域間交流を図るなど地域の再生や活力も生み出します。また、本市は兼ねてより、スポーツの持つ魅力や可能性を活用して、「スポーツランドみやざき」を掲げた街づくりも推進しています。

このようなことから、基本理念を「豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやざきの推進」とし、この基本理念の実現のため、本市のスポーツの魅力を十分に生かした「総合スポーツ戦略都市みやざき」を基本的な方向性として定めたところです。

基本理念

豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやざきの推進
～スポーツの可能性とパワーを最大限に引き出して～

基本的な方向性

総合スポーツ戦略都市みやざきを目指して



▲市制90周年プレイベント ラジオ体操会

2. 施策と具体的取組

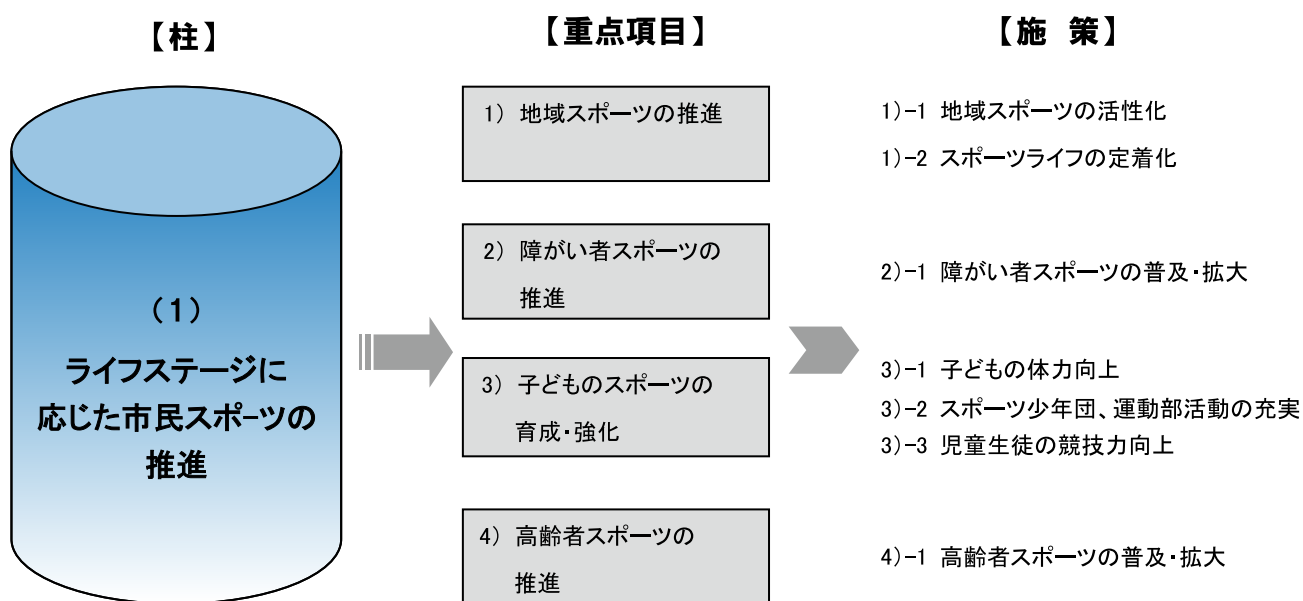
基本理念、基本的な方向性を支える3つの柱、「ライフステージに応じた市民スポーツの推進」「支えるスポーツ注5)の環境の整備」、「特色を生かしたスポーツツーリズムの推進」に基づき、9つの重点項目を掲げ、各施策、具体的取組を示します。

1つ目の柱

(1) ライフステージに応じた市民スポーツの推進

社会全体が少子高齢化や地域社会の交流の希薄化、社会保障への負担増など大きく様変わりしている中、本市も取り巻く環境が同様に変化してきました。そのような中、運動・スポーツは充実感や達成感を得ることができ、青少年の健全育成、地域社会の再生や健康増進、また社会・経済の活力の創出など、多方面に好循環をもたらします。

そこで、市民の生活スタイルや仕事、結婚などを生涯の節目とし、体力、興味、目的に応じた運動・スポーツを推進していけるよう、「ライフステージに応じた市民スポーツの推進」を1つ目の柱として掲げ、4つの重点項目、それぞれを達成するための7項目の施策に取り組みます。



注5) 支えるスポーツ

「人材」、「場（施設や空間等）」、「体制」の要素が、様々な運動・スポーツ活動を支えているという考え方。

1) 地域スポーツの推進（重点項目）

1)-1 地域スポーツの活性化（施策）

①地域主体の市民スポーツの推進（具体的取組）

市民が生活の基盤としている地域において、身近で気軽に運動・スポーツを行える環境を整備することは、健康増進、余暇活動の充実だけでなく、希薄となっている地域の交流や活性化、また住民同士の「きずなづくり」にもつながっていくものと考えます。

地域におけるスポーツの活性化をより図るため、中心的な役割である地区体育会や総合型地域スポーツクラブ、地域まちづくり推進委員会が相互に補完しあえるような関係づくりを検討します。

また、これら三者がスポーツ推進委員と連携を図り、各種スポーツ大会や教室の企画、運営を継続的に行い、地域住民の運動・スポーツの機会の創出、推進に努めます。



▲地区対抗ミニバレーボール大会



▲地区対抗グラウンドゴルフ大会

②総合型地域スポーツクラブの地域密着化（具体的取組）

国の計画の施策目標として、「総合型クラブを中心とする地域スポーツクラブがスポーツを通じて『新しい公共』を担い、コミュニティの核となれるよう、地方公共団体の人口規模や高齢化、過疎化等に留意しつつ、各市町村に少なくとも1つは総合型クラブが育成されることを目指す。」とされており。

現在、宮崎市には11の総合型地域スポーツクラブが設立され、それぞれの特色を生かした活動が行われていますが、市民意識調査では、80%以上の市民が総合型地域スポーツクラブについて「知らない」と回答しており、認知度が高いとは言えません。

総合型地域スポーツクラブは、ソフトバレーボールやバドミントン、健康体操など多種多様なスポーツ事業を展開しています。子どもから高齢者までの多世代が、運動・スポーツに親しむ機会や健康づくりなど志向に合わせた選択の機会の提供を行うとともに、活動を通して地域の活性化や住民同士の交流にもつなぐことができます。

本市においても、地域住民の、地域住民による、地域住民のための総合型地域スポーツクラブを目指すため、活動の支援を行うとともに、地域や学校に対し、より一層の周知を推進します。

1)-2 スポーツライフの定着化（施策）

①各種スポーツ大会、スポーツ教室の充実（具体的取組）

市民が生涯にわたりスポーツライフを楽しむため、市や宮崎市地区体育会連合会、（公財）宮崎市体育協会が主体となり開催している地区対抗スポーツ大会や市民体育大会、各種スポーツ教室等を今後も継続的に開催していきます。

また、地域の活性化や多世代間の交流を目的としたスポーツ大会、市民意識調査で高いニーズを示している健康づくり・体力づくりのための教室、ハイキング・ウォーキング等の野外活動、体力テストの診断など目的や内容を関係機関と連携しながら検討します。

②市民の運動・スポーツの実施率の向上（具体的取組）

本計画にある各施策に取り組むことで、10年後の成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率を国や県の目標と同じ65%となるよう努めます。

市民意識調査において、週1回以上の運動・スポーツ実施率が、20歳代から60歳代は50%以下となっており、仕事や家事に時間を割いている背景も見られるため、職域でのラジオ体操等の推奨や、余暇時間を利用し気軽にできる散歩やウォーキング等の啓発をスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、健康づくり推進員等と連携しながら取り組みます。

成果指標

成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率 目標値(H36年度) 65%

※成果指標は重点項目ごとに設定

◆（公財）宮崎市体育協会

平成23年5月2日、公益財団法人に移行。協会の基本理念である「市民が生涯にわたって、『する・みる・支える』という形で、いつでも、どこでも、だれでもが、それぞれ自分に合ったスポーツ活動に参加することを促進し、健康で活力ある市民生活の実現」を基に、本市のスポーツ推進に関する施策を実現する担い手として、各種事業への取り組みと組織の運営強化を図っている。

◆宮崎市地区体育会連合会

現在、本市には22地区の地区体育会があり、各地区において、スポーツ大会や運動会、またレクリエーション行事などの企画、運営を行っている。22地区の体育会と関係団体との連携を図るとともに、市民の健康増進を目的として構成された組織が宮崎市地区体育会連合会であり、地区対抗スポーツ大会の計画や企画、活動広報誌の発行などの活動を行っている。

2) 障がい者スポーツの推進（重点項目）

2)-1 障がい者スポーツの普及・拡大（施策）

①障がい者のスポーツ活動・交流の推進（具体的取組）

障がい者にとって、運動・スポーツ活動等に参加できる体制や環境を整えることは、生活を豊かで実りあるものにつな갑니다。

本市のスポーツ推進委員やスポーツボランティアによる運動・スポーツ活動の支援やルール等を柔軟に対応させたアダプテッド・スポーツ注6)の推進など、障がい者が運動・スポーツ活動を日常的に行える体制づくりを関係機関との連携を図りながら、検討していきます。

また、障がい者の社会参加の場として、スポーツ大会やスポーツ教室を通じた障がい者と健常者との交流の推進にも努めます。

②障がい者にやさしいスポーツ環境の整備（具体的取組）

障がい者がスポーツをする場合、用具の持ち込みや運搬等は大きな負担となるため、一定の支援が必要です。

現在、本市では、障がいの有無や年齢に関わらず、誰もがスポーツの楽しさを再発見でき、また簡単に楽しむことができるスポーツとして、ニュースポーツ注7)を紹介するなどの活動に取り組んでいます。そのため、用具の貸し出しのほか、ゲームの進め方等を記載したガイドブックを作成するなどして、(公財)宮崎市体育協会やスポーツ推進委員を通じ、その普及に努めています。

今後は、障がい者だけでなく、だれもが気軽にスポーツに楽しめるよう、ニュースポーツをはじめとする用具の充実や用具の貸し出しを行う施設や団体の情報の一元化など、スポーツ環境の整備に努めます。

成果指標

市主催の障がい者スポーツ大会の参加人数 目標値(H36年度) 1,000人



▲卓球バレーの様子

注6)アダプテッド・スポーツ

ルールや用具を参加者の状態や環境に適合(adapt)させることによって、すべての人々ができるよう、工夫されたスポーツのこと。

注7)ニュースポーツ

アメリカにおいて20世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツ群をいう。勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動を指す。ペタンクやカローリングなどのスポーツ。

3) 子どものスポーツの育成・強化（重点項目）

3)-1 子どもの体力向上（施策）

①幼児期からの子ども注8)の運動機会の充実（具体的取組）

国の計画において、子どもの運動・スポーツをする・しないの二極化については、小学校の早い段階からその傾向が認められ、特に小学校低学年においては、明確な体力の向上傾向が認められないことなどから、幼児期からの積極的な取り組みが重要であるとされています。

幼児期からの子どもの運動は、将来的に運動・スポーツをする・しないの二極化傾向の解消につながり、生涯にわたる体力や運動能力の基礎を養うものと考えます。

これからは、（公財）宮崎市体育協会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブが相互に連携し、親子で参加できるコーディネーショントレーニング注9)などの幼児スポーツ教室や幼稚園等に出向いての遊びを通じた運動機会の充実に努めていきます。

②学校体育の充実（具体的取組）

学校体育は生涯にわたり、豊かなスポーツライフを実現するための礎となり、その充実を図ることは、児童生徒の体力向上や健康増進にもつながります。そのため、各小中学校独自の「体力向上プラン」注10)等を今後も継続的に取り組んでいくことが必要です。特に小学校の水泳などの授業においては、地域のスポーツ指導者を積極的に活用するなどの指導体制の充実を図ります。

また、児童生徒は心身の成長著しい時期であるため、運動・スポーツとともに、食事や睡眠時間など生活面においても、望ましい習慣を身に付けることが必要であるため、家庭での理解や取り組みをより一層推進します。

3)-2 スポーツ少年団、運動部活動の充実（施策）

①小中学校と地域との連携強化（具体的取組）

現在、本市では、スポーツにおける小中学校の一貫した指導体制の整備や、小学生が中学校入学時に部活動に入りやすいよう、児童生徒間の交流に努めています。そのため市内全中学校区で、競技を選定し、スポーツ少年団等と運動部活動において、年間5～10回程度の合同練習会等を実施するなど連携を図っています。

今後は、小中学校間の連携のみに留まらず、地域のスポーツ指導者や総合型地域スポーツクラブなども連携し、地域一体となった指導体制を図ることを推進するとともに、スポーツ少年団等の活動への支援の充実に努めることとします。

注8)子ども

本計画における「子ども」の年齢の定義は、18歳未満の全ての子どもを指す。

注9)コーディネーショントレーニング

ドイツで提起された運動神経を鍛えるトレーニングで、運動神経の発達する幼児期から健康づくりを目的にする高齢者まで様々な年代で取り組めるトレーニング。

注10)体力向上プラン

宮崎県内の小中学校において児童生徒の体力向上を図るための策として各学校独自に作成、実践される計画。

3)-3 児童生徒の競技力向上（施策）

①ジュニアアスリートの発掘、育成（具体的取組）

本市では、平成15年度より、スポーツ種目毎に選考された児童生徒に対し、合同練習会や優れた指導者を招聘しての強化合宿を継続的に実施し、児童生徒の競技力向上に努めています。

今後も事業実施の主体となっている（公財）宮崎市体育協会との連携を図りながら、個人の能力や意欲を伸ばし、本市から国内外で活躍できるトップアスリートを育てていけるよう、対象種目の検討や充実した指導体制の構築に努めていきます。

新たに練習会や合宿時、選手と保護者を対して、スポーツ栄養学に関する講話等を大学と連携し行うことで、食事や睡眠などの生活面からもジュニアアスリートを育てていくことにも努めていきます。

◆宮崎市ジュニアアスリート強化推進事業

本市の児童生徒の恵まれた才能を伸ばし、競技力向上を図るとともに、小中学校の一貫した指導体制の構築を目的に平成15年度より行われている事業である。現在は、以下の6競技において、選考された児童生徒が年間を通じて、合同練習会や強化合宿を行っている。

なお、育成事業として卓球、体操を行っており、今後強化推進事業への移行も見据えている。

【強化推進事業種目】

陸上・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・ソフトテニス・軟式野球

【育成事業種目】

卓球・体操



▲ジュニアアスリート強化推進事業（陸上競技）

②指導者の育成と資質向上（具体的取組）

子どもが生涯にわたりスポーツ活動が続けていく上で、スポーツ少年団や部活動の指導者による指導は、その能力を伸ばしていく上で大きな影響を与えます。競技力向上を図ることはもとより、運動・スポーツを通して、自主性、協調性、社会性、持続力等を養うことも、運動・スポーツの持つ重要な役割です。

本市においては、児童生徒の持つ能力や個性を生かすとともに、勝利至上に偏重することなく、児童生徒の健全育成も図ることのできる指導者を育成していくため、専門的な知識や指導方法を習得できる研修会等の参加への啓発に取り組みます。

成果指標	全国スポーツ大会に出場した児童生徒(小・中・高)数	目標値(H36年度) 1,000人
-------------	---------------------------	-------------------

◆宮崎市スポーツ少年団憲章

平成20年1月に宮崎市スポーツ少年団本部（宮崎市体育協会内）が、本市のスポーツ少年団の方針を定めた憲章。活動方針や指導者のあり方などが定められている。

宮崎市スポーツ少年団憲章	
<p>スポーツ少年団活動では、時折、その場の勝利だけを求め、試合の勝ち負けに固執する指導者の勝利至上主義やスポーツだけに偏った活動が見受けられる。そもそも子どもの教育には、学校教育・社会教育・家庭教育がある。スポーツ少年団は社会教育の一環として、スポーツ活動をはじめ、野外活動や文化活動、社会活動等、さまざまな活動が展開され、子どもの自主性、協調性、社会性、持続力を養い、次代を担う立派な人間が育成されるものである。そこで再度、スポーツ少年団はスポーツを中心とした青少年の教育の場であることを相互に確認し、宮崎市スポーツ少年団の子ども達の健全育成を図っていく。また、今後の宮崎市におけるスポーツ少年団の健全な普及発展のため本憲章を定める。</p> <p>1. スポーツ少年団活動</p> <p>① 子ども達の身体の発達状況や体力面から、適切なスポーツ活動は1日につき2～3時間、1週間に2～3日程度となる。</p> <p>② 学校行事や家庭の時間等を除く自由な時間に活動が行われなければならない。</p> <p>③ スポーツ活動をはじめ、社会生活や奉仕活動などを学ぶ幅広い活動が行われなければならない。また、その活動は、指導者や保護者の強制によるものではなく、自主的に意欲をもって参加できる活動でなければならない。</p> <p>④ 身体的、精神的に無理のない、心身のバランスのとれた生涯スポーツの基礎となる活動でなければならない。</p> <p>⑤ 施設の利用等においては、特にきまりを守り、施設管理者または他の利用者に迷惑をかけてはならない。</p> <p>2. 団員</p> <p>① あいさつや返事のしっかりできる団員でなければならない。</p> <p>② 指導者や保護者等、支えてくれる周囲の方々には感謝の気持ちを素直に伝える団員でなければならない。</p> <p>③ みんなで仲良く、協力し合い、助け合い、チームワークのとれた団員の集まりでなければならない。</p> <p>④ 用具を大切に、思いやりの心をもった団員でなければならない。</p> <p>⑤ ルールやきまりを守り、他人に迷惑をかけない団員でなければならない。</p>	<p>3. 指導者</p> <p>① 子どもは日々変化をしており、その変化に対応するため指導者自身も指導のあり方については研修会等へ積極的に参加する等して、資質の向上に努めなければならない。</p> <p>② 子ども達が、安全で安心して活動できるよう配慮しなければならない。</p> <p>③ 子ども達の体力面や技術面だけでなく、精神面等も含め、心技体のバランスのとれた育成をめざさなければならない。</p> <p>④ いかなる理由であっても、暴言や暴力等、子どもを傷つける言動はあってはならない。</p> <p>⑤ 競技や大会結果だけを重視するのではなく、目標に向けて活動してきた過程等に目を向け、子ども達の指導にあたらなければならない。</p> <p>⑥ 過度な練習等により、子ども達の日常生活に支障をきたすようなことがないように配慮しなければならない。</p> <p>⑦ 子ども達の長所を生かし、かつ公平に活動ができるよう配慮しなければならない。</p> <p>4. 母集団</p> <p>① 子どもの栄養、生活習慣など日常生活に目を向け、子ども達を支援しなければならない。</p> <p>② スポーツ活動、野外活動、奉仕活動等では指導者と連携し、引率や生活指導等を通じて、子ども達の健全育成に協力しなければならない。</p> <p>③ 子どもとの接し方や教育のあり方について、研修会等へ積極的に参加する等して、向上心を持って努めなければならない。</p> <p>④ 競技や大会本来の目的である子ども達の健全な育成を忘れ、勝敗だけに固執し、野次や罵声等に走る応援や行動等をとってはならない</p>
	<p>平成20年1月1日 宮崎市スポーツ少年団</p>

4) 高齢者スポーツの推進（重点項目）

4)-1 高齢者スポーツの普及・拡大（施策）

① 高齢者が参加しやすいスポーツ教室等の推進（具体的取組）

高齢者にとって、運動・スポーツは、ロコモティブシンドローム注11)の予防や医療費の削減、また、生きがいづくりや健康増進等、様々な効果や意義があります。市民意識調査において、高齢者の約60%の人が、週1回以上、運動・スポーツを行っているという回答していますが、一方、高齢者の約25%は運動・スポーツを「ほとんどしない」とも回答しています。

本市では、スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験講座や健康づくり推進委員による地域での健康教室、総合型地域スポーツクラブや地域まちづくり推進委員会の健康部会等によるスポーツ教室が実施されています。

今後は市民のニーズに応えるためにも、市内各所で行われるスポーツ教室などの情報の一元化を図るとともに、市民がより教室等に参加しやすくなるよう関係団体との連携や体制の確立を検討します。

② 高齢者にやさしいスポーツ環境の整備（具体的取組）

市民意識調査で、65歳以上の市民が公共スポーツ施設に望んでいることは、「施設の数を増やしてほしい」、「利用案内チラシ等の充実」、「利用手続きを分かりやすくしてほしい」が上位に挙がっています。施設の数を増やしてほしいという回答からは、「徒歩で行ける、身近に通える施設を望んでいる」という背景もうかがえます。

高齢者のスポーツ活動を推進していくためには、地域の公民館や交流センターなど身近な施設での運動・スポーツ活動の提供を充実させていくことが必要です。関係機関との連携や情報交換を行いながら、地域の施設での運動・スポーツ活動ができるよう環境の整備に努めます。

また、高齢者にも分かりやすく、利用しやすい公共スポーツ施設づくりに指定管理者と連携しながら努めていきます。

成果指標

高齢者(65歳以上)の週1回以上の運動・スポーツ実施率 目標値(H36年度) 70%



▲市体育協会主催健康体操教室

注11) ロコモティブシンドローム

運動器（骨・関節・筋肉・腱・靭帯・神経など運動に関わる器官や組織の総称）の障害により「要介護になる」リスクの高い状態になること。運動器症候群ともいう。

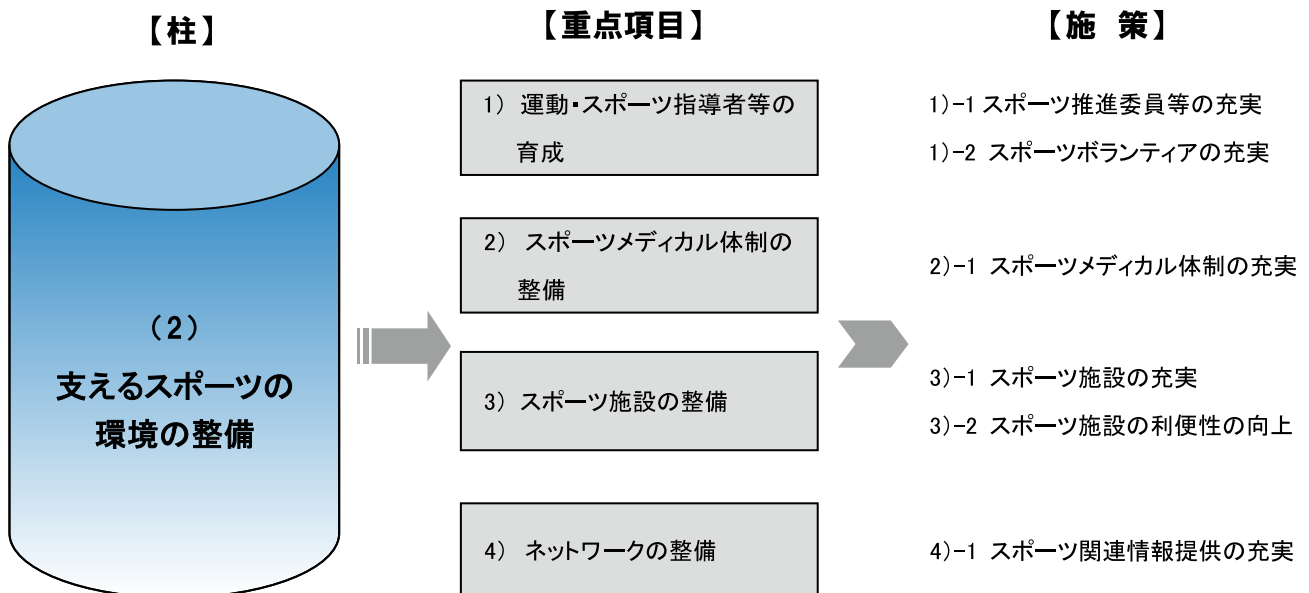
2つ目の柱

(2) 支えるスポーツの環境の整備

運動・スポーツを「する」側の存在があると同時に、その活動を「支える」側も存在することになります。本計画では、子どもの体力向上や競技力向上を支える指導者のほか、スポーツ大会を支えるスポーツボランティアなどの人材を「支えるスポーツ」における重要な要素と捉えています。

また、人材以外に、運動・スポーツをする「場」の整備も、「支えるスポーツ」を推進する上で、重要な要素と考えています。

上記のようなことから、本市として、「支えるスポーツの環境の整備」を2つ目の柱として、市民をはじめ、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を人材面、施設面の両面から4つの重点項目を定め、それぞれの目標を達成するため6項目の施策に取り組みます。



1) 運動・スポーツ指導者等の育成（重点項目）

1)-1 スポーツ推進委員等の充実（施策）

①スポーツ推進委員の育成・資質向上（具体的取組）

市民スポーツや地域スポーツの活性化のため、スポーツ推進委員の役割はとても大切です。今後も他自治体のスポーツ推進委員との交流や研修等を通じて、一層の意識改革に努めます。

また、スポーツ推進委員には熱意と能力に加え、幅広く活動する行動力と実践力、地域とのコーディネーターとしての役割も必要となることから、委員委嘱のための選出方法や定数の見直しを検討します。

1)-2 スポーツボランティアの充実（施策）

①スポーツボランティアの育成・体制確立（具体的取組）

市民意識調査によると、本市のスポーツボランティアの活動率は、決して高いとはいえない状況にあります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、国において2016年からボランティアを募集、育成が開始されることになり、国民のスポーツボランティアへの機運や意欲が高まることが予想されます。また、2026年に本県での2巡目の国体の開催に向けて県体育協会等が主体となり、誘致に向けて準備を進めていますが、県内においてもスポーツボランティアを充実することが必要となってきます。

スポーツボランティアには大会の受付・案内などの一般的な支援のほか、競技の審判などの専門的な支援、障がい者のスポーツ活動支援など幅広いものがありますが、このスポーツボランティアへの機運や意欲の高まりをきっかけに、（公財）宮崎市体育協会やスポーツ推進委員協議会、県のみやざき広域スポーツセンターと連携し、その育成に努めていきます。

また、児童生徒のボランティアへの意識づくりの一つとして市教育委員会と連携し、児童生徒が体験可能なスポーツボランティア活動の情報提供や啓発にも努めていきます。

さらに、宮崎公立大学等とも連携して、本市で開催される国際スポーツ大会に通訳を派遣する仕組みづくりも検討します。

成果指標

スポーツ大会や地域でのスポーツイベントのスポーツボランティア参加率

目標値(H36年度) 10%

◆みやざき広域スポーツセンター

広域スポーツセンターとは、各都道府県において広域市町村圏内の総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動を支援するとともに、スポーツボランティア等の講座を実施する機関。

2) スポーツメディカル体制の整備（重点項目）

2)-1 スポーツメディカル体制の充実（施策）

①スポーツメディカル体制の推進（具体的取組）

本市では、「スポーツランドみやぎ」の中心的な都市として、市民のニーズに応じたスポーツ環境の充実に取り組んでいます。

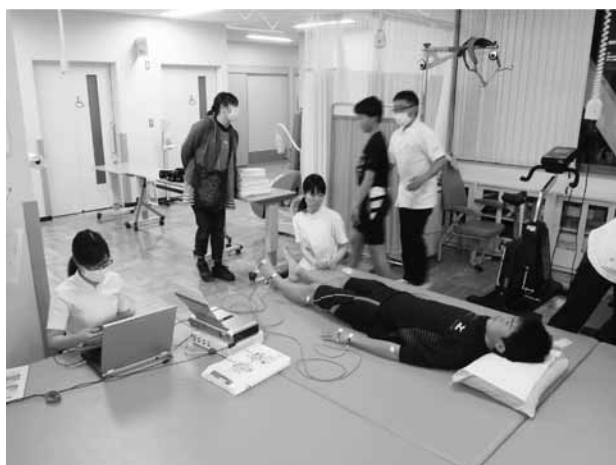
そのような中、本市は、平成23年4月に宮崎大学と包括連携協定を結び、教育や文化、健康、観光など幅広い分野で連携し協力しています。現在、児童生徒を対象にしたスポーツ大会において、スポーツドクターや理学療法士等を派遣し、怪我をしない身体づくりの講話やストレッチ体操などの実技講習を行うとともに、児童生徒のスポーツに関する動作解析を行い、競技力向上に繋げることを目的とした事業を行っております。

今後は市民の健康体力づくりや競技力向上、またスポーツランドみやぎの推進を図るため、大学の医療分野とも連携し、スポーツメディカル体制の充実を図ります。

成果指標

本市のスポーツメディカル事業の利用団体数

目標値(H36年度) 80 団体



▲市ジュニアアスリート選手を対象にしたメディカルチェック事業
(場所：宮崎大学附属病院リハビリテーション部)

3) スポーツ施設の整備（重点項目）

3)-1 スポーツ施設の充実（施策）

①公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備（具体的取組）

市民が運動・スポーツをする「場」として、またスポーツ大会や合宿等の受入を行う施設として、本市の公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備も重要な取り組みの一つです。

公共施設の維持管理には財政面からも大きな費用負担を要するため、効果的、効率的に公共施設の持つ機能の維持管理に努めていくことが必要となっています。

今後は市民の運動・スポーツへのニーズを踏まえながら、宮崎市公共施設経営基本方針に基づき、既存の公共スポーツ施設やスポーツ器具の整備に努めます。

②公共スポーツ施設の長寿命化（具体的取組）

本市の公共施設のうち、築30年以上を経過している施設は全体の約45%にのぼり、老朽化が進む中、本市の公共スポーツ施設においても、将来にわたり修繕費用の財源確保をすることが非常に困難になることが見込まれています。

そのような中、本市の公共施設の評価を基に、公共スポーツ施設においても、建物劣化防止や機能低下を最小限に留めるなどの対策を講じながら、施設の長寿命化に努めます。

◆宮崎市公共施設経営基本方針

本市の公共施設に求められるニーズや担うべき役割等の状況を踏まえ、将来にわたり、真に必要な公共施設サービスを提供するため、公共施設の管理運営における「新たな考え方」を方針として定めたもの。



▲石崎の杜鯨館プール



▲生目の杜運動公園テニスコート

3)-2 スポーツ施設の利便性の向上（施策）

①指定管理者制度におけるサービスの向上（具体的取組）

市民サービスの向上と経費削減の観点から、平成18年度以降、宮崎市総合体育館をはじめとするスポーツ施設において、指定管理者制度を導入しています。

今後も、利用者に対する迅速で丁寧な窓口対応や指定管理者のノウハウを生かした自主事業の実施など、指定管理者制度を生かしたサービスの向上に努めます。

また、指定管理者間において、公共スポーツ施設の空き情報を共有し、利用者に空き情報を提供するなど利便性の向上を図っていきます。併せて指定管理者から市民や利用者に対し、公共スポーツ施設で開催される大会情報や大会参加への募集等の情報についても提供できるよう検討していきます。

②学校体育施設の活用（具体的取組）

本市では学校教育に支障のない範囲で、市立小中学校全73校の体育館や運動場といった学校体育施設の開放を行っています。学校体育施設は多くの市民の利用があり、市民スポーツ、地域スポーツの活性化を推進する上での活動の拠点となっています。

現在、学校体育施設は無料で開放していますが、受益者負担の観点から平成28年度より使用料を徴収することとしています。今後は総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員などが、各学校の開放運営協議会へ積極的に参加し、小中学校と地域が一体となった施設の活用を行います。

成果指標

公共スポーツ施設の利用者の満足度割合

目標値(H36年度) 80%

◆指定管理者制度

公の施設のより効果的・効率的な管理を行うため、その管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上や経費削減等を図るために導入された管理者制度。



▲指定管理者の窓口業務



▲指定管理者主催のスポーツ教室

4) ネットワークの整備（重点項目）

4)-1 スポーツ関連情報提供の充実（施策）

①スポーツの広報・周知活動の推進（具体的取組）

市民意識調査において、運動・スポーツに関する情報はテレビやラジオ、新聞が主な入手先となっています。市民にとって分かりやすい情報提供を行い、運動・スポーツ活動の動機付けに繋がるようなメディアを活用した情報発信や広報誌等の紙面づくりに努め、広報・周知活動を推進します。

②スポーツ関連情報の一元化（具体的取組）

市民の運動・スポーツへのニーズに合わせ、いつでも、どこでも、だれもが運動・スポーツ情報を容易に入手できる体制づくりも必要です。市内の各施設で行われている健康づくり・体力づくりの教室、スポーツ教室やスポーツ施設の空き状況などの情報の一元化を（公財）宮崎市体育協会や総合型地域スポーツクラブなどと連携しながら検討します。

成果指標 市主催、共催で行われるスポーツ教室、健康づくり教室等の延べ参加者数

目標値（H36 年度） 60,000人

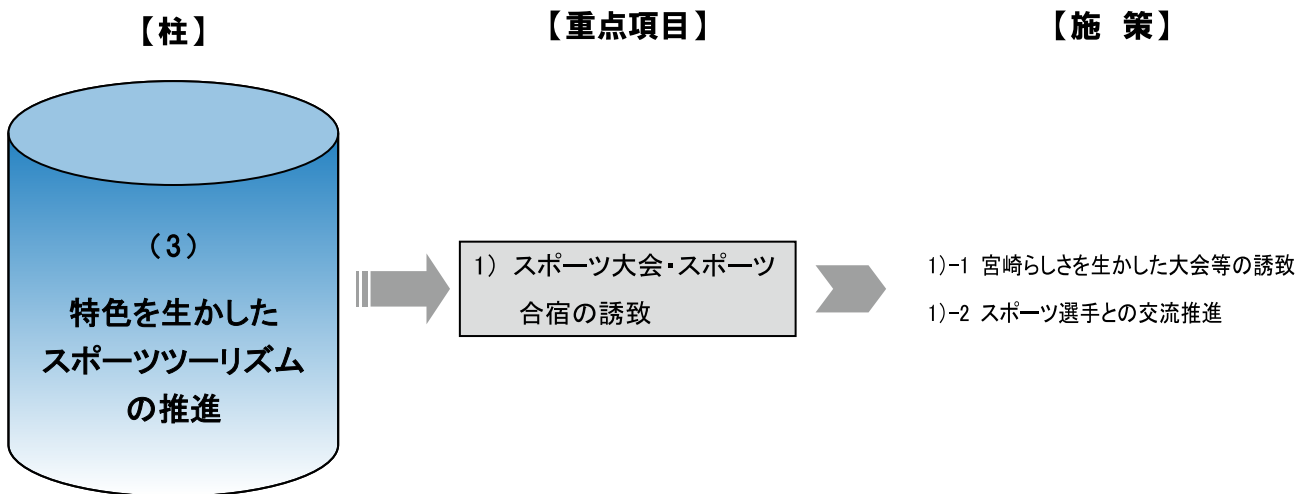
3つ目の柱

(3) 特色を生かしたスポーツツーリズム注12)の推進

本市は食、神話、花、そしてスポーツといった宮崎らしさを生かし、将来を担う「ひと」づくり、地域の「きずな」づくり、「げんき」なまちづくりに取り組んでいます。

宮崎らしさの一つとして挙げられるスポーツは「躍動の源」として、市民に元気や活力を与えてくれます。本市では年間を通して、全国大会や国際大会、プロスポーツのキャンプ等が行われ、国内外に宮崎の魅力を発信しています。

各種スポーツ大会やキャンプの誘致・受入れと併せ、本計画の基本理念にもある、スポーツの持つ可能性とパワーを最大限に引き出すことができるよう、宮崎らしい資源を生かした「特色を生かしたスポーツツーリズム注12)の推進」を3つ目の柱として掲げ、1つの重点項目を定め、2項目の施策に取り組めます。



注12) スポーツツーリズム

スポーツを「する」「観る」「支える」ための旅行やこれらと周辺地観光を組み合わせた旅行のほか、旅行者が全国どこでもスポーツに親しめるような環境の整備や提供も含まれる。国際競技大会や生涯スポーツイベント等の招致・開催及び武道体験等の機会の提供は、我が国の観光の魅力を発信し、スポーツツーリズムの発展に有効であると考えられている。(国の計画より抜粋)

1) スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致（重点項目）

1)-1 宮崎らしさを生かした大会等の誘致（施策）

①国際・全国大会、合宿の誘致・受入れ（具体的取組）

本市では、「スポーツランドみやざき」の中心的な都市として、温暖な気候や恵まれた自然環境、充実したスポーツ施設を生かし、年間を通して、各種スポーツ大会やアマチュアからプロスポーツまでのキャンプや合宿等が行われています。

各種スポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致は、子どもの競技力向上だけでなく、スポーツを通じた交流のほか、地域経済への波及効果注13) が大きく観光浮揚も図られ、本市にとって好循環をもたらしています。

このようなことから、全日本グランドベテランソフトテニス大会や東アジアリトルシニア野球宮崎大会に続く、国際大会や宮崎の自然環境を生かしたスポーツ大会等の誘致を関係機関、関係団体とも連携を図りながら積極的に取り組みますとともに、受入れ体制の充実に努めます。



▲東アジアリトルシニア野球宮崎大会

②2020年東京オリンピック・パラリンピックの調整合宿の誘致（具体的取組）

2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、開催に向けJOC注14) 開催地である東京都では準備が進められています。開催に向け国内で気運が高まる中、本市においても、これまで取り組んできた施策や本市のスポーツ施設のPRを重ね、関係機関と連携を図りながら、調整合宿等の誘致に取り組めます。

注13) 地域経済への波及効果

本県における春季キャンプ(1月～3月)の経済効果は、平成25年春に95億円、平成26年春に89億円に上っている。

注14) JOC

(公財)日本オリンピック委員会、Japan Olympic Committeeの略称。国際オリンピック委員会 (IOC)に承認された日本のオリンピック委員会。国内の選手強化や国際大会への選手派遣等の事業を行う組織。

1)-2 スポーツ選手との交流推進（施策）

①トップレベル選手等との交流機会の充実（具体的取組）

市民意識調査において、80%以上の市民が子どもたちへの野球教室等に代表される交流会の実施を希望しています。トップレベルの選手のプレーに触れたり、各種教室に参加したりする子どもたちに夢を与え、スポーツ活動を続けていく上での動機付けや目標となることが期待できます。今後もトップレベルの選手との教室や交流会の実施については、（公財）宮崎市体育協会や（公社）宮崎市観光協会などの関係団体との連携を図りながら、その機会の充実に努めます。

また、今後は子どもたちだけの交流に留まらず、県外からトップレベルの選手のプレーを観戦に来ている観客と市民との交流などにも努めます。

成果指標

トップレベルの選手等との教室や交流会に参加した児童生徒数

目標値(H36年度) 5,000人



▲レディースベースボールクリニック

(小学4年生以上の女性を対象にしたプロ野球選手の指導による野球教室)

宮崎市・県スポーツ施設一覧

【スポーツ公園】

施設名／所在地／電話	施設概要	
【生目の杜運動公園】 大字跡江 4461-1 Tel. 47-6222	アイビススタジアム	両翼 100 m センター 122 m (夜間照明有) 収容人数 約 11,000 人 会議室 ロッカールーム完備
	第2野球場	両翼 100 m センター 122 m (夜間照明有)
	はんぴドーム (屋内練習場)	アリーナ：野球 1 面 フットサル 2 面 テニス 3 面 ※フットサル利用可 附属棟：屋内、屋外ブルペン ミーティングルーム
	多目的グラウンドA	混合土：少年野球 4 面
	多目的グラウンドB	天然芝コート：サッカー 2 面 (夜間照明有) 人工芝コート：サッカー 1 面 (夜間照明有)
	西、南芝生広場	芝生広場
	テニスコート	砂入り人工芝コート 16 面 (夜間照明有)
	陸上競技場	公認 3 種 400 m×9 レーン スタンド 961 席
【久峰総合公園】 佐土原町下那珂 13754 Tel. 73-2782	野球場	両翼 100 m 中堅 122 m (夜間照明有)
	陸上競技場	300 mトラック
	テニスコート	砂入り人工芝コート 8 面 (夜間照明有)
	弓道場	近的 9 人立
	四半的弓道場	5 人立
	パターゴルフ場	18 ホール
【田野運動公園】 田野町乙 9549 Tel. 86-0220	多目的広場	サッカー 1 面
	野球場	両翼 94 m 中堅 120 m (夜間照明有)
	テニスコート	クレーコート 2 面、砂入り人工芝コート 2 面
	武道館	剣道場 柔道場
	弓道場	6 人立
【天ヶ城公園】 高岡町内山 2007 ほか Tel. 82-3321	体育館	バレーボール 3 面 バasketボール 2 面 バドミントン 6 面 ※フットサル利用可
	野球場	野球場 1 面 (夜間照明有)
	弓道場	近的 5 人立
【清武総合運動公園】 清武町今泉甲 530 Tel. 85-1148	SOKKEN スタジアム	両翼 100 m 中堅 122 m
	第2野球場	両翼 100 m 中堅 122 m ※平成 27 年秋 供用開始予定
	日向夏ドーム (屋内練習場)	50m × 50 m 人工芝
	多目的広場	サッカー 1 面
	多目的グラウンド	ソフトボール 4 面
	テニスコート	第 1 テニスコート 4 面 (夜間照明有) 第 2 テニスコート 9 面 (夜間照明有)
	弓道場	10 人立
	四半的場	4 ~ 5 人立
アーチェリー場		



▲生目の杜運動公園

【体育館】

施設名／所在地／電話	施設概要
【総合体育館】 宮崎駅東 1-2-7 Tel 29-5603	体育室：バレーボール 3 面 バドミントン 10 面 卓球 30 台 バスケットボール 2 面 ハンドボール 2 面 テニス 3 面 剣道場：剣道公式競技 2 面 バレーボール 1 面 バドミントン 4 面 卓球 10 台 バスケットボール 1 面 柔道場：公式競技 2 弓道場：12 人立 会議室：大 (108 名) 1 室 中 (18 名) 2 室 小 (8 名) 2 室
【北部土地区画整理事業記念体育館】 祇園 1-77 Tel 28-0353	体育室：バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面 バドミントン 6 面 卓球 10 面 ※フットサル利用可 会議室：80 名収容 1 室
【南部土地区画整理事業記念体育館】 恒久南 2-1-5 Tel 53-5553	体育室：バレーボール 2 面 卓球 10 台 バドミントン 4 面 ※フットサル利用可 会議室：40 名収容 1 室
【緑松体育館】 大字赤江 980-1 Tel 51-6417	体育室：バレーボール 1 面 卓球 6 台 バドミントン 3 面 ※フットサル利用可 会議室：36 名収容 1 室
【広原体育館】 大字広原 1085-1 Tel 39-3510	体育室：バレーボール 1 面 卓球 6 台 バドミントン 3 面 バスケットボール 1 面 ※フットサル利用可 会議室：50 名収容 1 室
【田野体育館】 田野町乙 10905-26 Tel 86-0220	バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 ※フットサル利用可
【B&G 海洋センター体育館】 田野町甲 2942-1 Tel 86-0220	バレーボール 2 面 バスケットボール 1 面
【佐土原体育館】 佐土原町下田島 20688-74 Tel 73-7223	バレーボール 3 面 バスケットボール 2 面 バドミントン 8 面 ソフトテニス 3 面 卓球 12 台 ハンドボール 1 面 ※フットサル利用可

【佐土原西体育館】 佐土原町上田島 8387-2 Tel. 73-7223	バレーボール2面 バドミントン6面
【那珂地区農業構造改善センター】 佐土原町東上那珂 14503 Tel. 73-1411	(多目的ホール棟) バレーボール1面 バドミントン2面
【佐土原地区農村環境改善センター】 佐土原町下田島 1725-1 Tel. 73-7223	バレーボール1面 バドミントン3面
【穆佐体育館】 高岡町小山田 973 番地 1 Tel. 82-0889	バレーボール1面 バドミントン3面
【内山体育館】 高岡町内山 966 Tel. 82-1111	バレーボール1面 バドミントン3面
【東高岡体育館】 高岡町花見 923 Tel. 82-0889	バレーボール1面 バドミントン3面
【清武体育館】 清武町西新町 5 番地 1 Tel. 85-5228	バレーボール3面, バスケットボール2面, バドミントン9面 格技場(柔道・剣道)
【加納スポーツセンター】 清武町加納乙 213 - 4 Tel. 85-1118	バレーボール2面, バスケットボール1面, バドミントン6面 第2競技場(ダンス・武道) テニスコート1面(砂入り人工芝コート)



▲総合体育館



▲田野体育館

【武道場】

施設名／所在地／電話	施設概要
【佐土原武道館】 佐土原町下那珂 12900-2 Tel. 73-2782	剣道 2 面 柔道 1 面
【高岡練士館道場】 高岡町内山 2902 Tel. 82-3321	剣道 2 面
【高岡トレーニングセンター】 高岡町内山 2899 Tel. 82-3321	柔道 1 面

【市民プール】

施設名／所在地／電話	施設概要
【石崎の杜歓鯨館】 佐土原町下那珂 8 番地 1 Tel. 62-7757	屋内プール 25 m× 8 コース 観客席 262 席 幼児プールを併設
【B&G 海洋センタープール】 田野町乙 9541-2 Tel. 86-0220	25 m× 13m

【パークゴルフ場】

施設名／所在地／電話	施設概要
【青島パークゴルフ場】 宮崎市加江田 7470 番地 3 Tel. 65-1113	4 コース 36 ホール 公益社団法人日本パークゴルフ協会公認コース



▲青島パークゴルフ場 あおパゴ



▲天ヶ城公園体育館

【運動広場】

施設名／所在地／電話	施設概要
【田野南農村運動広場】 田野町甲 10533 Tel 86-1111	野球場 1 面
【ニツ山農村運動広場】 田野町甲 7369-45 Tel 86-1111	野球場 1 面
【佐土原運動広場】 佐土原町下田島 624 Tel 73-1411	サッカー 1 面
【佐土原西運動広場】 佐土原町東上那珂 17851-1 Tel 73-7223	野球場 2 面（夜間照明有） テニスコート 3 面（クレー）
【佐土原東運動広場】 佐土原町下田島 18455 Tel 73-1411	少年野球場 1 面
【石崎運動広場】 佐土原町下那珂 2940-79 Tel 73-1411	ソフトボール 1 面
【真米運動広場】 佐土原町西上那珂 1988 番地 Tel 73-1411	少年野球場 1 面
【伊倉運動広場】 佐土原町東上那珂 3546 番地4 Tel 73-1411	グラウンドゴルフなど
【橋山運動広場】 高岡町花見 2087 番地 Tel 82-0889	ソフトボール 4 面
【栗野運動広場】 高岡町花見 2087 番地 Tel 82-1111	ゲートボールなど
【サンスポーツランド高岡】 多目的グラウンド 高岡町小山田 3870 番地 Tel 82-0889	400 mグラウンド サッカー 2 面 テニスコート 5 面（砂入り人工芝コート、照明有）
【西高岡運動広場】 高岡町浦之名 4444 番地 Tel 82-1111	少年野球場 1 面
【内山運動広場】 高岡町内山 1057 番地 Tel 82-1111	少年野球場 1 面
【祇園運動広場】 祇園 1-79-1 Tel 28-0353	グラウンドゴルフなど
【ストリートスポーツ広場】 祇園 1-78 Tel 42-8996	スケートボード、インラインスケート、BMX（夜間照明有）

【公園施設等】

施設名／所在地／電話	施設概要
【秋の台公園】 大字広原竹増迫 7150 Tel 30-2163	軟式野球場1面、多目的広場1面、 テニスコート3面（砂入り人工芝コート）
【出水口公園】 祇園2丁目（UMK西側） Tel 23-0051	軟式野球場1面、ソフトボール広場1面、多目的広場
【大淀川市民緑地 田吉コート】 旧小戸橋下流右岸 Tel 23-0051	軟式野球場3面、ソフトボール場（少年野球）4面、 サッカー場1面、グラウンドゴルフ場1面、 ゲートボール場4面
【大淀川市民緑地 大塚コート】 高松橋下流右岸 Tel 23-0051	ソフトボール場3面、多目的広場4面、 多目的広場（舗装）1面
【大淀川市民緑地 下小松コート】 宮崎大橋～平和台大橋右岸 Tel 23-0051	野球場2面、ソフトボール場5面、多目的広場3面、 サッカー場3面
【山内川緑地】 大字恒久 一ツ葉有料道路南線料金所付近 Tel 23-0051	ラグビー場2面、野球場1面
【宮崎中央公園】 宮崎駅東 2-4-7 Tel 29-5603	テニスコート3面（砂入り人工芝コート）
【宮崎市国際海浜 エントランスプラザ】 フローランテ宮崎南側 Tel 32-1369	多目的広場1面、 テニスコート4面（砂入り人工芝コート）
【生目台公園】 生目台東4丁目 Tel 50-8858	テニスコート2面（砂入り人工芝コート）
【岡ノ下公園】 清武町大字木原字桑畑 Tel 85-1106（清武総合支所 建設課）	ソフトボール場1面、テニスコート4面、ゲートボール場
【木原河川緑地公園】 清武町大字木原字池須 Tel 85-1106（清武総合支所 建設課）	ソフトボール場2面、野球場1面、グラウンドゴルフ場、 サッカー場
【加納公園】 清武町大字加納字藪ヶ迫・櫛間 Tel 85-1106（清武総合支所 建設課）	多目的広場（ソフトボール・野球・グラウンドゴルフ使用可）、 テニスコート2面

【その他の体育館】

施設名／所在地／電話	施設概要
【宮崎市障がい者体育センター】 大字恒久西原 5132 Tel 53-1826	バレーボール2面、バスケットボール1面、 バドミントン4面、アーチェリー1面

【公民館、交流センター等】

※運動・スポーツのできる多目的ホール等を付帯する施設のみ掲載

※市内の公民館等については、地域の団体や自主グループなどが利用しています。利用方法等については、直接公民館等へお問い合わせ下さい。

施設名／所在地／電話	施設名／所在地／電話
【宮崎西地区交流センター】（多目的ホール） 祇園 1 丁目 49 番地 Tel. 20-3507	【西部地区農村環境改善センター】（多目的ホール） 大字瓜生野 3909 番地 Tel. 30-3017
【赤江公民館】（大集会室） 月見ヶ丘 2 丁目 44 番 5 号 Tel. 55-1232	【東大宮地区コミュニティセンター】（大集会室） 村角町島ノ前 1346 番地 1 Tel. 26-1534
【生目公民館】（大集会室） 大字浮田 3000 番地 Tel. 30-4036	【宮崎東地区交流センター】（多目的ホール） 下原町 332 番地 5 Tel. 20-3511
【櫛公民館】（大集会室） 吉村町江田原甲 265 番地 1 Tel. 28-1138	【宮崎地区交流センター】（多目的ホール） 吉村町ハシテ甲 2386 番地 139 Tel. 20-3512
【木花公民館】（大集会室） 大字熊野 591 番地 Tel. 55-3064	【赤江東地区交流センター】（多目的ホール） 恒久 6 丁目 11 番地 4 Tel. 59-8422
【住吉公民館】（大集会室） 大字島之内 7410 番地 1 Tel. 30-2073	【生目台地区交流センター】（多目的ホール） 生目台東 4 丁目 6 番地 2 Tel. 59-9191
【大淀公民館】（大集会室） 京塚 2 丁目 1 番 18 号 Tel. 55-1233	【佐土原地区交流センター】（多目的ホール） 佐土原町上田島 1389 Tel. 74-0018
【青島公民館】（大集会室） 青島 4 丁目 6 番 25 号 Tel. 55-4030	【大久保学習センター】（多目的ホール） 清武町今泉甲 2694-3 Tel. 84-1080
【大宮公民館】（大集会室） 下北方町下郷 6101 番地 Tel. 20-3509	【高岡交流プラザ】（多目的ホール） 高岡町浦之名 4365 番地 4 Tel. 82-4111
【本郷公民館】（大集会室） 大字本郷南方 2793 番地 Tel. 55-2038	
【大塚公民館】（大集会室） 大塚町鎌ヶ迫 2296 番地 3 Tel. 55-1231	
【生目南公民館】（大集会室） 大字浮田 662 番地 14 Tel. 30-4037	

【市立小中学校】

※宮崎市立の小中学校の体育館・運動場については、学校活動に支障のない範囲で、夜間等の時間帯に一般の利用団体に開放しています。利用については、事前に団体登録等の手続きが必要です。

市立小中学校の体育施設利用等における問合せ先：市文化スポーツ課 TEL21-1835

学校名／所在地／電話	学校名／所在地／電話
【宮崎小学校】 旭1丁目4番1号 TEL 24-4360	【倉岡小学校】 大字糸原 538 番地 TEL 41-0004
【小戸小学校】 大工1丁目5番43号 TEL 24-4415	【木花小学校】 大字熊野 10956 番地 TEL 58-0007
【大淀小学校】 淀川2丁目3番7号 TEL 51-4362	【鏡洲小学校】 大字鏡洲 2056 番地 TEL 58-1049
【大宮小学校】 下北方町新地 849 番地 TEL 24-3866	【青島小学校】 青島5丁目12番17号 TEL 65-1130
【宮崎東小学校】 阿波岐原町火切塚 1461 番地 TEL 22-7411	【内海小学校】 大字内海 1024 番地 TEL 67-0022
【古城小学校】 古城町山之城 5735 番地 TEL 51-4416	【住吉小学校】 大字島之内 5383 番地 TEL 39-1024
【江平小学校】 橘通西5丁目6番37号 TEL 24-4364	【生目小学校】 大字浮田 2920 番地 TEL 48-1106
【西池小学校】 西池町 12 番 49 号 TEL 24-2611	【大塚小学校】 大塚町鎌ヶ迫 2296 番地 2 TEL 51-4952
【櫛小学校】 吉村町冬治甲 841 番地 1 TEL 24-2283	【池内小学校】 池内町榎迫 508 番地 TEL 23-6442
【潮見小学校】 潮見町 118 番地 TEL 24-3867	【宮崎西小学校】 大塚台西2丁目19番地1 TEL 47-0403
【恒久小学校】 恒久2丁目15番地4 TEL 51-6403	【東大宮小学校】 大島町西田 2143 番地 TEL 28-5252
【赤江小学校】 大字恒久 556 番地 TEL 51-4366	【宮崎南小学校】 源藤町池ノ内 702 番地 TEL 51-1137
【国富小学校】 大字郡司分甲 2226 番地 TEL 56-9574	【本郷小学校】 大字本郷北方 3926 番地 TEL 56-7591
【瓜生野小学校】 大字瓜生野 2589 番地 TEL 41-1016	【宮崎港小学校】 吉村町南浜田甲 4261 番地 TEL 24-7511

学校名／所在地／電話	学校名／所在地／電話
【江南小学校】 江南 4 丁目 26 番 1 号 Tel 53-5005	【那珂小学校】 佐土原町東上那珂 16350 番地 Tel 74-1166
【住吉南小学校】 大字芳土 1811 番地 Tel 39-5000	【広瀬小学校】 佐土原町下田島 20308 番地 10 Tel 73-1616
【櫛北小学校】 阿波岐原町坂元 1985 番地 Tel 23-4511	【広瀬北小学校】 佐土原町下田島 20756 番地 1 Tel 73-5590
【小松台小学校】 小松台西 1 丁目 10 番地 9 Tel 47-0440	【広瀬西小学校】 佐土原町下那珂 13384 番地 Tel 73-6160
【生目台東小学校】 生目台東 4 丁目 2 番地 1 Tel 53-5181	【高岡小学校】 高岡町内山 2900 番地 Tel 82-1011
【学園木花台小学校】 学園木花台南 2 丁目 13 番地 Tel 58-4820	【浦之名小学校】 高岡町浦之名 1833 番地 Tel 89-1166
【生目台西小学校】 生目台西 2 丁目 1 番地 1 Tel 54-5511	【穆佐小学校】 高岡町小山田 87 番地 1 Tel 82-1015
【田野小学校】 田野町甲 2856 番地 Tel 86-1100	【清武小学校】 清武町今泉甲 7023 番地 1 Tel 85-1011
【七野小学校】 田野町乙 3521 番地 2 Tel 86-1220	【大久保小学校】 清武町今泉甲 5645 番地 1 Tel 85-1100
【佐土原小学校】 佐土原町上田島 1350 番地 9 Tel 74-1133	【加納小学校】 清武町加納甲 1010 番地 Tel 85-3100

学校名／所在地／電話	学校名／所在地／電話
【宮崎東中学校】 江平東2丁目7番9号 Tel 24-2898	【大塚中学校】 大塚町鎌ヶ迫 2296 番地 Tel 47-1130
【宮崎中学校】 永楽町 43 番地 Tel 24-3380	【東大宮中学校】 村角町島ノ前 1346 番地 1 Tel 29-8881
【宮崎西中学校】 原町 1 番 4 号 Tel 24-2646	【生目南中学校】 大字浮田 662 番地 Tel 47-1102
【大淀中学校】 天満 1 丁目 2 番 6 号 Tel 51-3700	【赤江東中学校】 大字田吉 1031 番地 Tel 54-2233
【大宮中学校】 下北方町横小路 5945 番地 Tel 24-4518	【生目台中学校】 生目台東 4 丁目 1 番地 1 Tel 54-6000
【櫛中学校】 吉村町江田原甲 265 番地 Tel 23-2225	【田野中学校】 田野町甲 2826 番地 3 Tel 86-1200
【赤江中学校】 月見ヶ丘 1 丁目 25 番 1 号 Tel 51-2981	【佐土原中学校】 佐土原町上田島 8476 番地 Tel 74-1177
【木花中学校】 学園木花台南 1 丁目 1 番地 Tel 58-0004	【広瀬中学校】 佐土原町下田島 20305 番地 12 Tel 73-1818
【青島中学校】 大字折生迫 4828 番地 Tel 65-1248	【久峰中学校】 佐土原町下田島 21341 番地 Tel 73-1188
【宮崎北中学校】 大字大瀬町 247 番地 Tel 41-1087	【高岡中学校】 高岡町内山 2700 番地 Tel 82-1012
【住吉中学校】 大字島之内 7608 番地 Tel 39-1512	【清武中学校】 清武町今泉甲 6980 番地 Tel 85-2011
【生目中学校】 大字跡江 3131 番地 Tel 48-1101	【加納中学校】 清武町加納乙 1040 番地 Tel 84-2121
【本郷中学校】 大字本郷南方 5460 番地 Tel 56-7585	

【宮崎県のスポーツ施設】

施設名 / 所在地 / 電話	施設概要
KIRISHIMA サンマリスタジアム宮崎	両翼 100 m 中堅 122 メートル (照明塔有) 収容人数 30,000 人 会議室、ロッカー室、シャワー室等完備
KIRISHIMA ひむかスタジアム (第2硬式野球場)	両翼 92 m センター 122 メートル 収容人数 15,000 人
KIRISHIMA 木の花ドーム	アリーナ：収容人数 5,000 人 会議室、ロッカー室等完備
KIRISHIMA ハイビスカス 陸上競技場	トラック 400 m×8 コース 収容人数 20,000 人
第2陸上競技場	トラック 300 m×6 コース
軟式野球場 A	両翼 99m 中堅 122m 収容人数 2,000 人
軟式野球場 B	両翼 92 m 中堅 100 m 収容人数 2,000 人
第3競技場 (サッカー場)	トラック 400 m×8 コース 収容人数 3,600 人
自転車競技場 (ホッケー場)	1周 400 m×6 車連
【KIRISHIMA ヤマザクラ 宮崎県総合運動公園】 大字熊野 1443-12 Tel 58-5588	ラグビー場
ラグビー場	ラグビー 1 面
テニスコート	砂入り人工芝コート 24 面 (12 面夜間照明有)
水泳場	50m プール 8 コース、25 m プール 6 コース 幼児プール 収容人数 2,000 人
補助球技場	サッカー 1 面
トレーニング場・体育館	ウェイトトレーニング場 体育館：バレーボール 3 面
ゲートボール場	ゲートボール 4 面
投てき場	使用可能種目：やり投、円盤投、砲丸投、ハンマー投げ
運動広場 A・B・C・D	ソフトボール 4 面
屋内練習場	人工芝 投球練習場 6 人投
合宿所	宿泊施設 22 部屋 食堂、浴室、講義室等完備

施設名 / 所在地 / 電話		施設概要
【KIRISHIMA ツワブキ 宮崎県武道館】 大字熊野 2206-1 Tel. 58-5151	主道場	柔道、剣道、空手道など 6 面
	副道場	空手道、合気道など 2 面
	剣道場	剣道 2 面
	相撲場	競技用土俵 1 面 練習用土俵 1 面
	弓道場	近的 12 人立
	弓道場	遠的 6 人立
	トレーニングルーム	筋力マシーン、トレッドミル（ランニング）等設置
	会議室	会議室 大（200 人）、中 A・B（30 人）、小（20 人）
【宮崎県体育館】 宮崎駅東 2 丁目 4 番地 1 Tel. 24-3975	本館競技場	バレーボール 3 面 バasketボール 2 面 バドミントン 8 面
	別館第一競技場	バレーボール 1 面 バasketボール 1 面 バドミントン 3 面
	別館第二競技場	武道、レクリエーション他
	別館第三競技場	武道、レクリエーション他
【宮崎県ライフル射撃場】 宮崎市田野町乙 4765-1 Tel. 86-1628	スモールボアライフル射撃場	50m 射場 屋根付射座式 26 射座
	エアライフル射撃場	10 m 射場 屋内覆道式 26 射座

第4章

計画の推進に向けて



1. スポーツ推進体制の整備

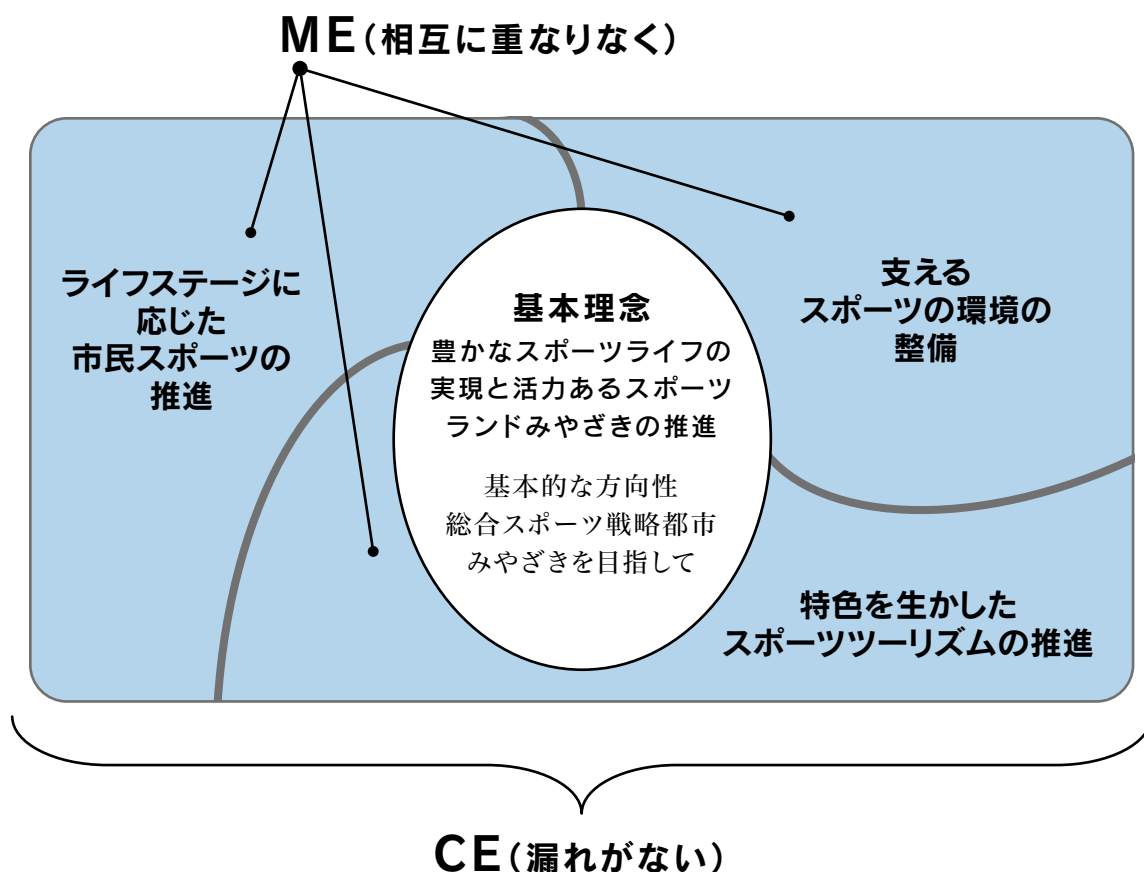
「3つの柱」の相互連動

本計画の基本理念「豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやぎきの推進」を支える3つの柱「ライフステージに応じた市民スポーツの推進」、「支えるスポーツの環境の整備」、「特色を生かしたスポーツツーリズムの推進」の各々がMECE（ミッシー）という概念を基に、連携と相互の連動を図ることにより、効果的に施策が展開されるよう努めます。

【宮崎市のスポーツ推進体制】

MECE(ミッシー)とは?…ある事柄を重ねるなく、しかも漏れのない集合体として捉えること。

Mutually Exclusive Collectively Exhaustive
(相互に重なりなく) (漏れない)

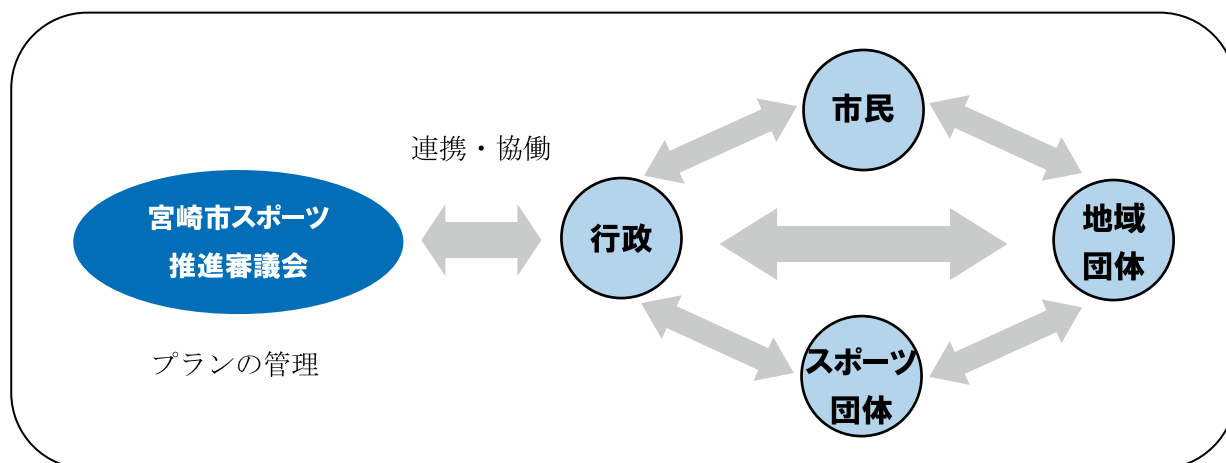


2. 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、計画の進捗状況の把握等を行うとともに、宮崎市スポーツ推進審議会において、進捗状況等の報告を行い、計画の進行管理を行っていきます。

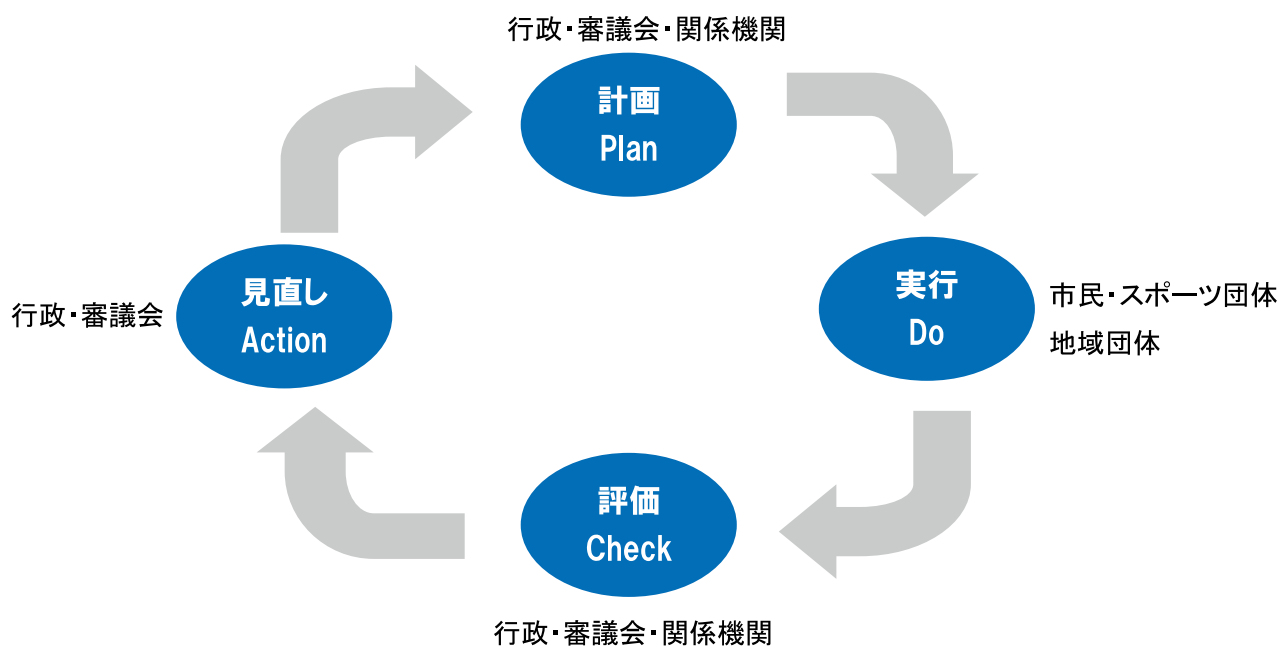
さらに、行政と市民、スポーツ団体、地域団体等との連携・協働を図りながら、市民スポーツをより一層推進していきます。

【計画の推進体制のイメージ】



3. 計画のチェックとローリング

本計画に示された施策を実現するために、各施策の実施状況の把握に努めます。市民のニーズの変動、社会情勢の変化、財政状況などの運動・スポーツを取り巻く環境変化に適切に対応できるよう、「計画 (Plan)」「実行 (Do)」「評価 (Check)」「見直し (Action)」という一連の流れを繰り返し、計画のローリングを行います。



市民意識調査の概要

～参考資料～



宮崎市観光イメージキャラクター ミツシちゃん

市民意識調査の概要

宮崎市民の運動・スポーツに関する調査は、平成25年10月1日～平成25年10月31日の期間において、18歳以上の市民と小中学生を対象に実施しました。調査概要は次のとおりです。

1.18歳以上の市民への調査

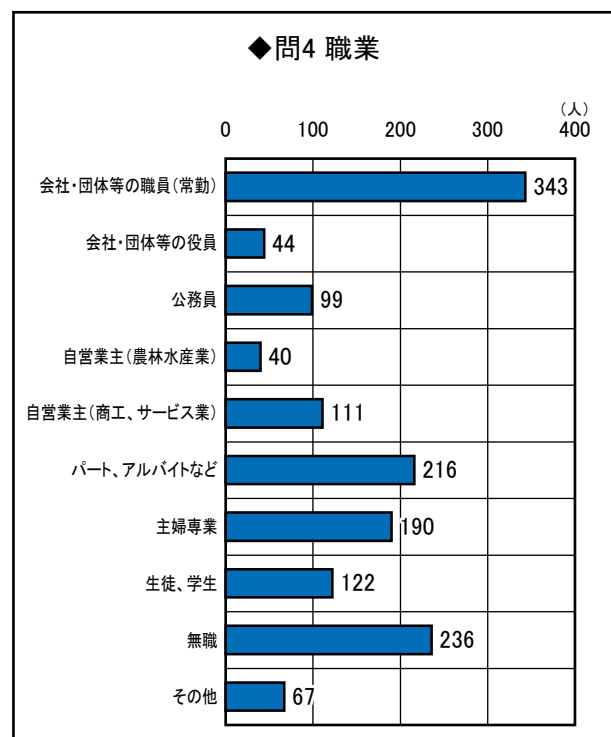
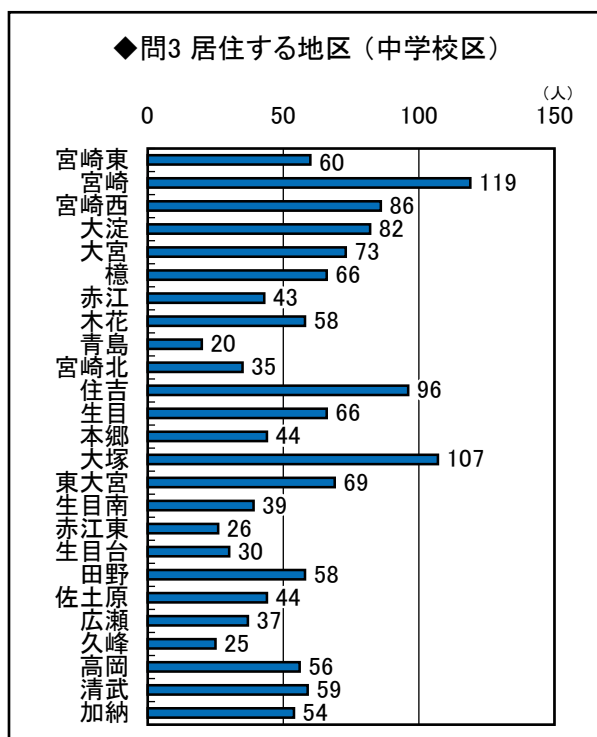
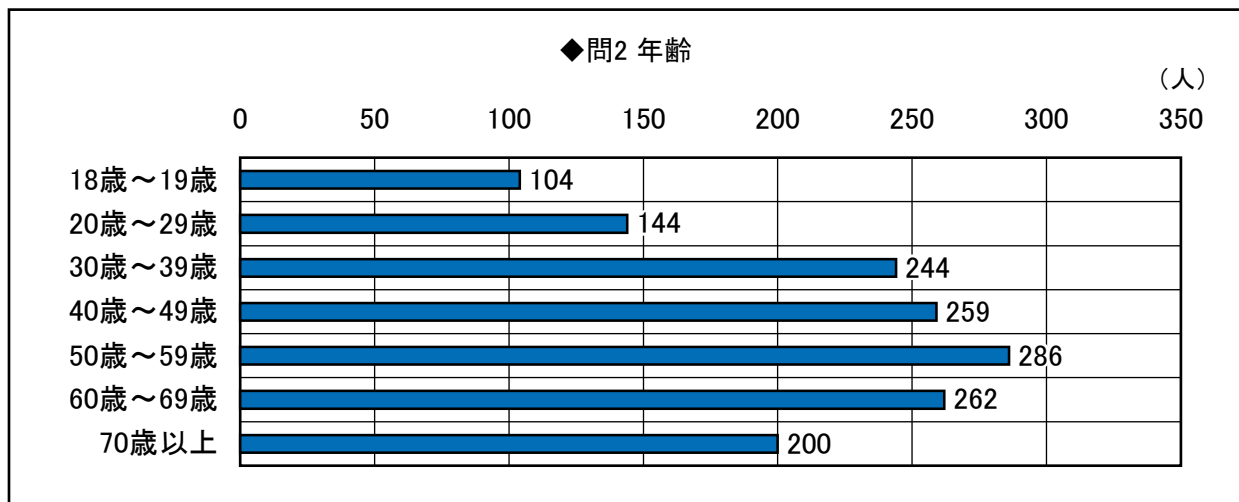
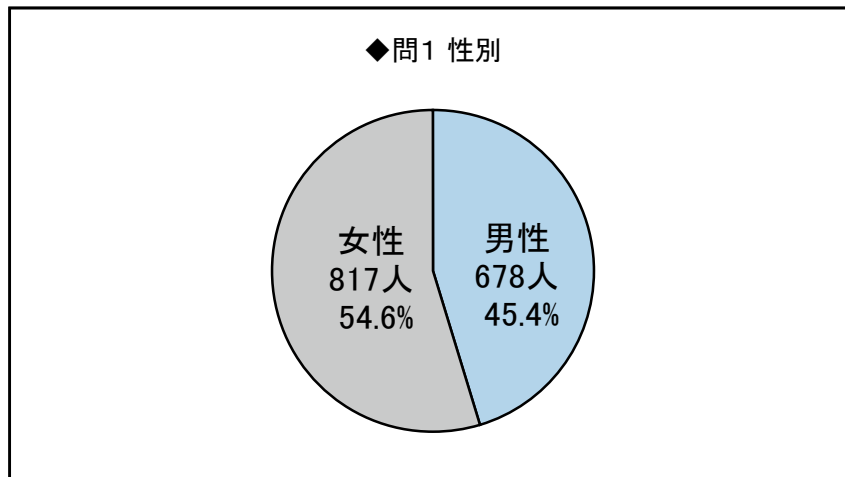
- ・配布方法:住民基本台帳より無作為に抽出した18歳以上の男女にアンケートを郵送
- ・回収方法:郵送による回収
- ・配布数:4,000
- ・回収数:1,519
- ・有効:1,499
- ・無効:20
- ・回収率:37.5% (前回調査時回収率:37.0%)

2.小中学生への調査

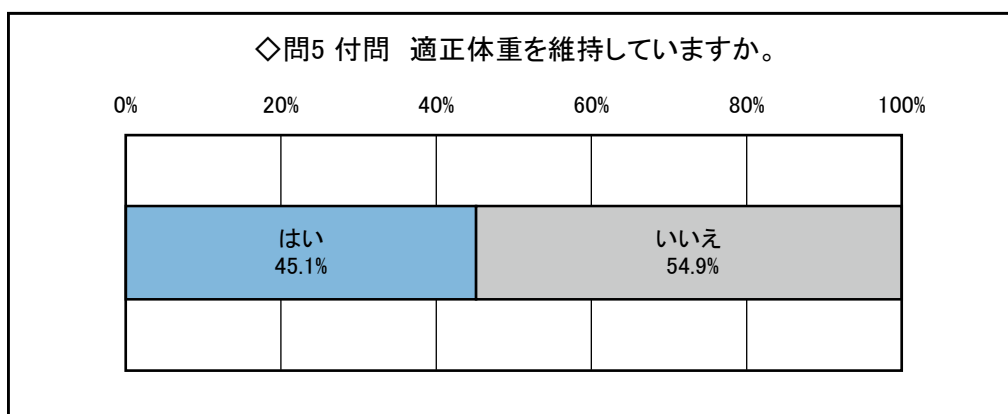
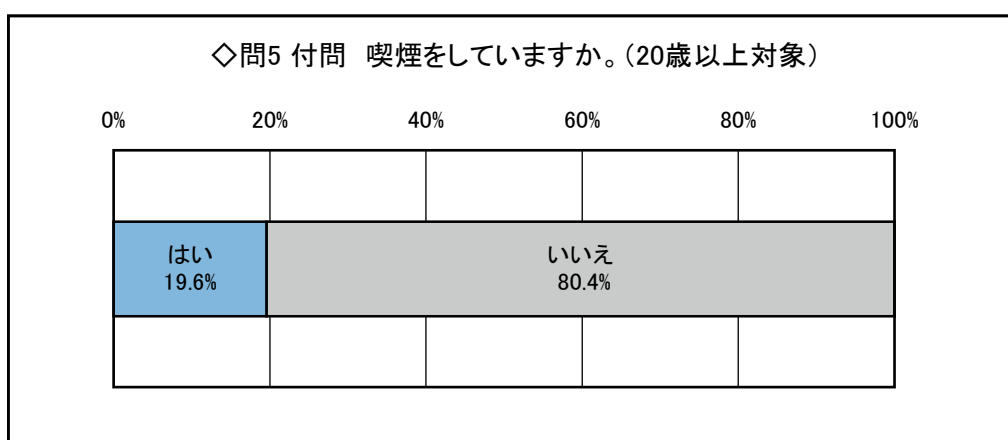
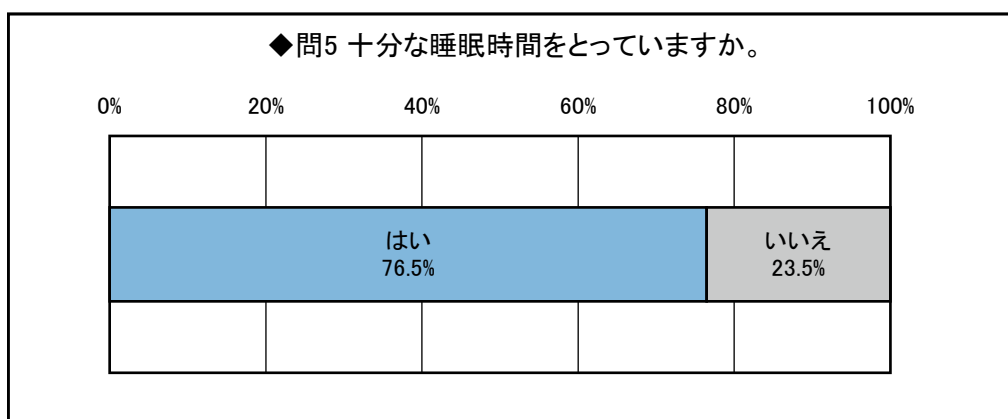
- ・配布方法:市域バランス、児童・生徒数を考慮した小中学校の小学5年生、中学2年生を対象に学校において配布
- ・回収方法:後日、各校にて回収
- ・配布数:606
- ・回収数:606
- ・有効:606
- ・無効:0
- ・回収率:100%

(1) 18歳以上の市民への調査

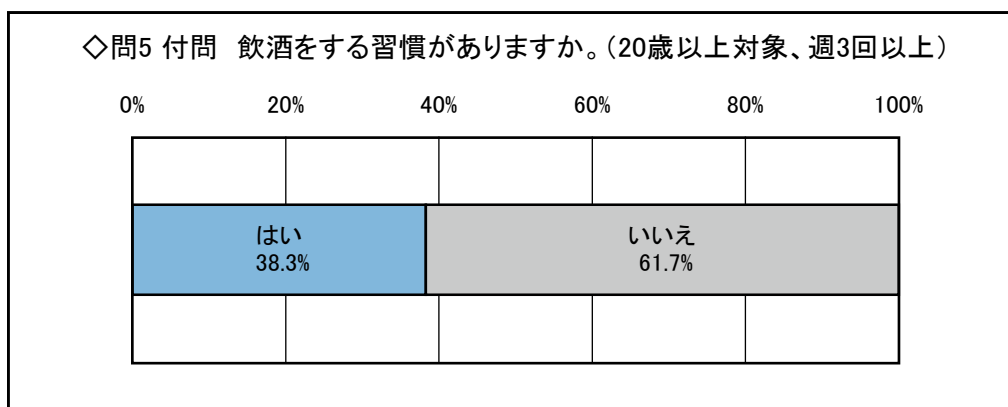
<調査対象者の状況>

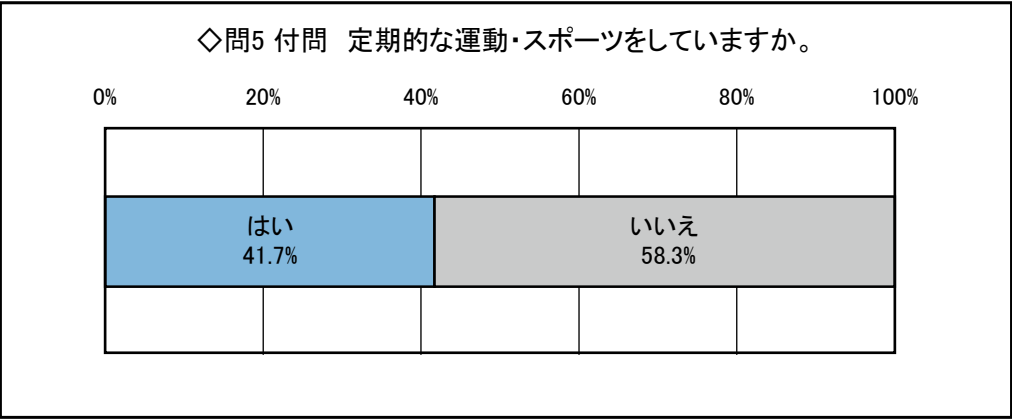


<健康や体力に関する意識について>

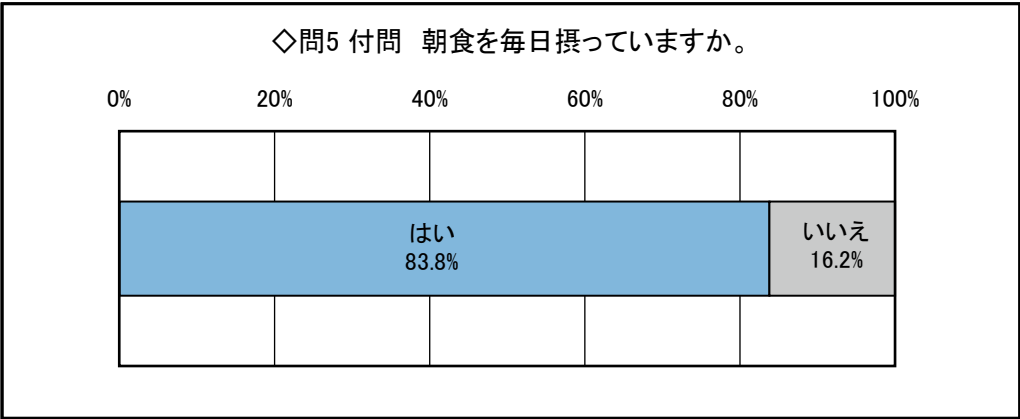
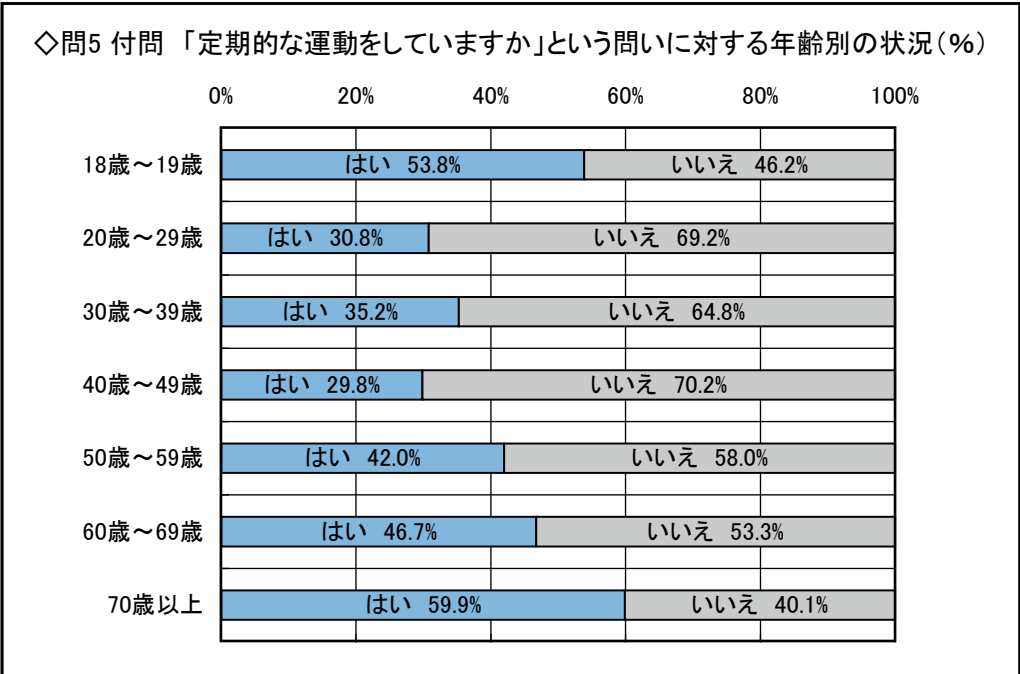


※適正体重は、身長 (m) × 身長 (m) × 22 で算出された体重を指す。

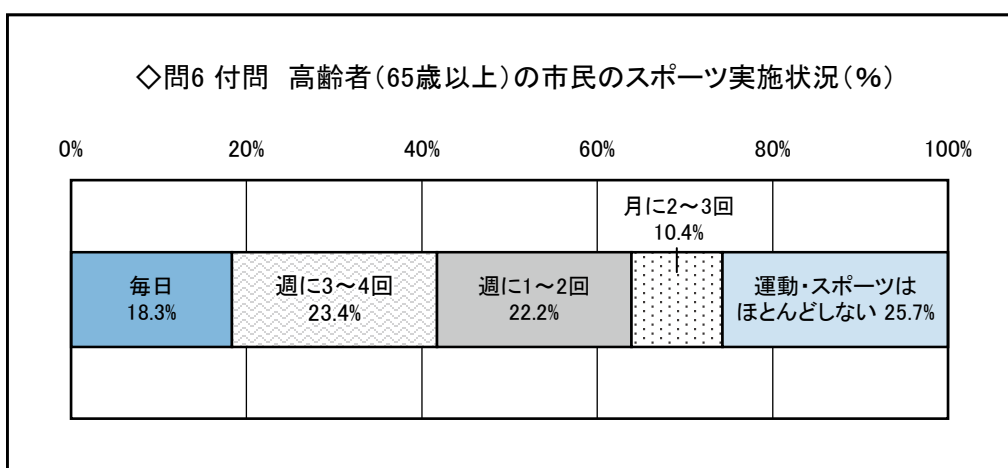
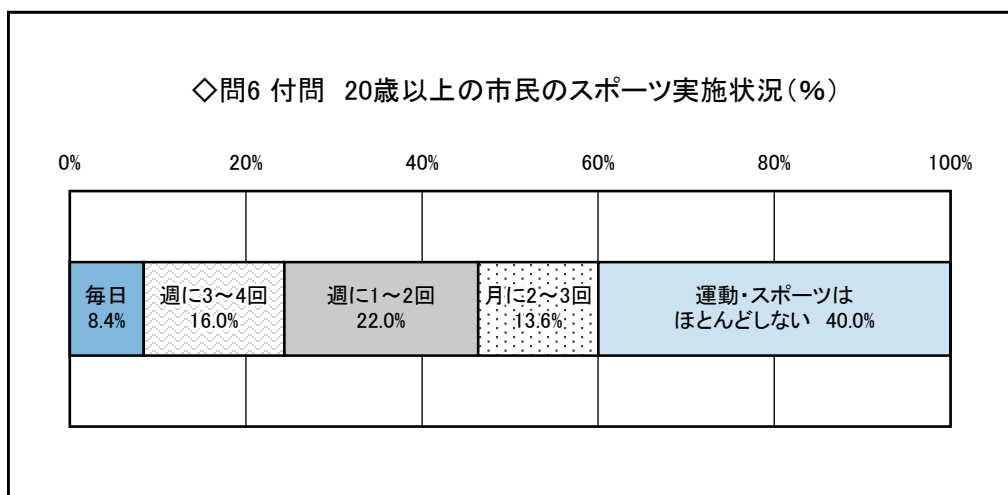
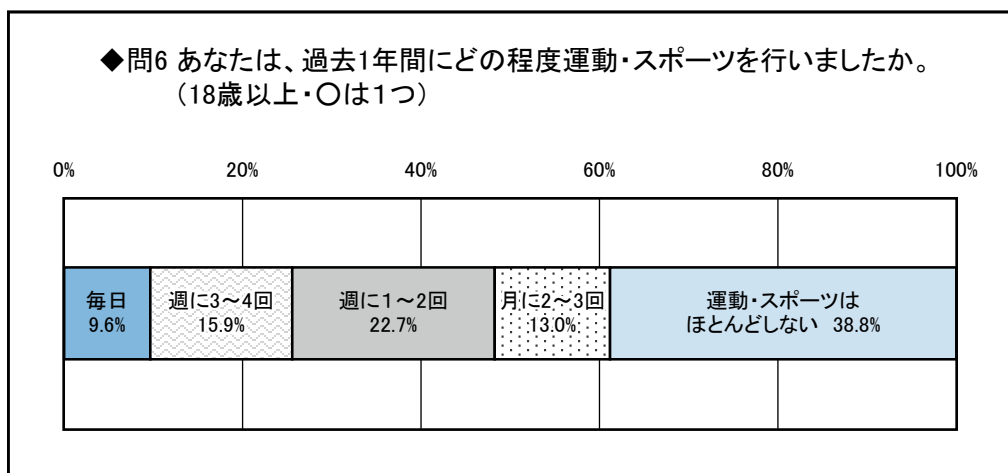




※定期的な運動・スポーツとは、週1ペース、若しくはそれ以上のペースを指す。

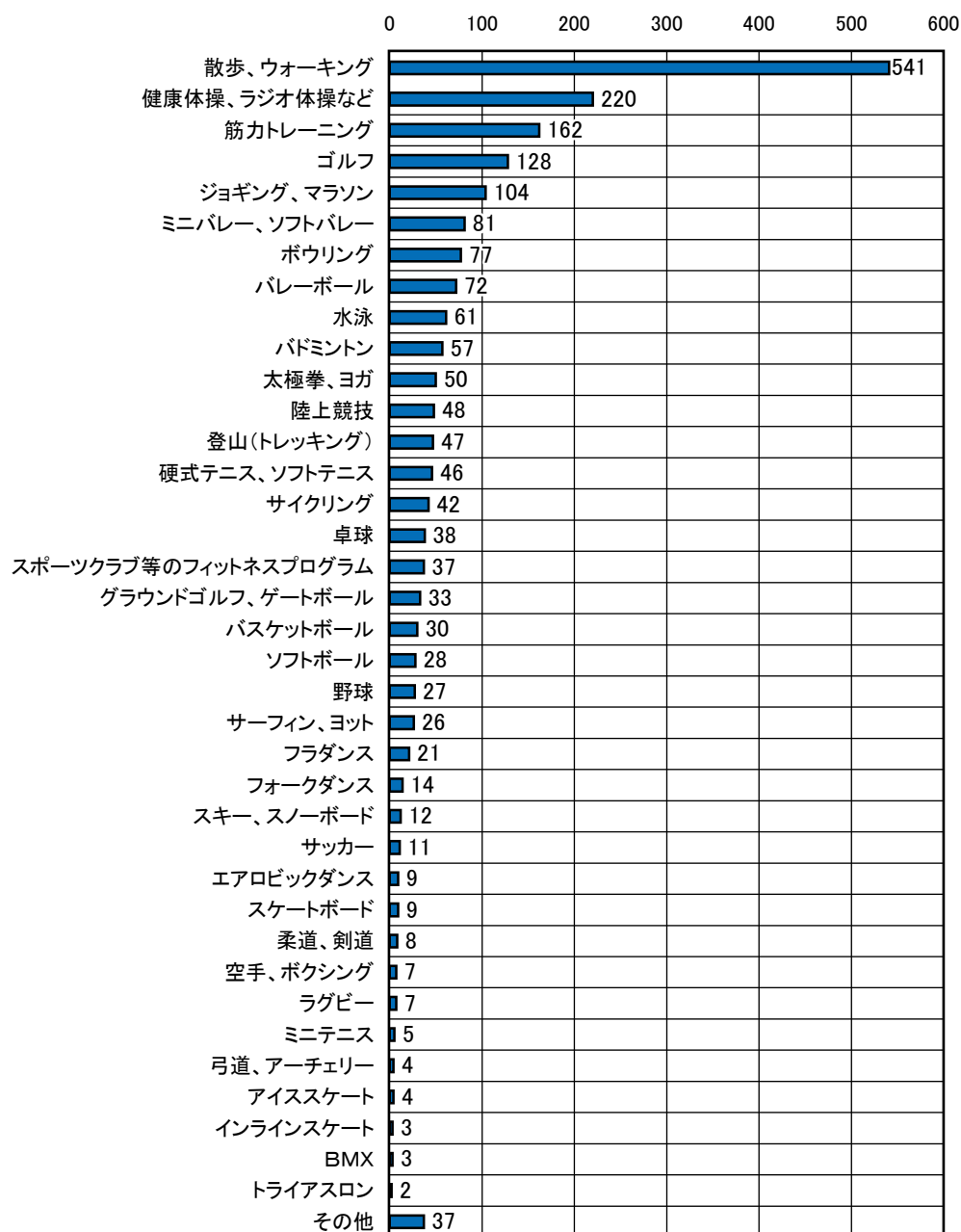


<運動・スポーツの実施状況について>



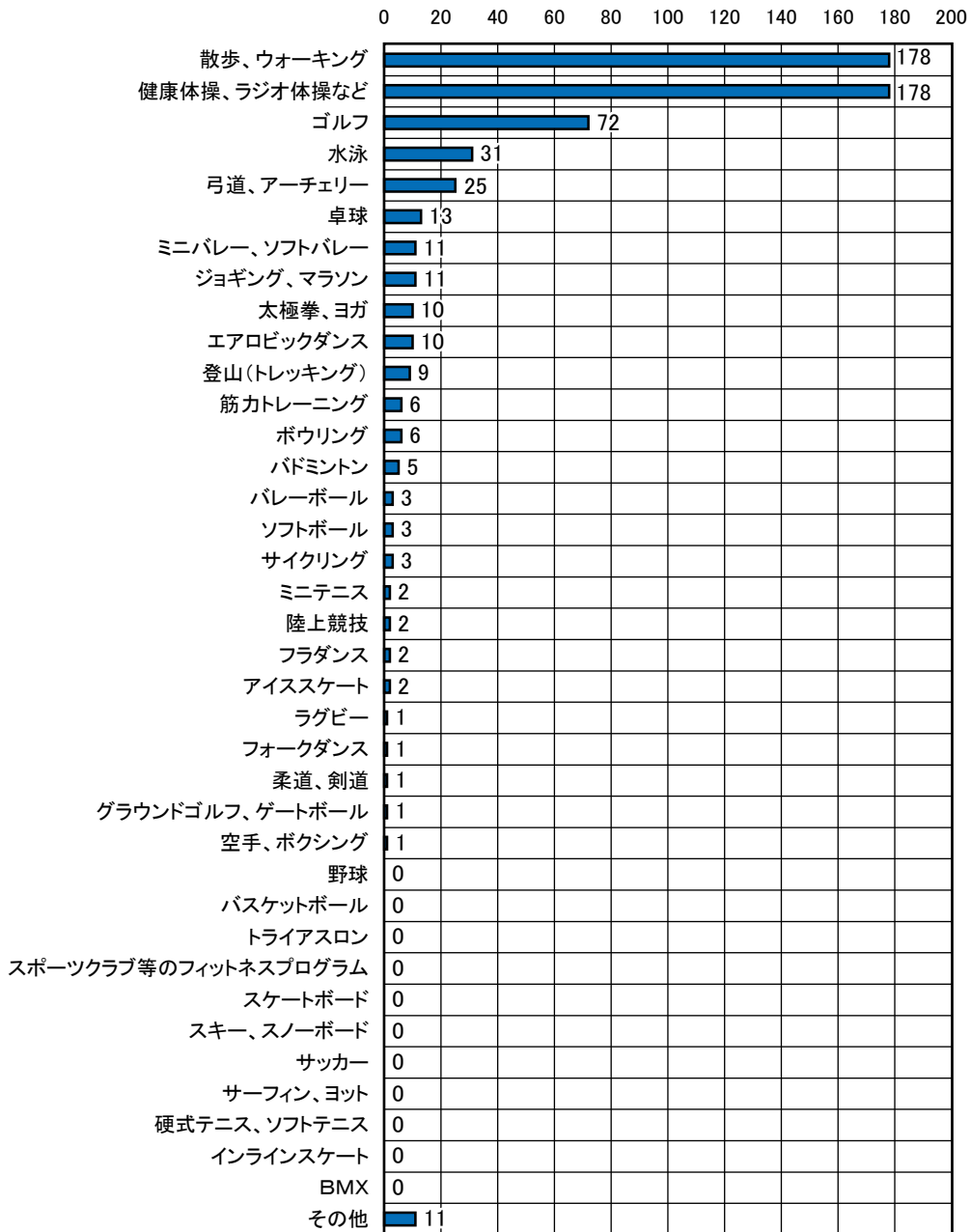
◆問7 問6で「過去1年間に運動・スポーツを行った」と答えた方のみお答えください。
 あなたが、この1年間に行った運動やスポーツに○をつけて下さい。(複数回答可)

(人)

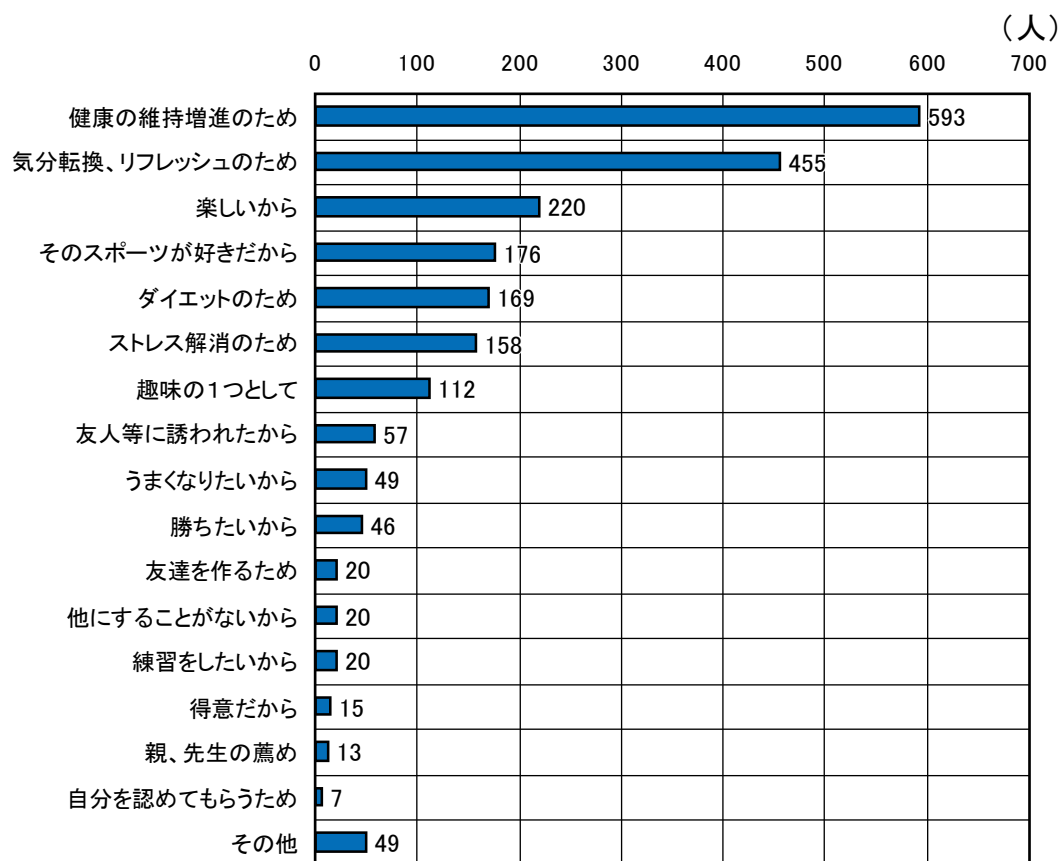


◇問7 付問 高齢者(65歳以上)が実施した種目(複数回答可)

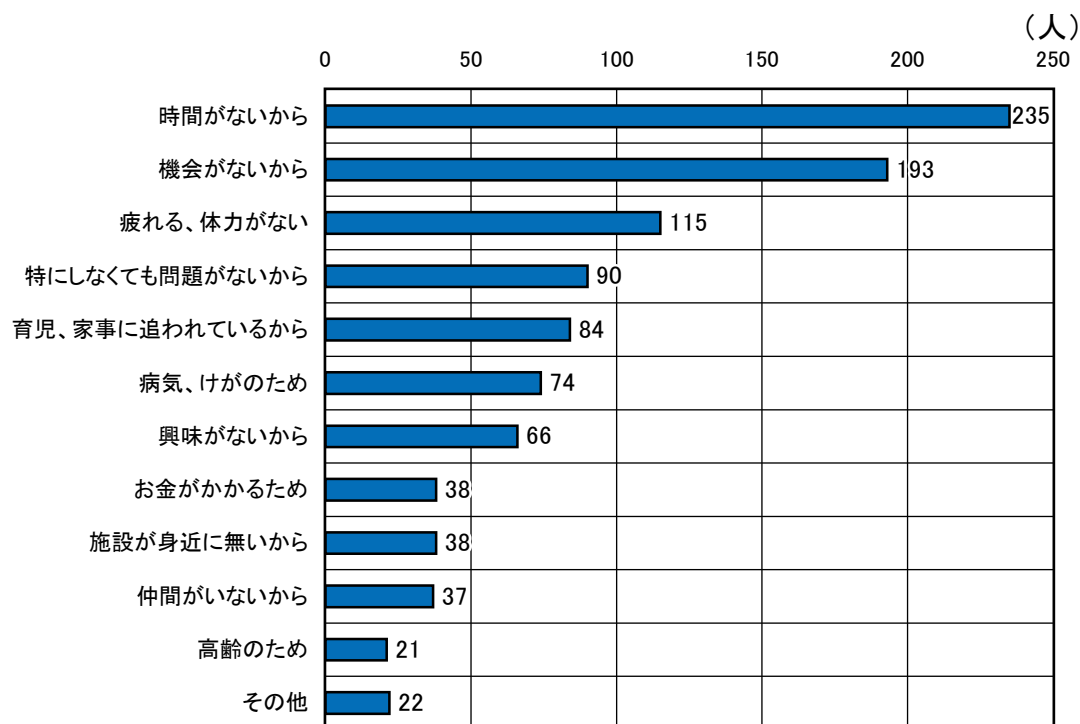
(人)



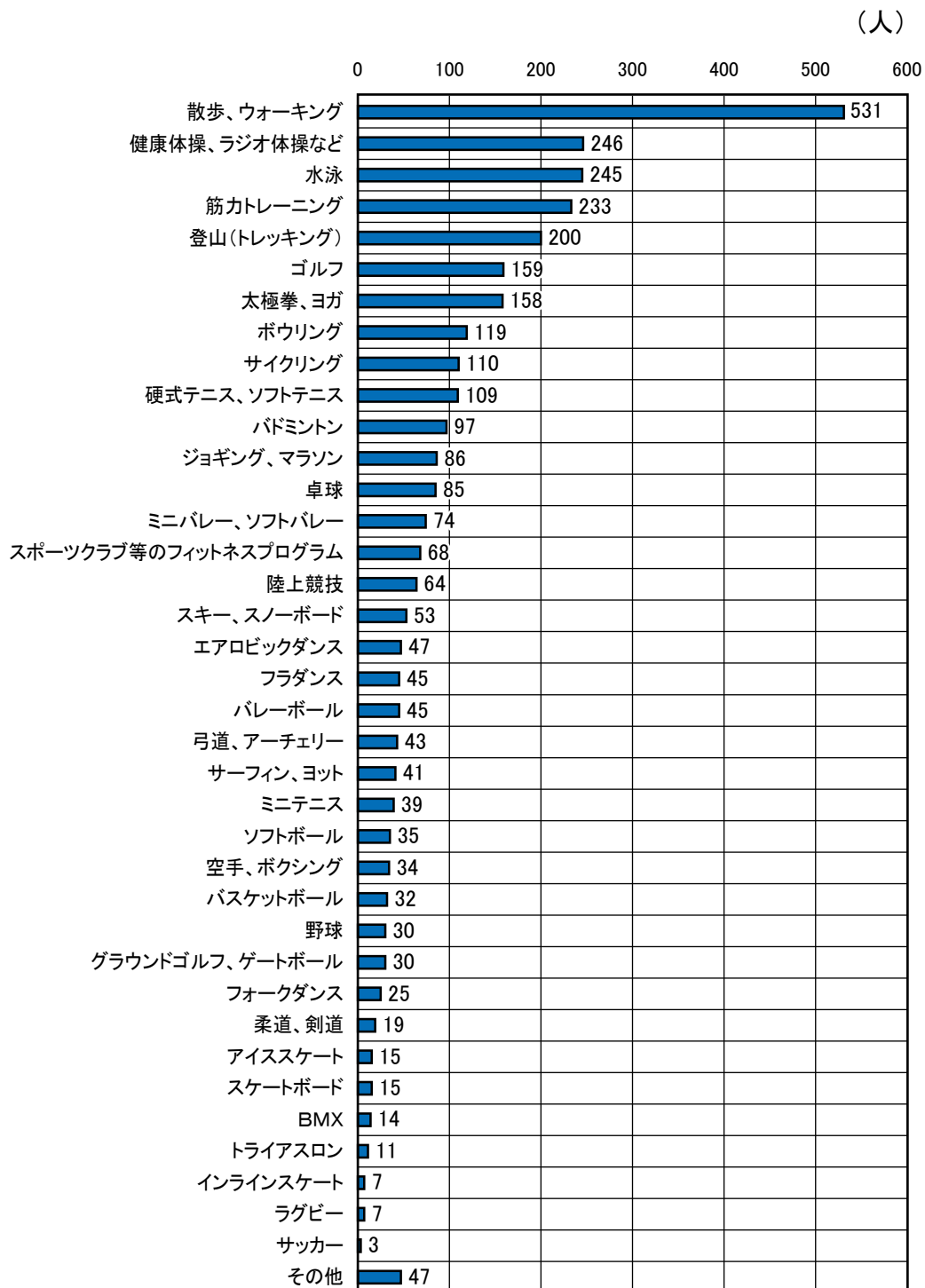
◆問8 問6で「運動を行った」と答えた方のみお答え下さい。あなたが、運動・スポーツを行っているのは、どのような理由からですか。(〇は3つまで)



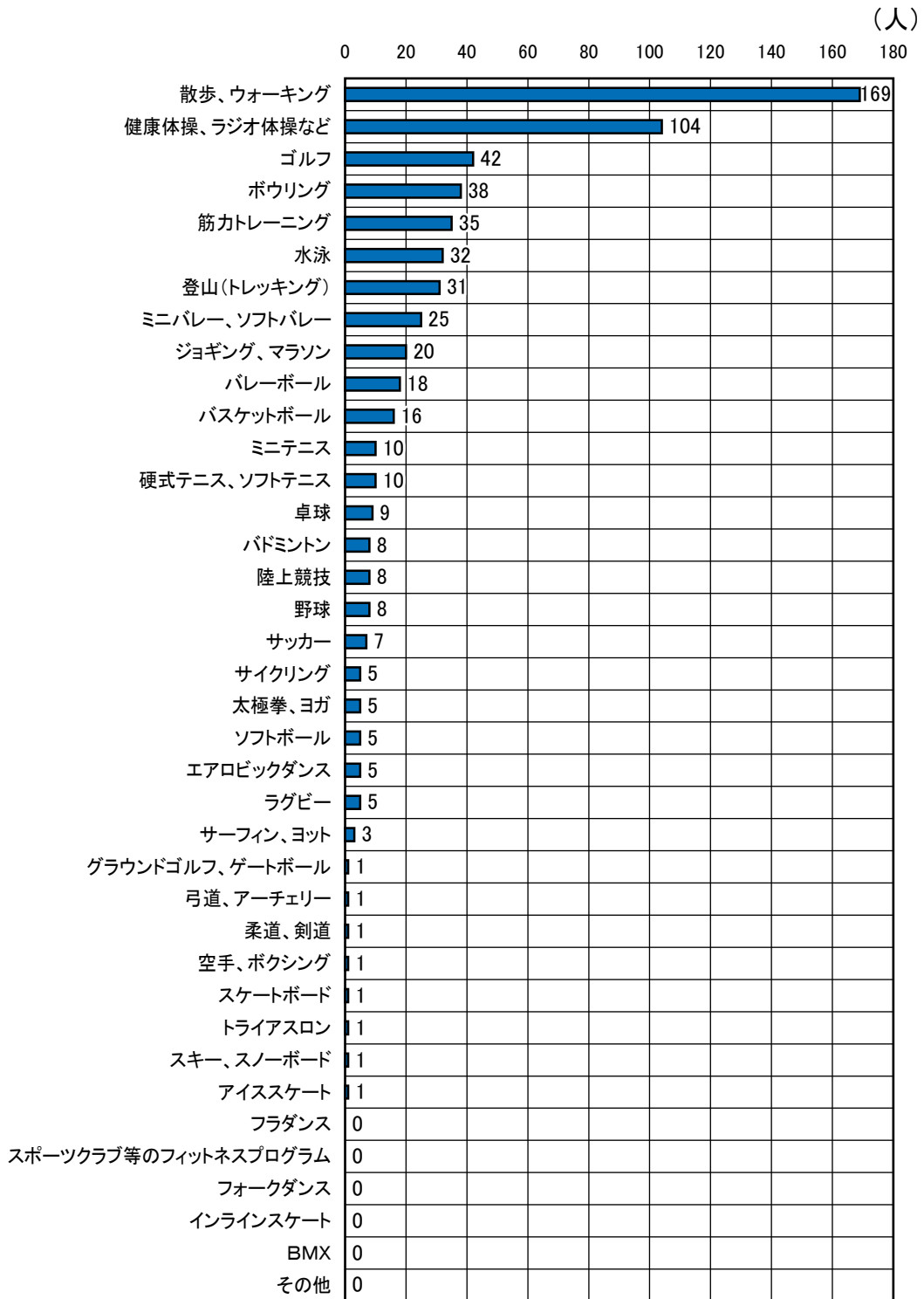
◆問9 問6で「運動・スポーツ運動・スポーツはほとんどしない」と答えた方のみお答えください。この1年間あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか。(〇は2つまで)



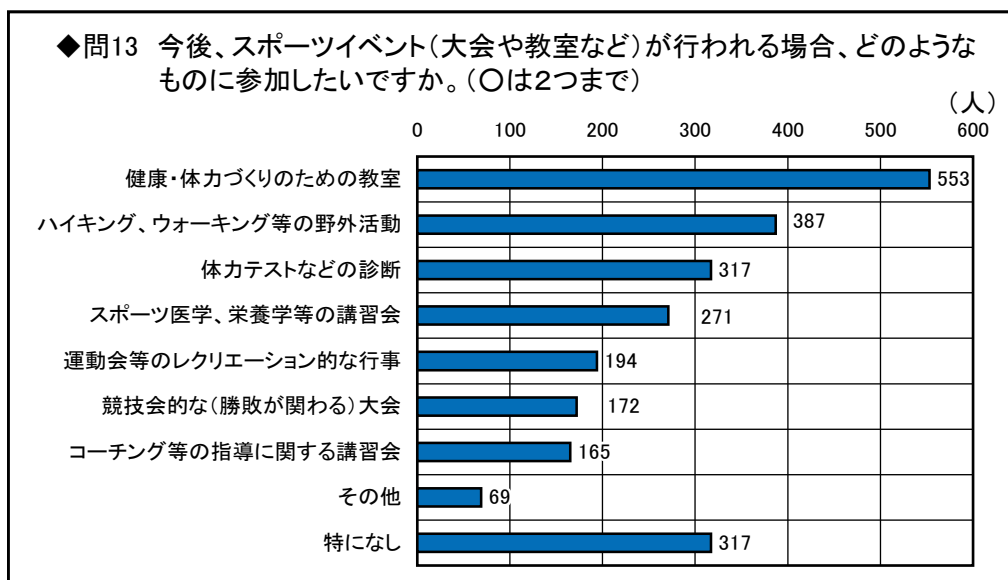
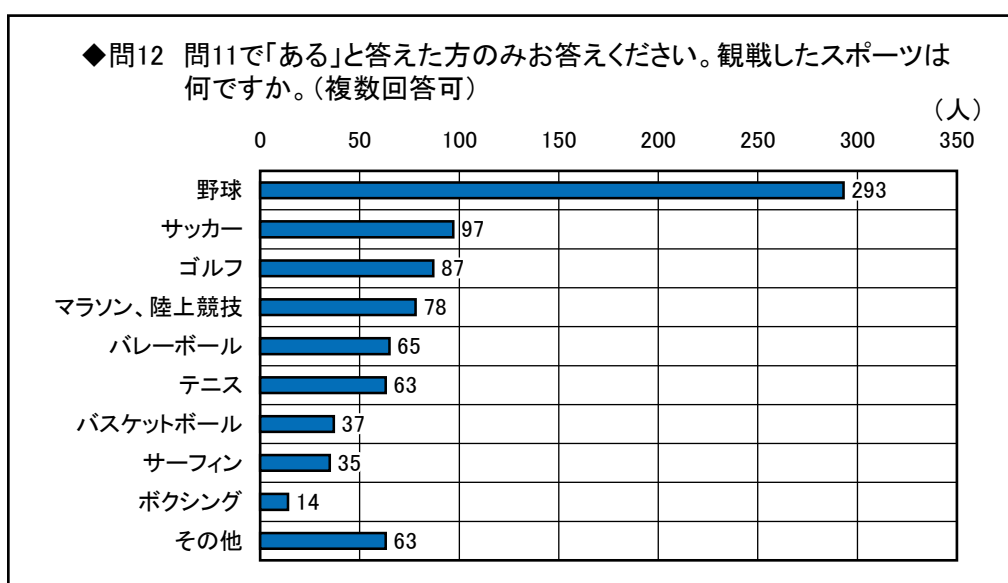
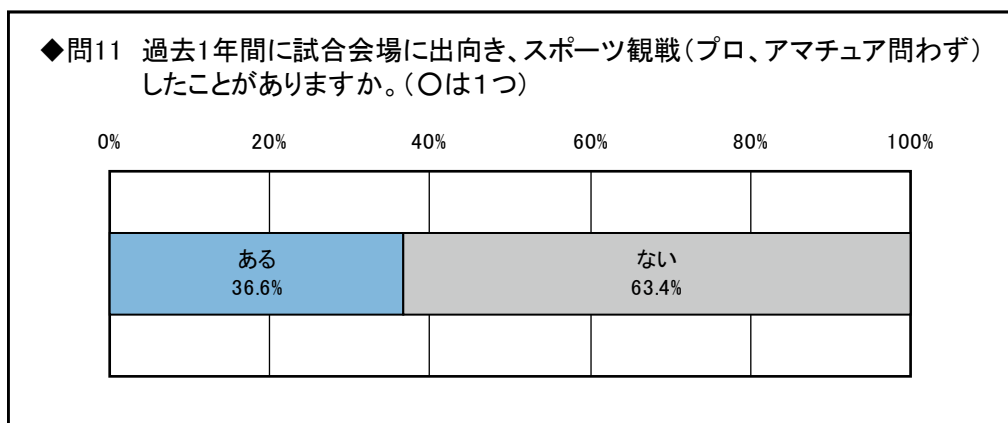
◆問10 今後、あなたがしてみたい運動・スポーツは何ですか。(〇は3つまで)



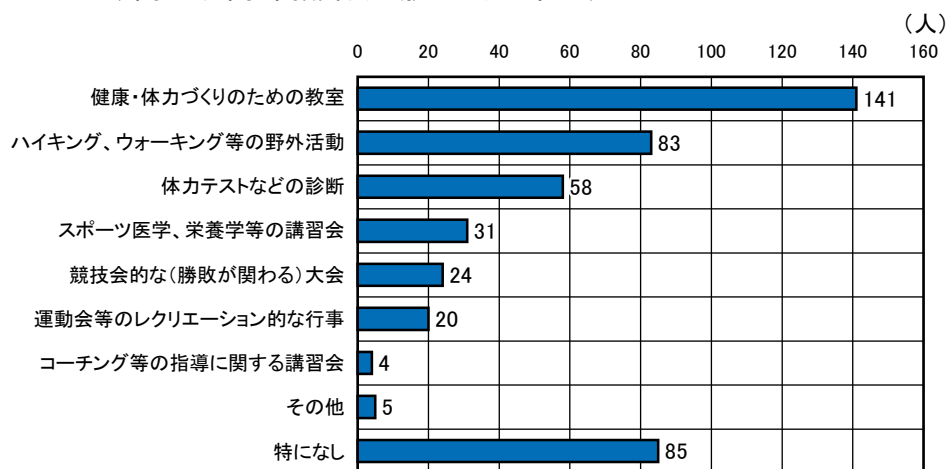
◇問10 付問 高齢者(65歳以上)が実施したい種目(○は3つまで)



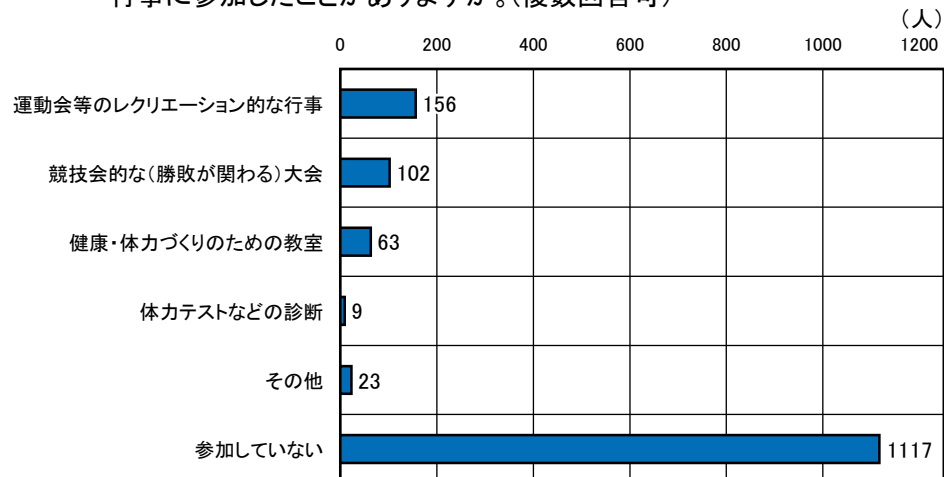
<スポーツイベントについて>



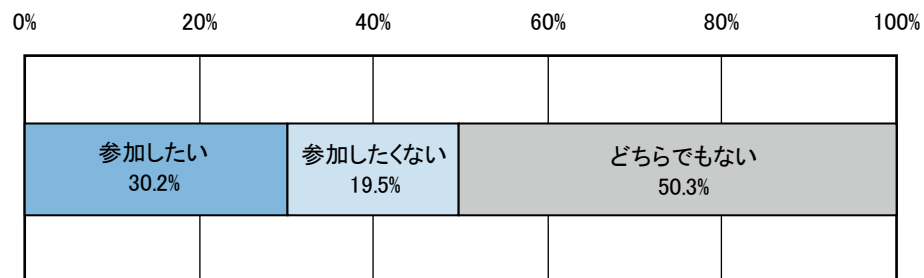
◇問13 付問 高齢者(65歳以上)が希望するスポーツイベント

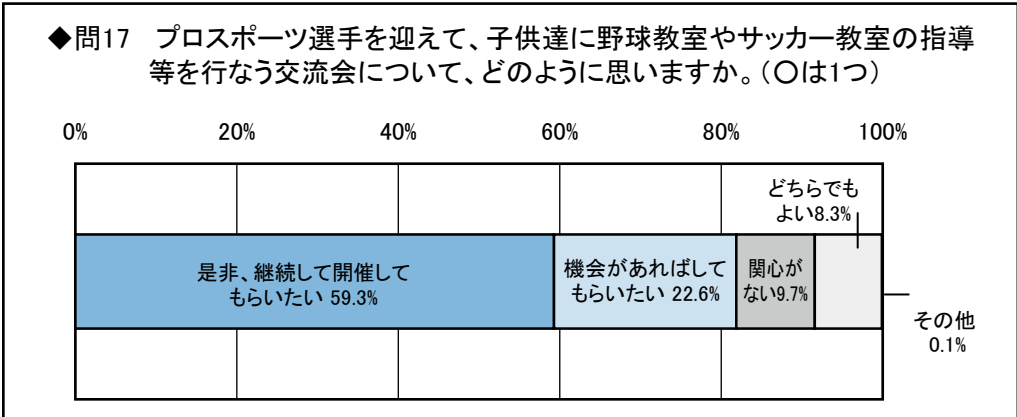
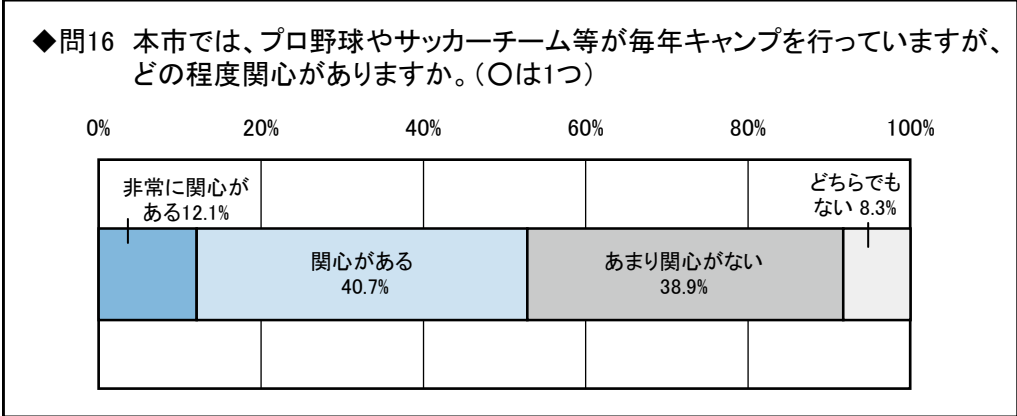


◆問14 過去1年間にあなたが住んでいる地区、地域主催のスポーツイベント、行事に参加したことがありますか。(複数回答可)

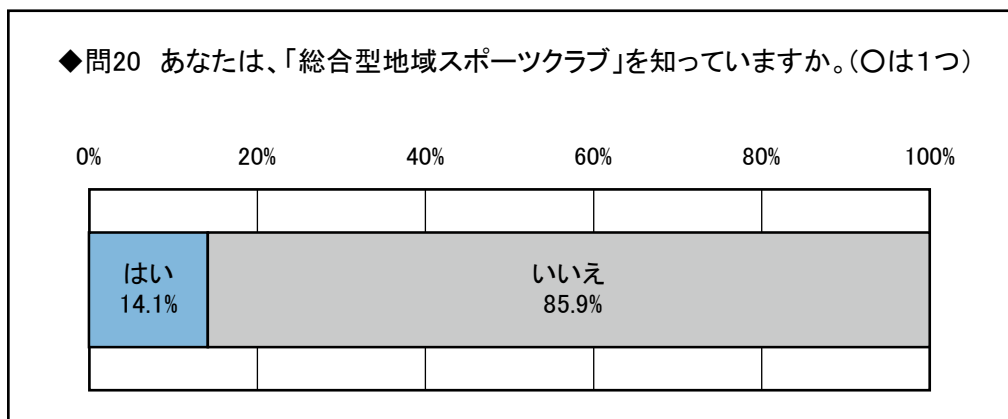
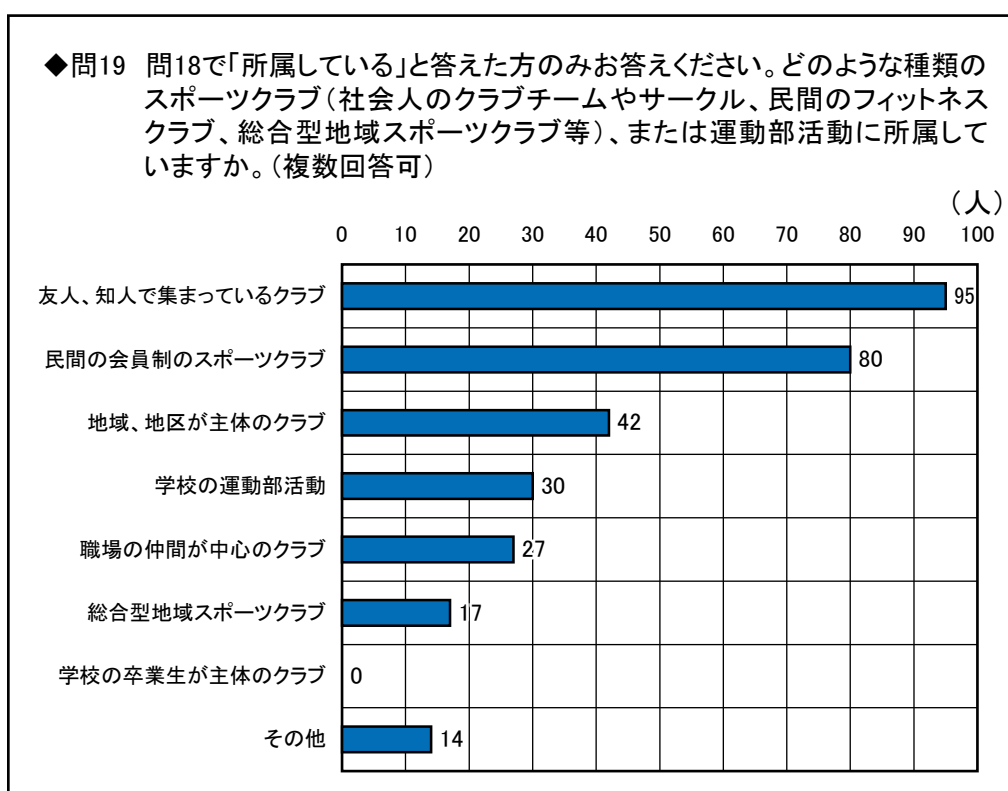
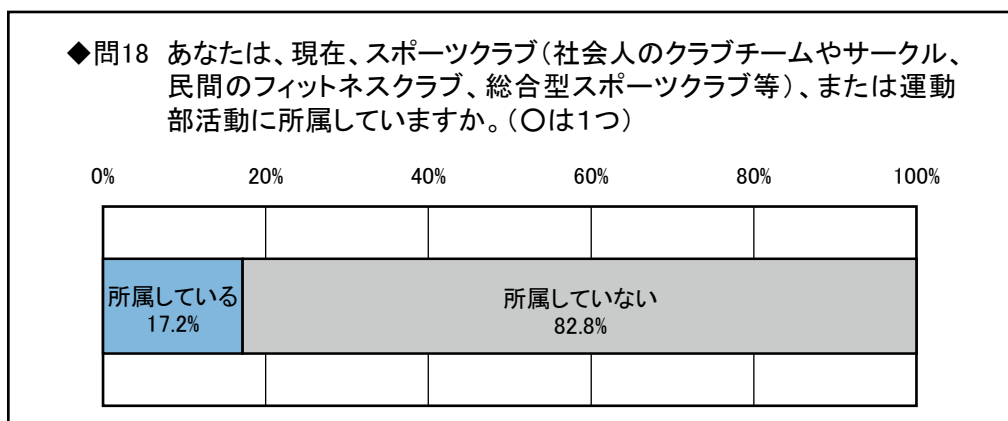


◆問15 今後、地区、地域主催のスポーツイベント、行事に参加したいですか。(○は1つ)

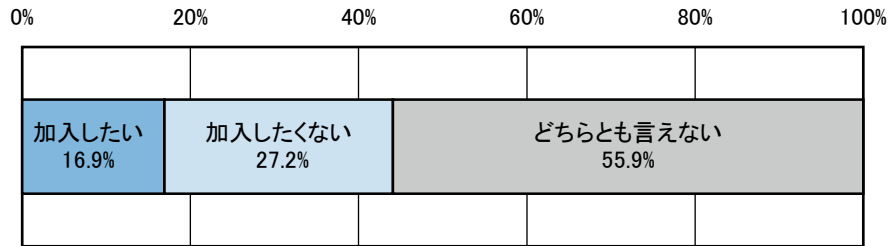




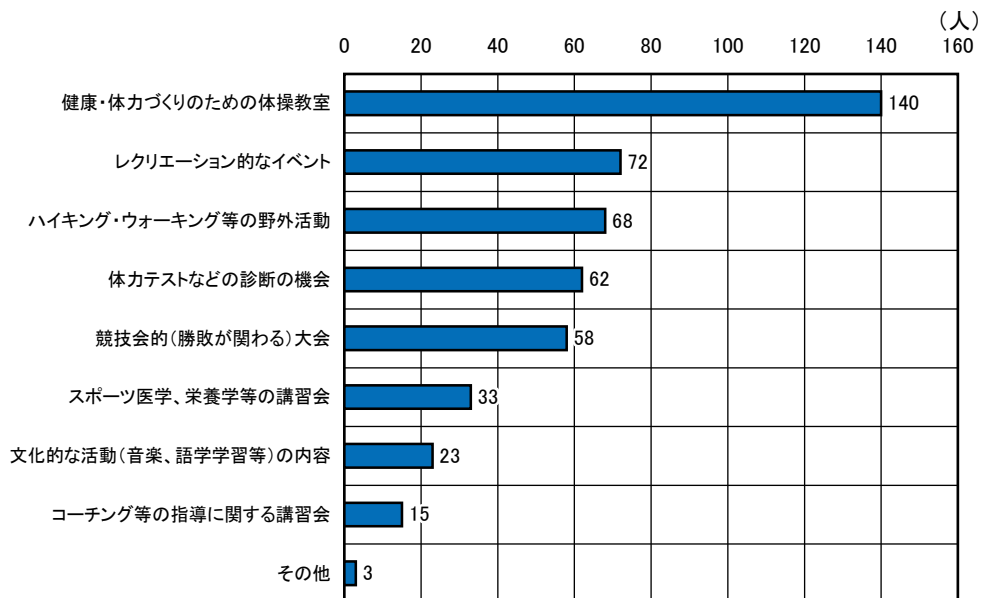
<スポーツイベントについて(総合型スポーツクラブ)>



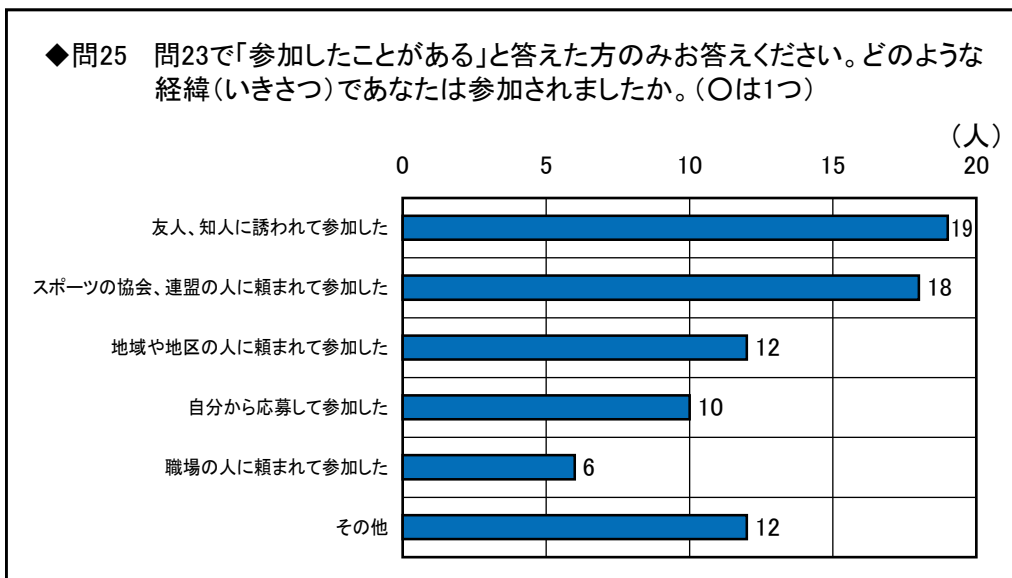
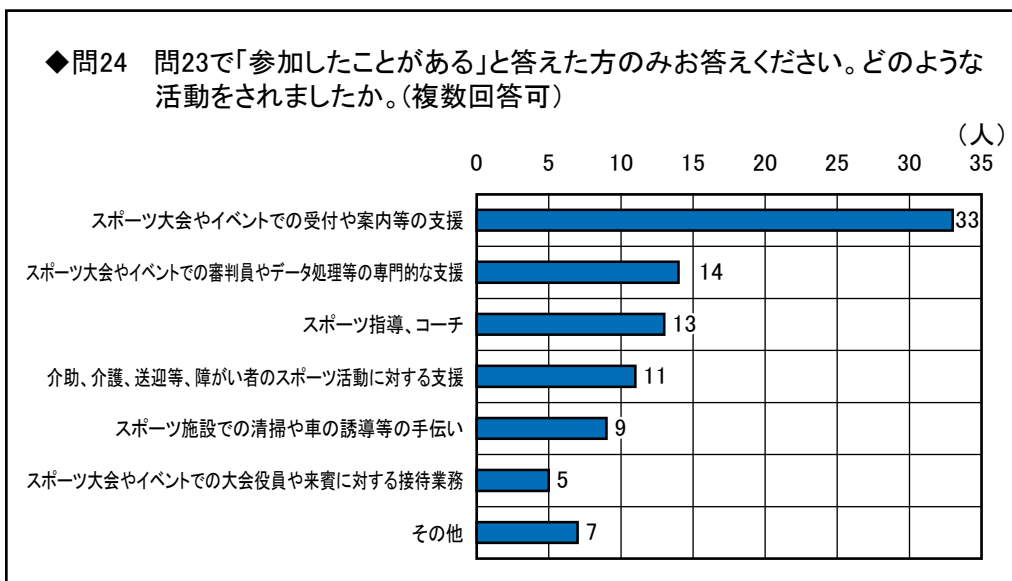
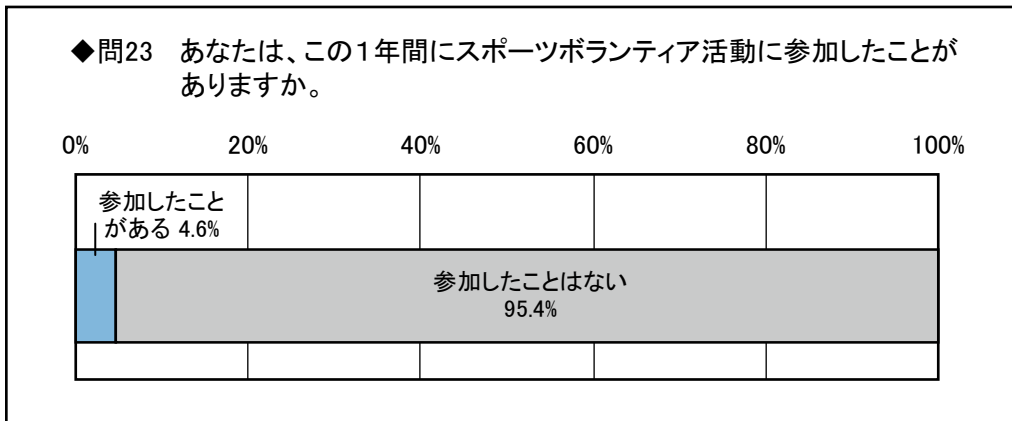
◆問21 あなたは、総合型地域スポーツクラブに機会があれば、加入したいですか。(〇は1つ)



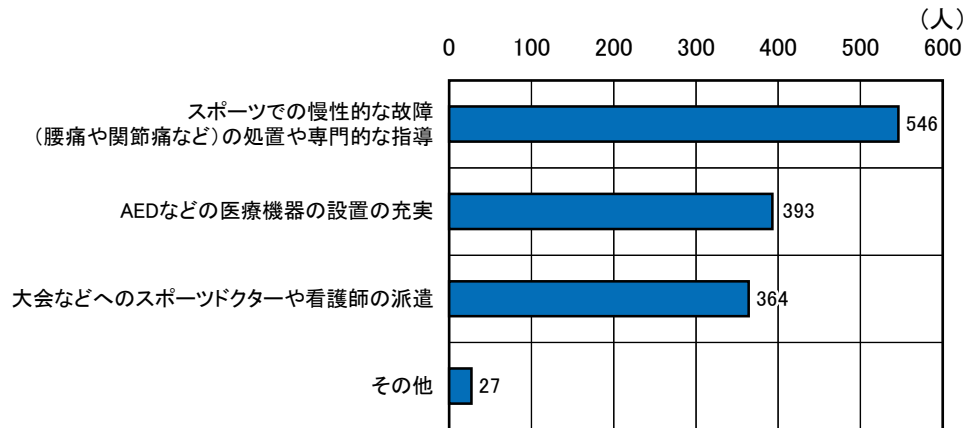
◆問22 問21で「加入したい」と答えた方のみお答えください。あなたは、総合型地域スポーツクラブにどのような内容を期待しますか。(〇は2つまで)



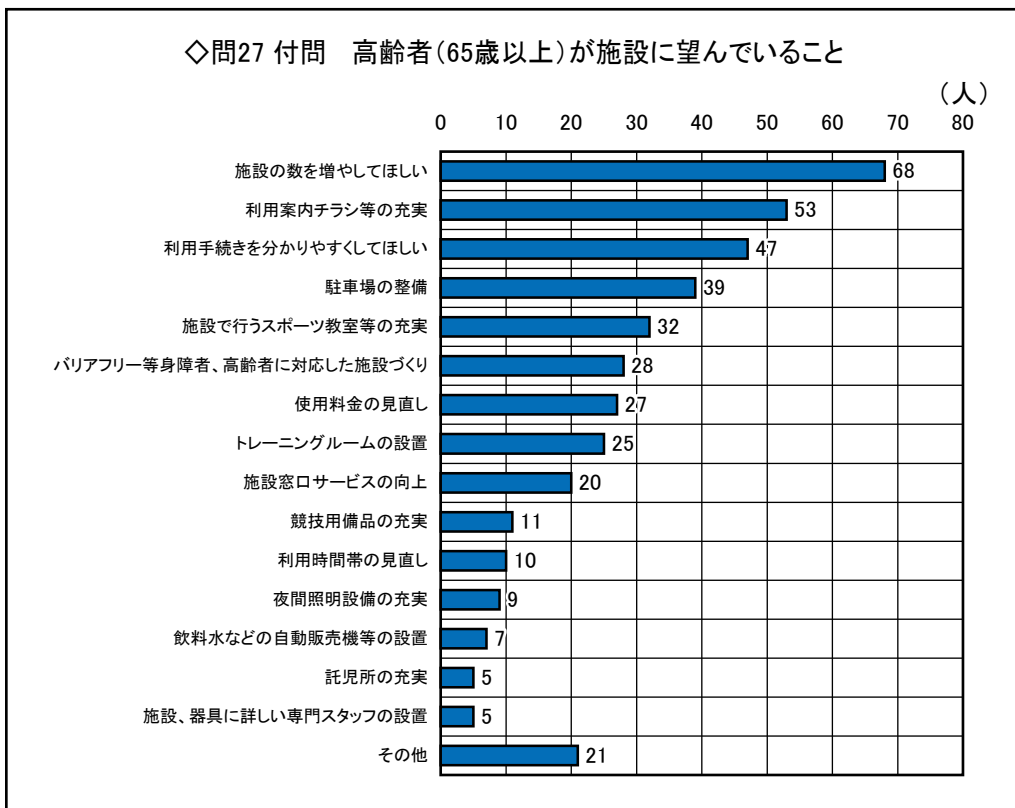
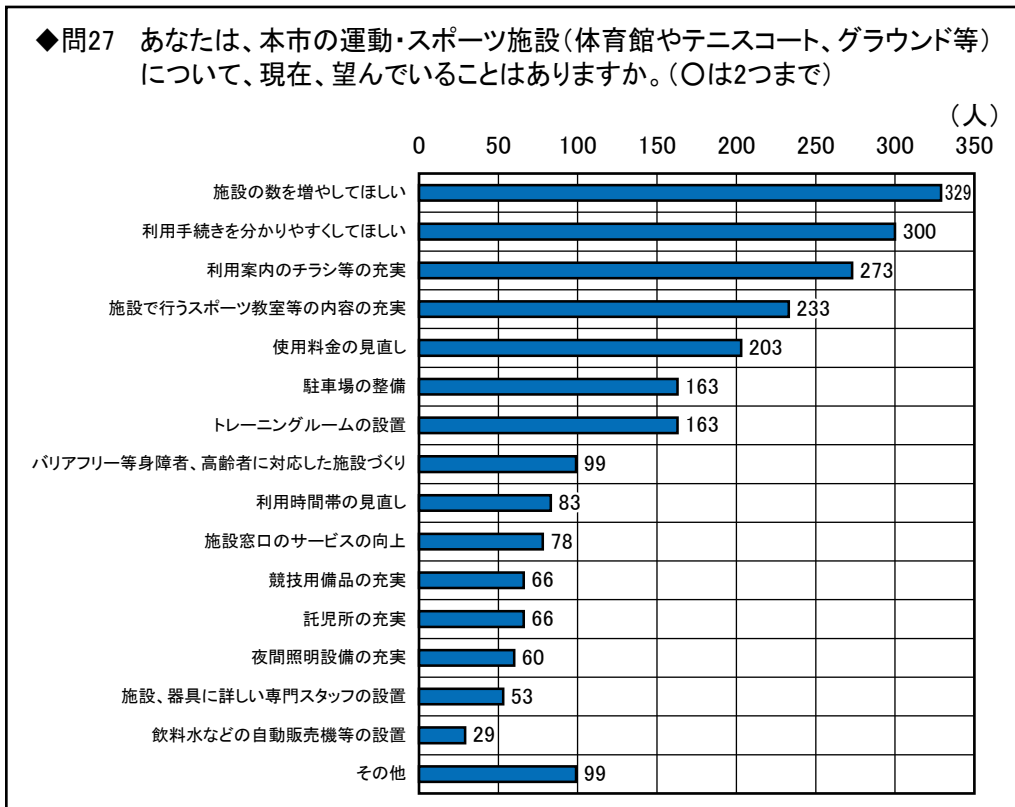
<スポーツボランティア、医療体制について>



◆問26 スポーツの医療体制(ケガへの応急処置やケガ等への体制)について、あなたは、今後、どのようなことを期待しますか。(○を1つ)

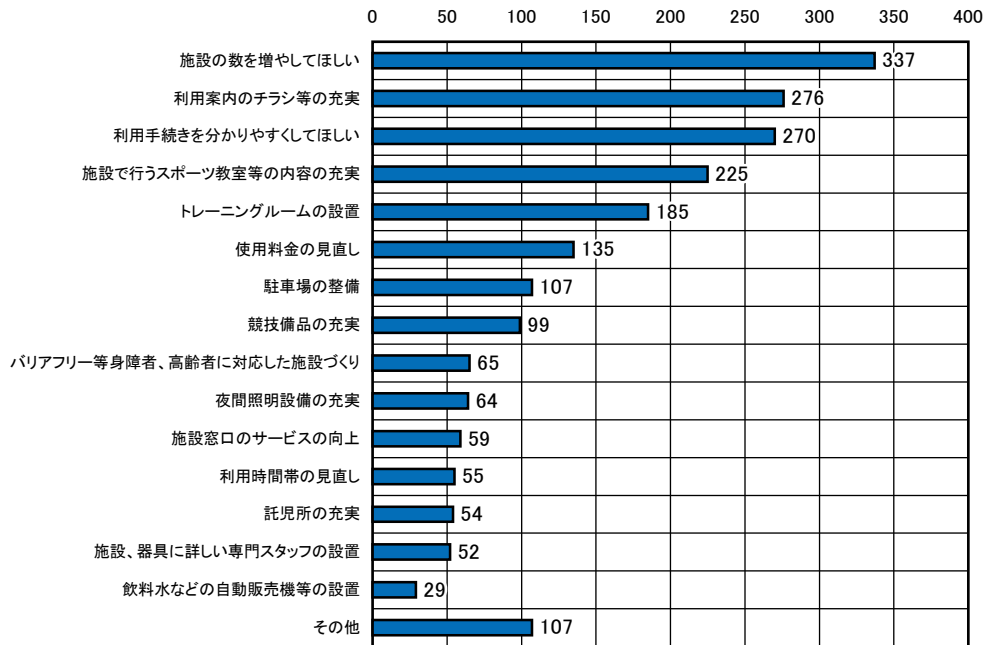


<運動・スポーツ施設について>



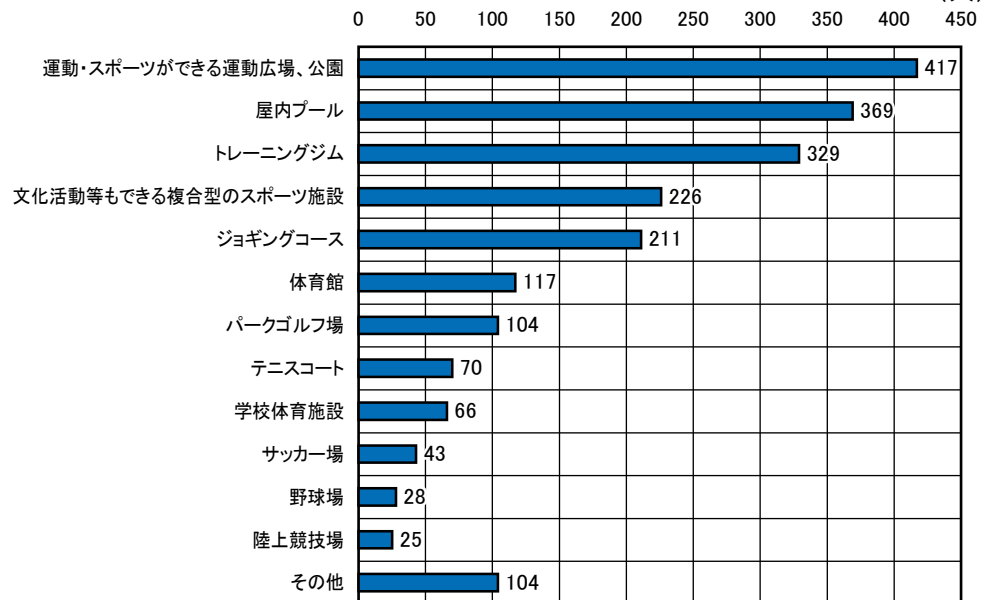
◆問28 あなたは、自分の住んでいる地域、地区において、運動・スポーツ施設（体育館やテニスコート、グラウンド等）について、現在、望んでいることはありますか。（○は2つまで）

（人）

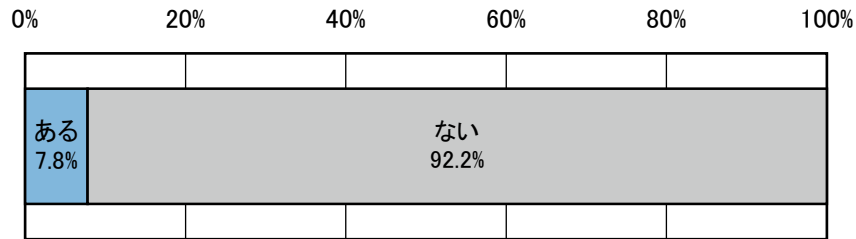


◆問29 あなたは、現在、運動・スポーツ施設の整備について、希望していることはありますか。（○は2つまで）

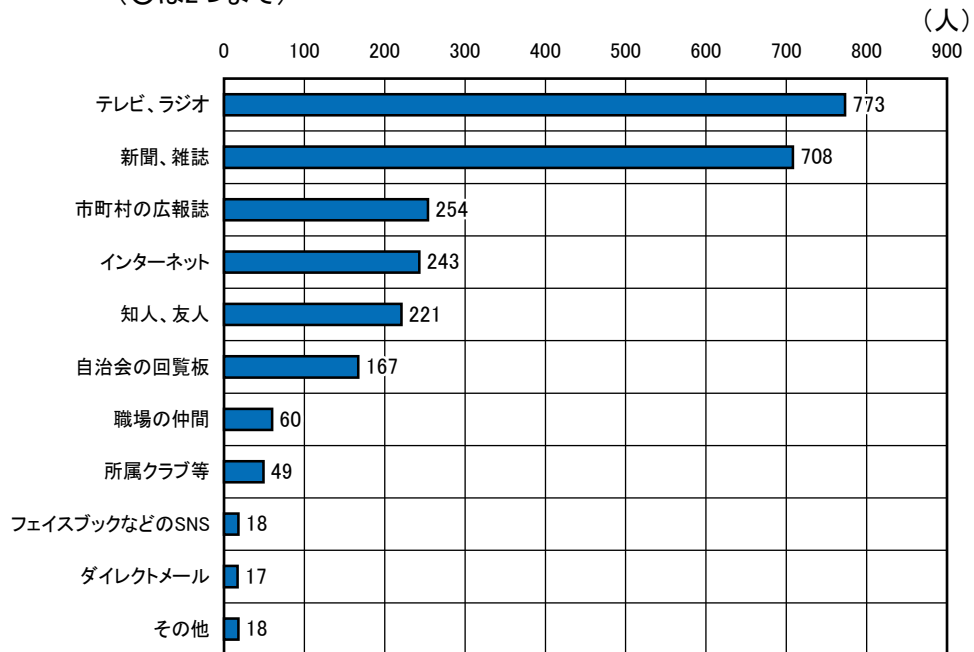
（人）



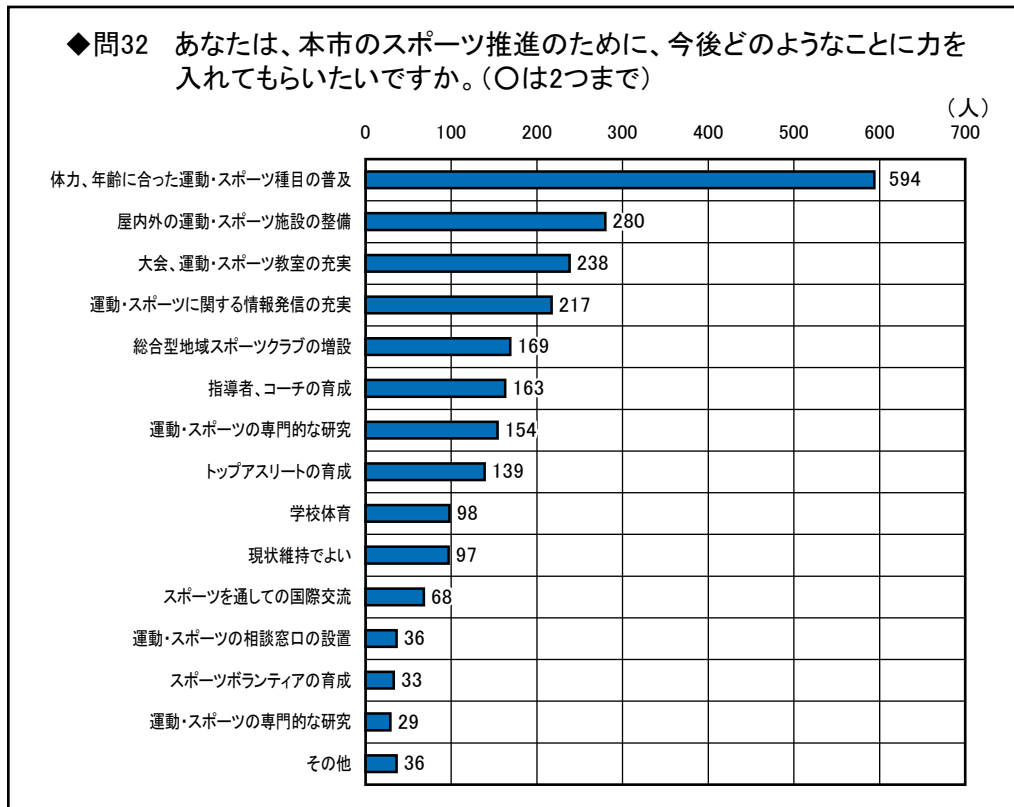
◆問30 本市では、プロ野球やプロサッカーチーム等が毎年キャンプを行っていますが、その受入のために施設の利用が制限されたなどの経験はありますか。(〇は1つ)



◆問31 あなたは、現在、運動・スポーツに関する情報をどのように得ていますか。(〇は2つまで)

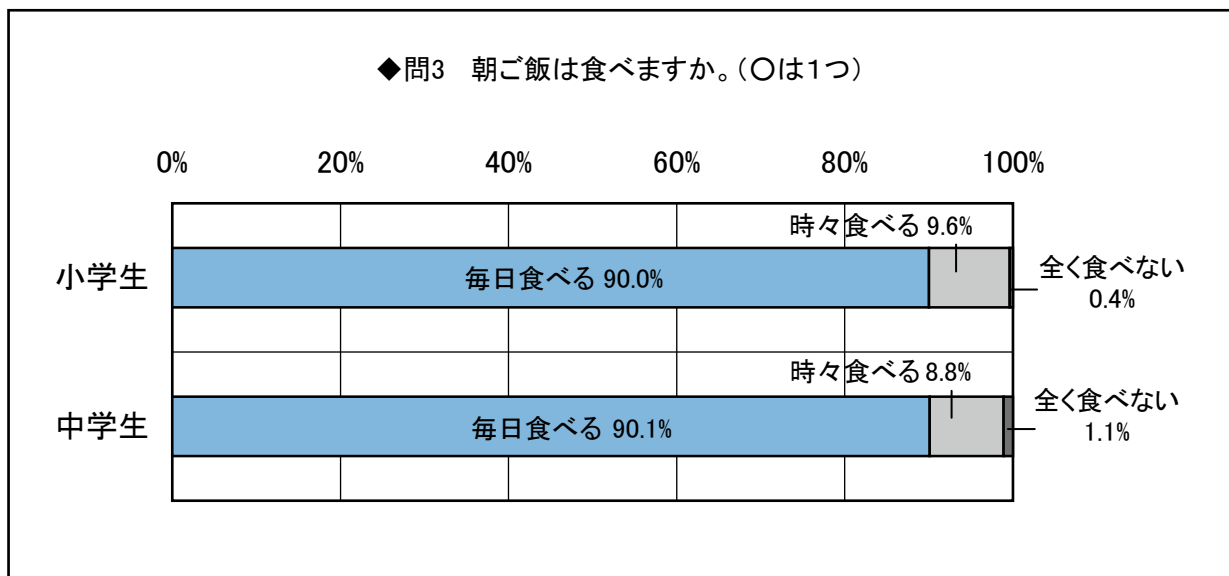
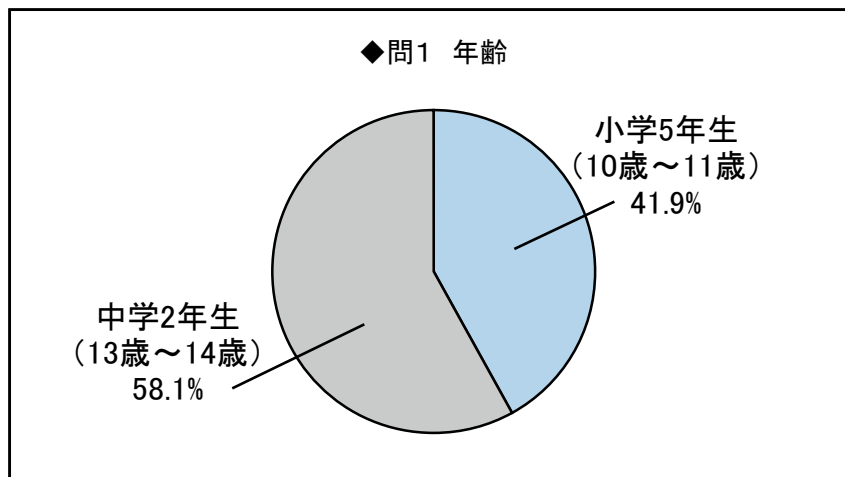
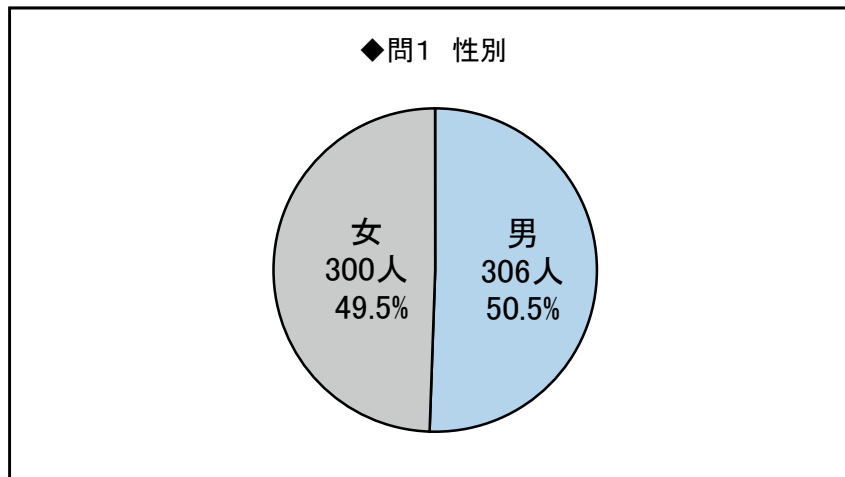


<本市のスポーツ推進策について>

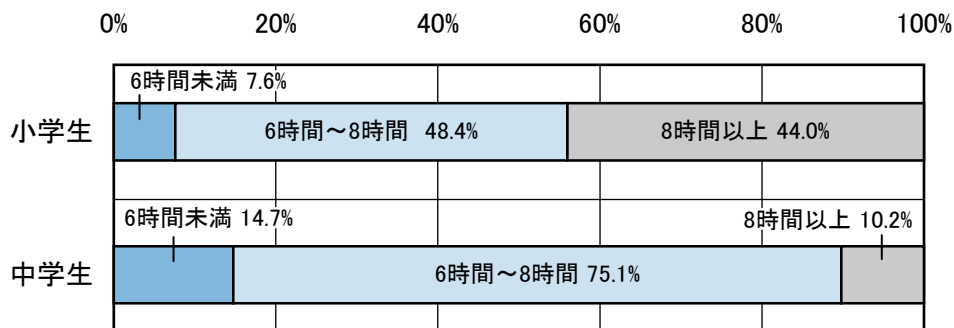


(2) 小中学生への調査

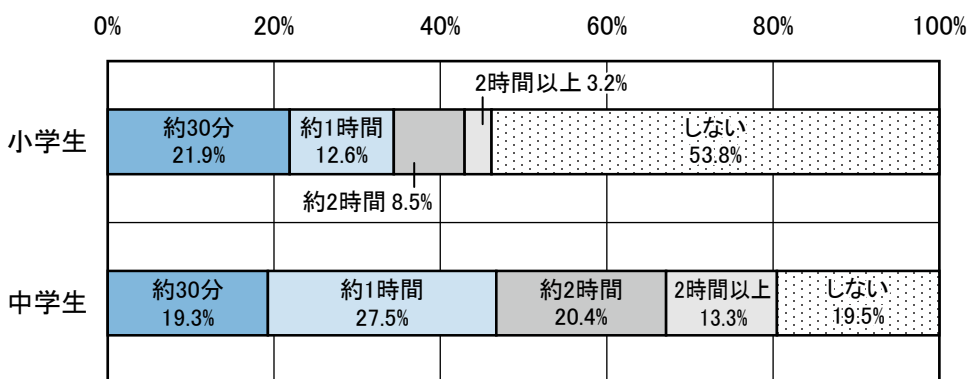
<調査対象者の状況>



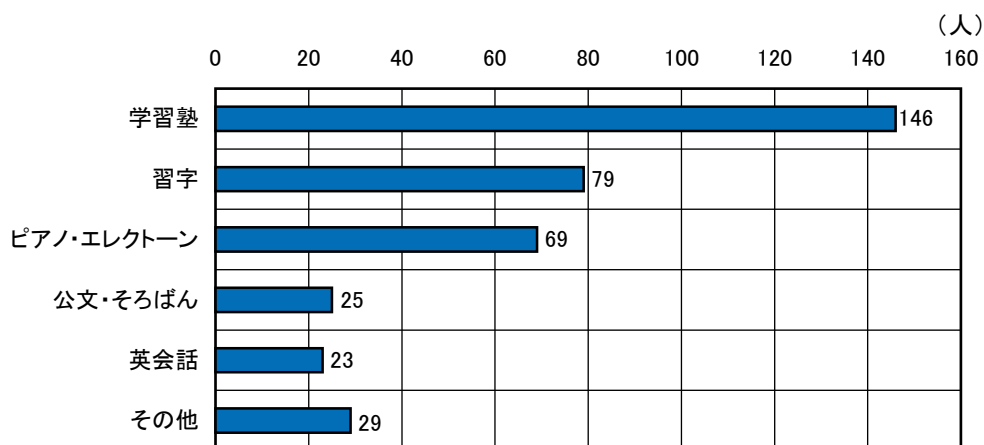
◆問4 1日にどれくらい寝ますか。(○は1つ)



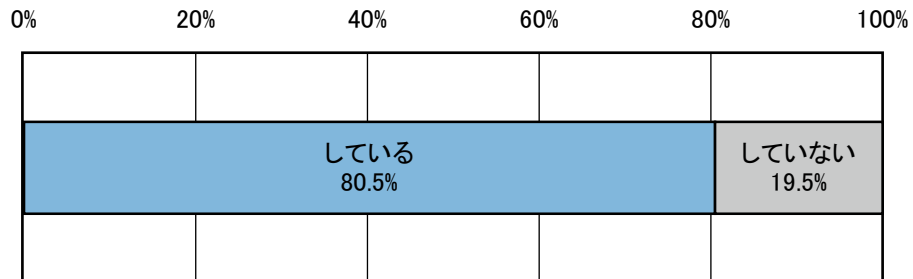
◆問5 1日にどれくらいインターネット(メール等含む)使用していますか。



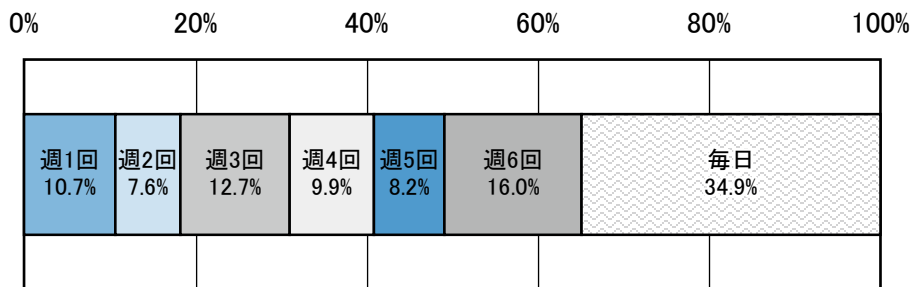
◆問6 あなたは今、スポーツ以外の習い事をしていますか。(複数回答可)



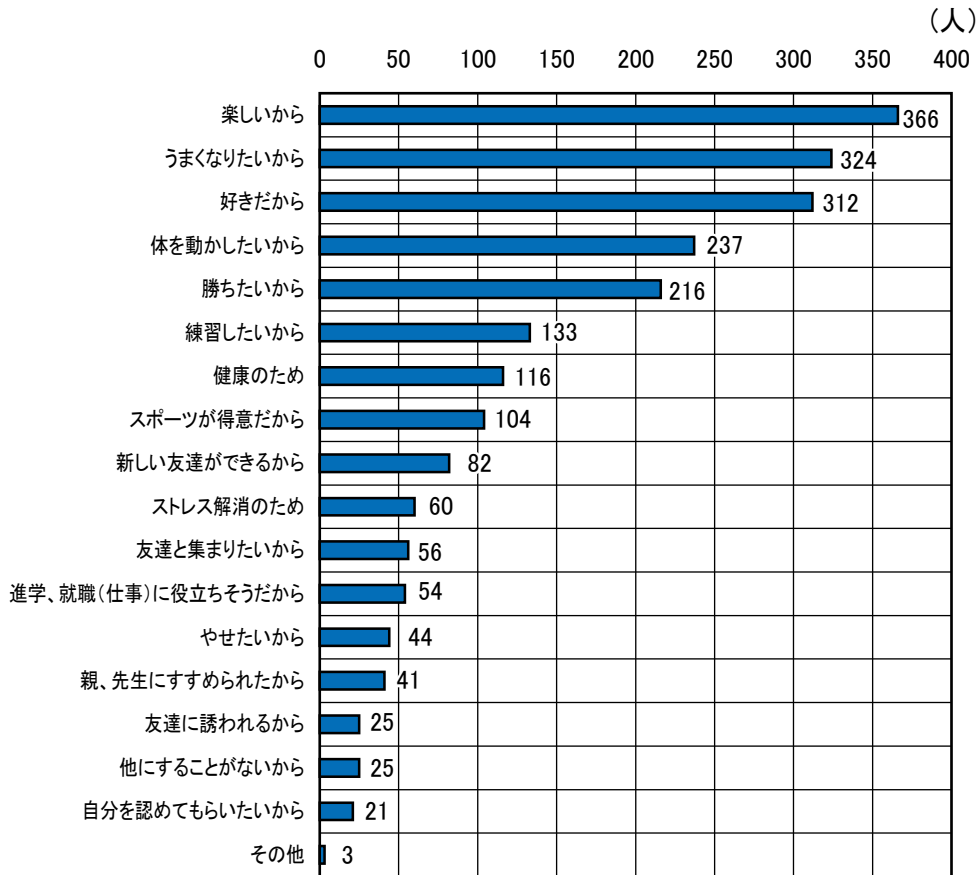
◆問7 あなたはスポーツをしていますか。(運動部活動、スポーツ少年団を含む)
(○は1つ)



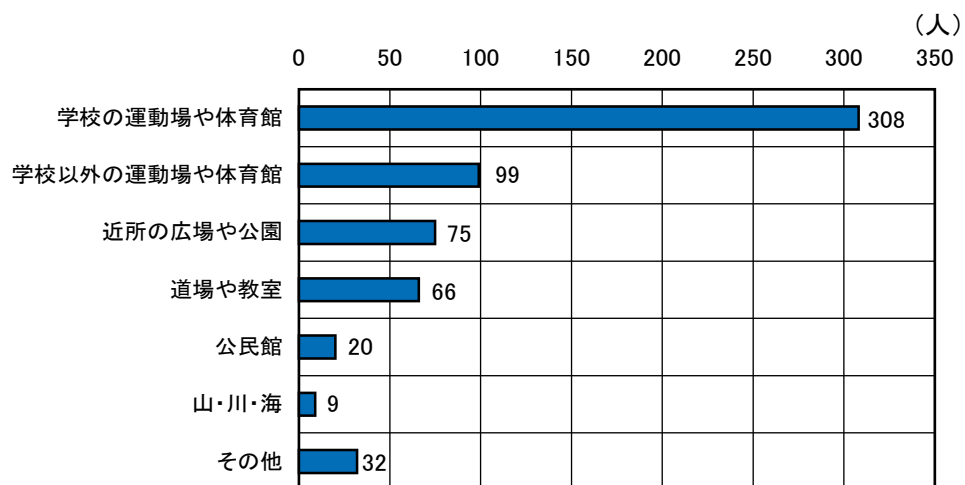
◆問8 あなたは、1週間にどれくらい運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)



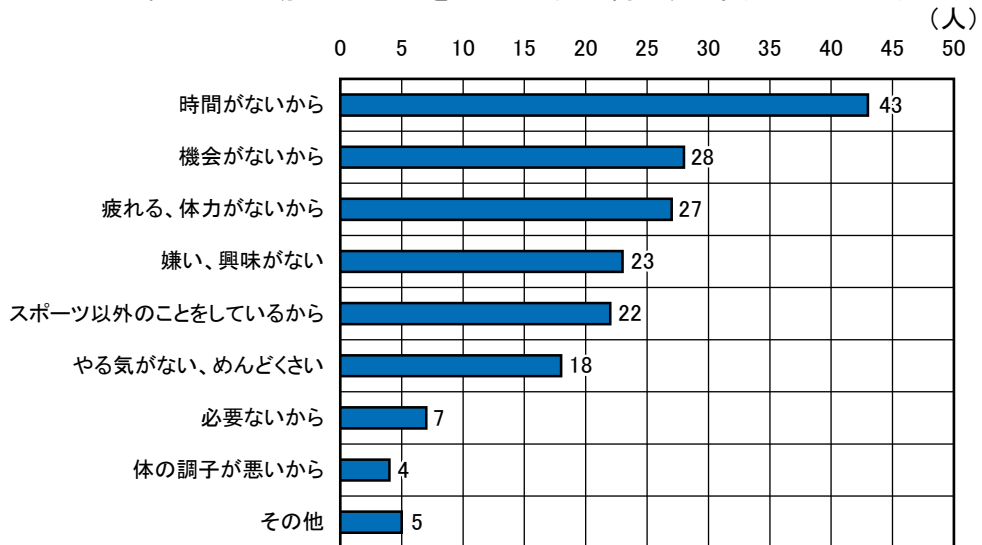
◆問9 あなたが運動、スポーツをする理由は何ですか。(複数回答可)



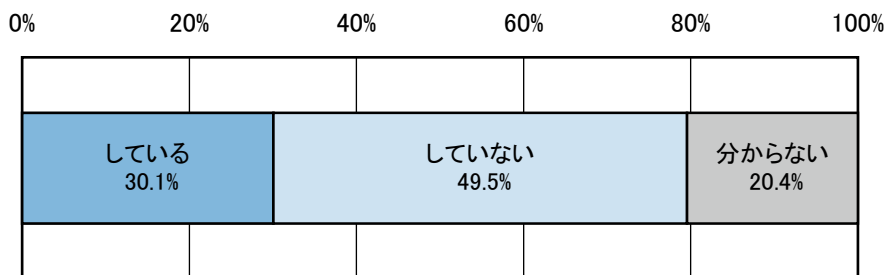
◆問10 あなたがスポーツをする場所はどこですか。(複数回答可)



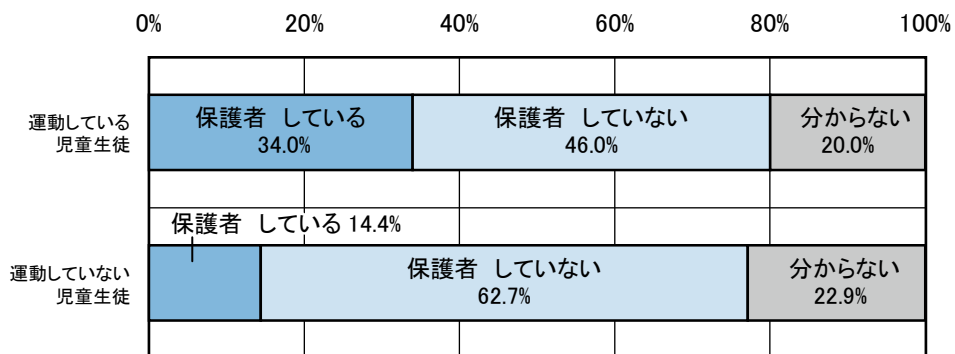
◆問11 問7で運動やスポーツを「していない」と答えた方のみ、お答えください。
あなたが運動やスポーツをしない理由は何ですか。(○は2つまで)



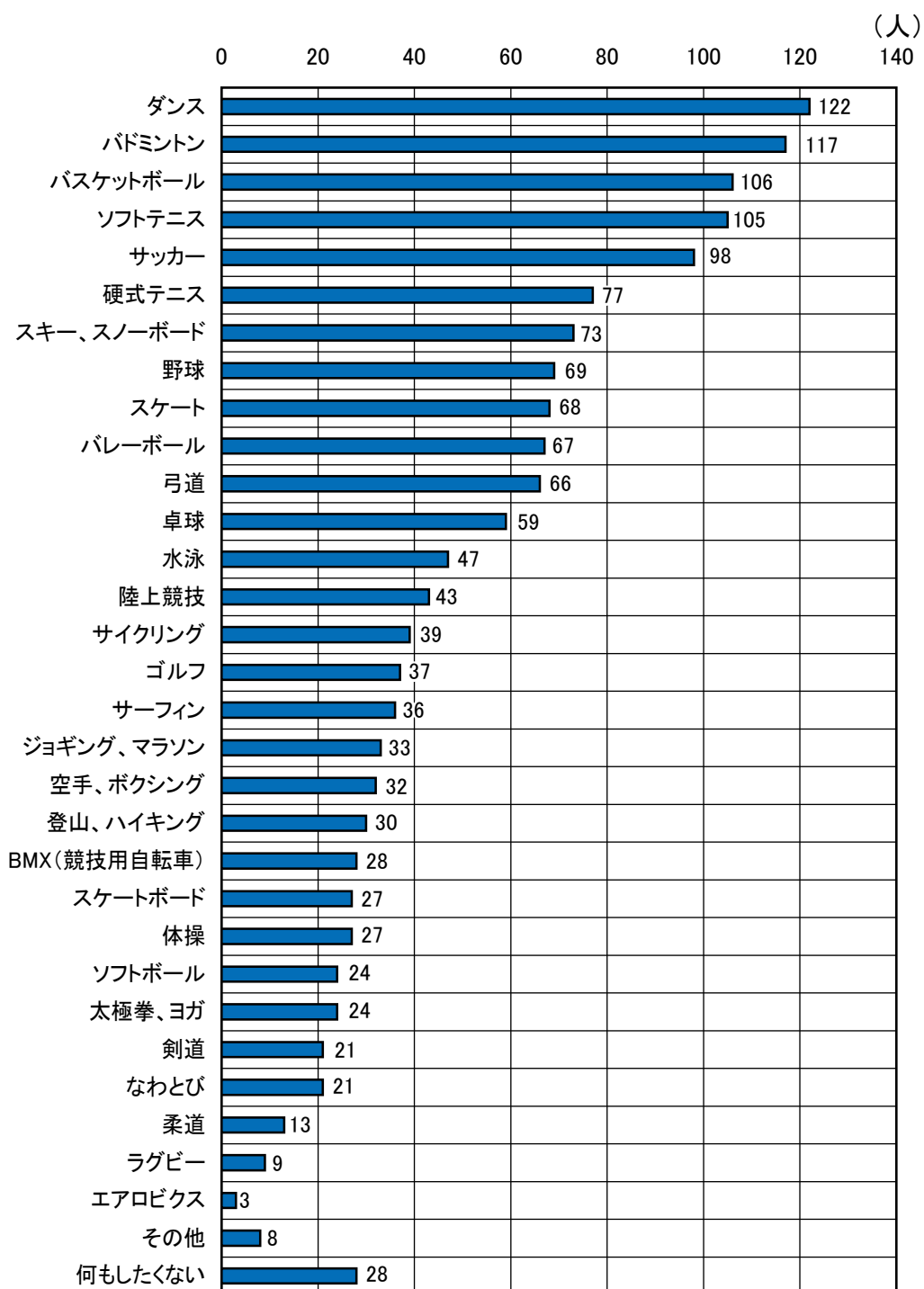
◆問12 あなたの保護者(お父さん、お母さん他)は、今、運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)



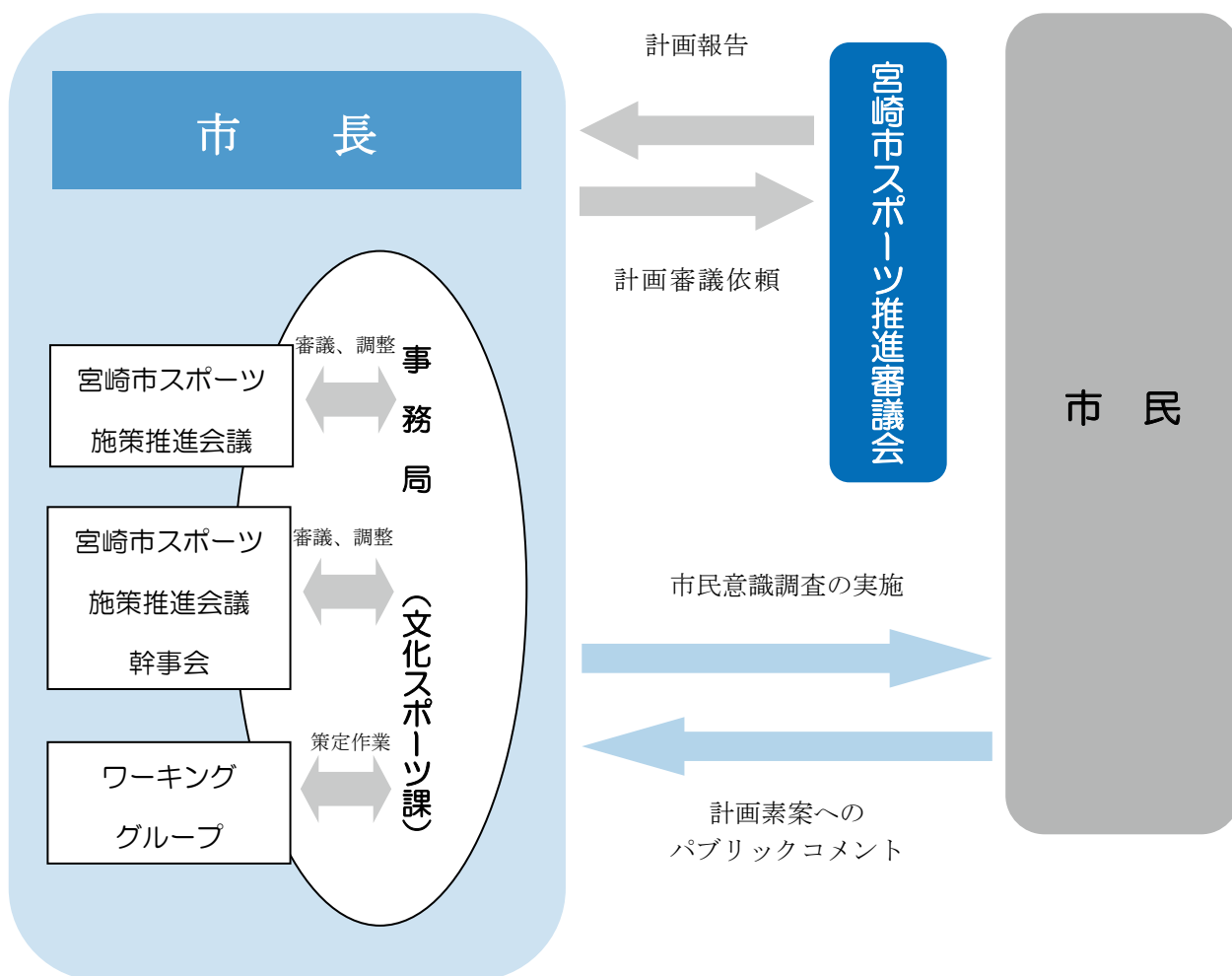
◇問7と問12における児童生徒と保護者の運動・スポーツの実施率の相関



◆問13 今後、あなたがやってみたいスポーツは何ですか。(〇は3つまで)



宮崎市スポーツ推進計画の策定体制



宮崎市スポーツ推進審議会

学識経験者や関係行政機関等で構成し、本市のスポーツ施策の計画について審議する組織です。

宮崎市スポーツ施策推進会議

関係する各部局長で構成し、本市のスポーツ施策の計画に関する事項について審議、調整する組織です。

宮崎市スポーツ施策推進会議幹事会

関係する各課長等で構成し、本市のスポーツ施策の計画素案について審議、調整する組織です。

ワーキンググループ

宮崎市スポーツ推進計画策定作業に係る関係課、関係団体職員から構成される組織です。

宮崎市スポーツ推進計画策定関係者一覧

宮崎市スポーツ推進審議会		
役職	氏名	所属
会長	宮元 章次	宮崎公立大学人文学部教授（地域研究センター長）
副会長	佐谷野 力	宮崎市スポーツ少年団本部長
委員	小川 敬	宮崎県身体障害者陸上競技協会事務局長
〃	瀧砂 道世	女性スポーツ指導者（わくわく元気運動協会代表）
〃	竹原 勇司	宮崎小学校体育連盟会長
〃	巢立 勝弘	宮崎地区中学校体育連盟会長
〃	野崎 伸一	（公財）宮崎市体育協会会長
〃	小岩屋 敏	宮崎市地区体育連合会会長
〃	高橋るみ子	宮崎大学教育文化学部准教授
〃	向井 大蔵	宮崎県教育庁スポーツ指導センター所長

宮崎スポーツ施策推進会議	
会長	地域振興部長
委員	企画財政部長
〃	観光商工部長
〃	福祉部長
〃	健康管理部長
〃	都市整備部長
〃	教育局長

宮崎市スポーツ施策推進会議幹事会	
幹事長	文化スポーツ課長
幹事	企画政策課長
〃	地域コミュニティ課長
〃	観光課長
〃	スポーツランド推進室長
〃	障がい福祉課長
〃	長寿支援課長
〃	地域保健課長
〃	健康支援課長
〃	公園緑地課長
〃	学校教育課長

宮崎市スポーツ推進計画策定ワーキンググループ	
文化スポーツ課	健康支援課
地域コミュニティ課	公園緑地課
企画政策課	学校教育課
観光課	（公財）宮崎市体育協会
スポーツランド推進室	宮崎市スポーツ推進委員協議会
障がい福祉課	宮崎市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
長寿支援課	宮崎県障害者スポーツ協会
地域保健課	みやざき広域スポーツセンター

宮崎市スポーツ推進計画の審議経過

年 度	年 月	内 容
平成 25 年度	平成 25 年 4 月 25 日	第 1 回宮崎市スポーツ推進審議会 ・宮崎市スポーツ推進計画策定スケジュールについて
	平成 25 年 7 月 18 日	第 2 回宮崎市スポーツ推進審議会 ・市民アンケート（案）、施策の体系図（案）について
	平成 25 年 10 月 1 日～ 31 日	市民の運動・スポーツに関する調査 ・対象…市民 4,000 人、市内小中学生 606 人
	平成 26 年 1 月 30 日	第 3 回宮崎市スポーツ推進審議会 ・市民アンケートの分析、施策の体系図（案）協議
	平成 26 年 3 月 17 日、24 日	第 1 回宮崎市スポーツ施策推進会議・幹事会 （庁内関係部局・関係課会議） ・市民アンケートの分析、施策の体系図（案）協議
平成 26 年度	平成 26 年 6 月 27 日	第 4 回宮崎市スポーツ推進審議会 ・宮崎市スポーツ推進計画素案協議
	平成 26 年 7 月 28 日	第 1 回全体ワーキング会議 ・施策の体系図（案）協議
	平成 26 年 8 月	第 1 回グループワーキング会議 ・グループ毎に計画素案協議
	平成 26 年 8 月 22 日、28 日	第 2 回宮崎市スポーツ施策推進会議・幹事会 ・宮崎市スポーツ推進計画素案協議
	平成 26 年 9 月	第 2 回グループワーキング会議 ・グループ毎に計画素案協議
	平成 26 年 10 月 8 日	第 5 回宮崎市スポーツ推進審議会 ・宮崎市スポーツ推進計画素案協議
	平成 26 年 10 月 22 日	定例教育委員会 ・宮崎市スポーツ推進計画素案審議
	平成 26 年 11 月 4 日～ 28 日	宮崎市スポーツ推進計画素案 パブリックコメント実施
	平成 27 年 1 月 8 日	第 2 回全体ワーキング会議 ・パブリックコメント集約、協議
	平成 27 年 1 月 21 日、23 日	第 3 回宮崎市スポーツ施策推進会議・幹事会 ・パブリックコメントの結果報告
	平成 27 年 2 月 4 日	第 6 回宮崎市スポーツ推進審議会 ・パブリックコメントの結果報告、計画の決定
	平成 27 年 3 月	宮崎市スポーツ推進計画策定

○宮崎市スポーツ推進審議会条例

昭和40年3月27日 条例第7号

改正 平成20年3月28日条例第1号 平成23年12月16日条例第48号

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条の規定に基づき、宮崎市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(委員)

第2条 審議会の委員は、10名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 関係行政機関の職員

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選とする。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第6条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この条例は、昭和40年4月1日から施行する。

附則（平成20年3月28日条例第1号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(宮崎市スポーツ振興審議会条例の一部改正に伴う経過措置)

4 この条例の施行の際現に前項の規定による改正前の宮崎市スポーツ振興審議会条例（以下「旧条例」という。）の規定により委嘱され、又は任命されている委員は、同項の規定による改正後の宮崎市スポーツ振興審議会条例の規定により委嘱され、又は任命された委員とみなし、その任期は、旧条例の規定により委嘱され、又は任命された日から起算する。

附則（平成23年12月16日条例第48号）

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の宮崎市スポーツ振興審議会条例（以下「旧条例」という。）の規定により委嘱され、又は任命されている委員は、改正後の宮崎市スポーツ推進審議会条例の規定により委嘱され、又は任命された委員とみなし、その任期は、旧条例の規定により委嘱され、又は任命された日から起算する。

○宮崎市スポーツ施策推進会議設置要綱

(目的)

第1条 本市のスポーツ推進施策を中心として、市民の運動・スポーツ推進に関する施策を総合的に推進し、市内における連絡調整を図るため、宮崎市スポーツ施策推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進会議の所掌事務は、次に掲げる事項とする。

- (1) 「宮崎市スポーツ推進計画」の推進に関すること。
- (2) 「宮崎市スポーツ推進計画」の進捗状況の点検と公表に関すること。
- (3) 「宮崎市スポーツ推進計画」の策定に関すること。
- (4) 宮崎市のスポーツ施策について関係部門相互間の総合調整に関すること。

(組織及び役員)

第3条 推進会議は、別表1に掲げる職にある者を委員として組織する。

- 2 推進会議に会長を置く。
- 3 会長は、地域振興部長の職にある者をもって充てる。

(会議)

第4条 推進会議は、会長が召集し、議事を進める。

- 2 委員が出席できないときは、当委員の指名する者が代理して出席することができる。

(関係者の出席)

第5条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(幹事会)

第6条 推進会議に第2条の所掌事務に関する具体的事項を審議検討させるため、幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長及び幹事をもって組織する。
- 3 幹事長は、文化スポーツ課長の職にある者をもって充てる。
- 4 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 幹事会は、必要に応じて幹事長が招集し、議事を進める。

(庶務)

第7条 推進会議及び幹事会の庶務は、地域振興部文化スポーツ課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱の定めるもののほか、推進会議の運営に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成26年2月13日から施行する。

附則

この要綱は、平成26年7月3日から施行する。

<別表1>

宮崎市スポーツ施策推進会議委員名簿	
会 長	地域振興部長
委 員	企画財政部長
委 員	観光商工部長
委 員	福祉部長
委 員	健康管理部長
委 員	都市整備部長
委 員	教育局長

<別表2>

宮崎市スポーツ施策推進会議幹事会名簿	
幹事長	文化スポーツ課長
幹 事	企画政策課長
幹 事	地域コミュニティ課長
幹 事	観光課長
幹 事	スポーツランド推進室長
幹 事	障がい福祉課長
幹 事	長寿支援課長
幹 事	地域保健課長
幹 事	健康支援課長
幹 事	公園緑地課長
幹 事	教育委員会 学校教育課長

○宮崎市スポーツ推進計画策定ワーキンググループ設置要綱

(目的)

第1条 本市のスポーツ推進施策の基本方針となる「宮崎市スポーツ推進計画」(以下「計画」という。)策定のための素案等を作成するため、宮崎市スポーツ推進計画策定ワーキンググループ(以下「グループ」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 グループは、前条の目的を達成するため、次の事項について協議する。

- (1) 計画策定に関すること
- (2) その他、計画の策定に必要な事務に関すること

(組織)

第3条 グループは、別表に掲げる者をメンバーとして組織する。

(委員長)

第4条 グループにリーダーを置き、リーダーは、文化スポーツ課市民スポーツ推進係長の職にある者を充てる。

(会議)

第5条 グループの会議は、リーダーが招集し、リーダーが議長となる。

2 リーダーは必要があると認めるときは、会議にメンバー以外の者の出席を求めて意見を聴取することができる。

(設置期間)

第6条 グループは、計画の策定により解散するものとする。

(庶務)

第7条 グループの庶務は、文化スポーツ課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年7月7日から施行する。

<別表>

部局・組織	課名
企画財政部	企画政策課
地域振興部	文化スポーツ課
	地域コミュニティ課
観光商工部	観光課
	スポーツランド推進室
福祉部	障がい福祉課
	長寿支援課
健康管理部	地域保健課
	健康支援課
都市整備部	公園緑地課
教育委員会	学校教育課
(公財) 宮崎市体育協会	
宮崎市スポーツ推進委員協議会	
宮崎市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	
宮崎県障害者スポーツ協会	
みやざき広域スポーツセンター	

Miyazaki City

Sports Promotion Plan



宮崎市スポーツ推進計画

編集・発行 宮崎市
発行年月 平成27年3月
お問合せ先 〒880-8505 宮崎市橘通西一丁目1番1号
宮崎市地域振興部 文化スポーツ課
T E L 0985-21-1835
F A X 0985-20-1564
E-mail 45taiiku@city.miyazaki.miyazaki.jp



MIYAZAKI CITY